

ガムクール GUMCOOL

環境対応型改質アスファルトシート防水
— 常温粘着工法 —

環境対応型改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

ガムクール
GUMCOOL

「ガムクール」が目指すもの

伝統あるアスファルト防水の信頼性を受け継ぎ、技術革新から1970年に誕生した常温粘着材「ガムロン」。

「ガムクール」は、その粘着技術を最大限に活かした改質アスファルトシート防水です。

強力な接着性を発現させる「ガムロン・テクノロジー」による優れた性能と耐久性を備え、素早く施工できる作業性・良好な環境性など多くの利点を持つことから、ガムクールは防水工法の「定番」となり、長年にわたって活躍を続けています。

また、アスファルト系防水の特質を活かしたガムクールの「かぶせ再生工法」は、廃棄物を出さずに限りある資源を有効活用できるサステナブルな工法であり、将来の防水改修時のメリットを見据えた選択として、多くの建物に採用されています。

建物の長寿命化、環境対応、CO₂排出量削減の対策が急務とされている現代。

ガムクールは材料も施工もシンプルでいて多様なニーズに対応できる「長年の定番」だからこそ、これまでも、これからも「持続可能な社会」に向けた未来への価値をつくることのできる防水工法です。

1905年～

アスファルト防水熱工法

日本で初めて本格的なアスファルト防水が施工され、近代防水の歴史が幕を開ける。

田島ルーフィングの前身、
田島応用化工が1919年に創業

1970年

ゴム化アスファルトによるルーフィングを開発 常温粘着材「ガムロン」の誕生

常温のゴム化アスファルト粘着材「ガムロン」を用いるルーフィングを世界で初めて開発。加熱熔融を必要としない「冷工法」として1972年に防水仕様を確立する。大規模垂直面や急勾配斜面にも対応できることから「ガムロン防水」は土木・地下防水の分野でも活躍。

「自己接着型防水材ガムロン」
開発当日の日付
(1968年8月29日)が記された
試作品



1986年

改修工事用常温工法 「ガムクール」登場

ガムロン粘着層付シートに加えて、ゴム化アスファルトのペーストも用いる改修用防水工法として「ガムクール」ブランドが登場。既存下地に応じた仕様でかぶせ改修のニーズが広がる。



INDEX

「ガムクール」が目指すもの…………… 1

■屋上を守り続けること

〈ガムクールの基本性能〉…………… 3

■持続可能な社会のためにできること

〈かぶせ再生工法〉…………… 5

〈CO₂削減／省力化〉…………… 7

カタログの見方／工法選定基準…………… 9

■仕様番号一覧…………… 10

砂付仕上げ・複層工法…………… 11

砂付仕上げ・単層工法…………… 14

立上り・架台 塗膜防水併用工法…………… 15

砂付仕上げ・断熱複層工法…………… 19

軽歩行仕上げ…………… 23

保護コンクリート仕上げ・複層工法…………… 27

立上り部(共通)仕様一覧…………… 28

官公庁仕様…………… 29

アスファルト系下地処理材・仮防水材…………… 33

技術資料…………… 35

納まり図例…………… 39

材料紹介…………… 45

使用上の注意とメンテナンス…………… 61

「ガムクール」が選ばれる理由

性能

独自の「ガムロン・テクノロジー」による、優れた粘着性能と水密性

持続可能性

アスファルト系防水を重ねる「かぶせ改修」の有利

施工時の環境性

溶剤や火気を使用しない施工が可能
シンプル&クリーンな常温工法

ライフサイクルコストとCO₂発生量の低減に貢献する材料と工法

選択

改修のニーズに対応した豊富な仕様による、広い適用範囲

立上り部塗膜防水併用工法による効率化・省力化が可能

1992年

常温粘着工法に特化した仕様へ「ガムクール」リニューアル
強力なガムロン粘着技術を中心とした常温粘着工法として材料・仕様をリニューアル。1層目のシートの表面を特殊フィルム化するなど、シート性能の改良が進む。

細部の水密性を確実にする、副資材の導入

2009年
エンシンシート



2013年
GCライン



1994年

「ガムクール」防水が建築物の保全技術公募型技術審査証明を取得

2000年

シート性能がさらに向上

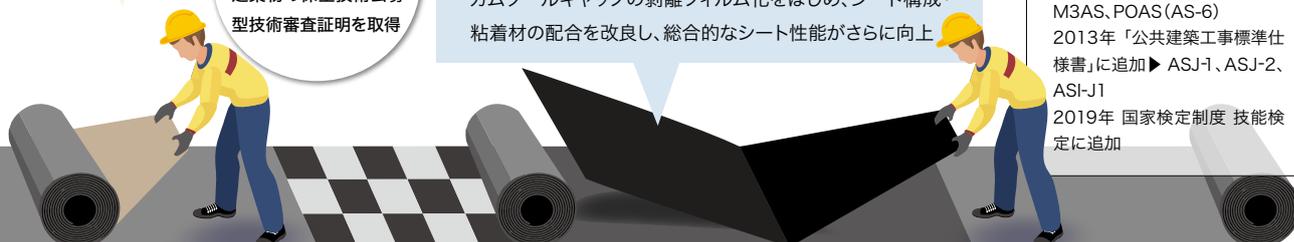
ガムクールキャップの剥離フィルム化をはじめ、シート構成・粘着材の配合を改良し、総合的なシート性能がさらに向上

改質アスファルトシート
常温粘着工法の発展

2002年「建築改修工事共通仕様書」に追加▶ M4AS (AS-3)、M3AS、POAS (AS-6)

2013年「公共建築工事標準仕様書」に追加▶ ASJ-1、ASJ-2、ASI-J1

2019年 国家検定制度 技能検定に追加

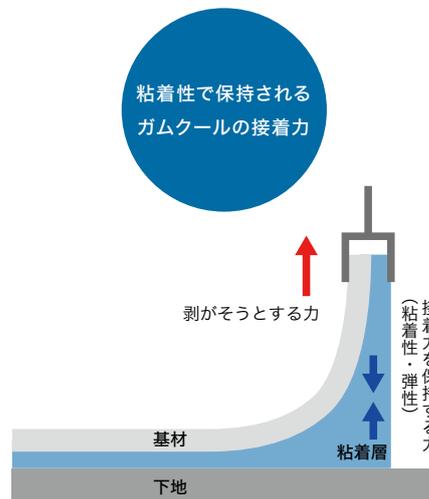


屋上を守り続けること

【防水性を保持するガムクールの基本性能】

アスファルトから圧倒的な「粘着力」を生み出した「ガムロン・テクノロジー」

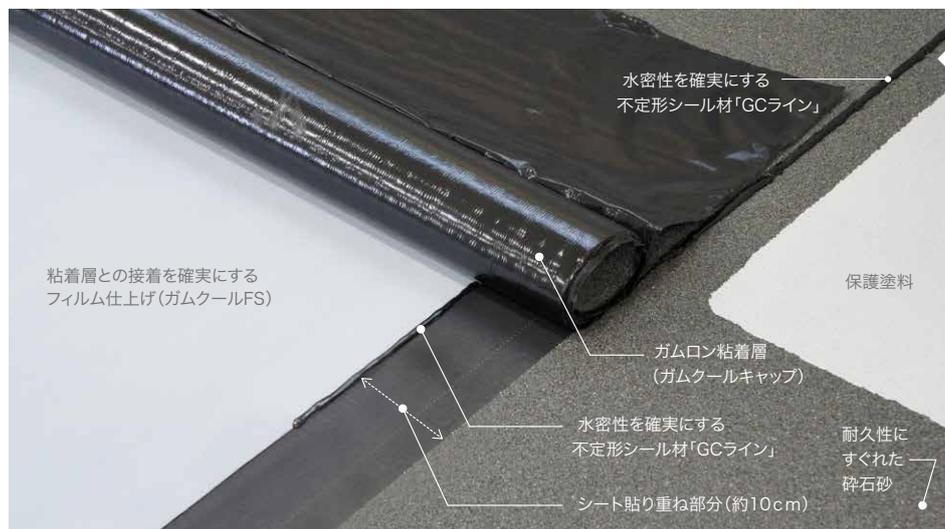
ガムクール最大の特長は、防水性に優れる改質アスファルトを主原料に、圧倒的な接着性・弾性を備えた粘着材「ガムロン」の性能にあります。その特質を最大限に活かした改質アスファルトシートは、ガムロンの誕生からおよそ半世紀にわたり蓄積した粘着層の知見と技術をもとに設計・製造されています。防水材の用途によって配合設計することで最適な粘着強度を発現させるとともに、耐久性・安定性など総合的な性能を高める技術が「ガムロン・テクノロジー」です。



「ガムロン・テクノロジー」は、アスファルトを主原料に数種類の特種改質材を緻密な設計で配合し、強力な粘着性能を持つ高耐久改質アスファルトを生産する独自技術の総称です。

シートは基材に含浸させた改質アスファルト層とガムロンによる粘着層を積層して構成されています。気温の高低でも変化しにくい安定した温度特性、優れた耐久性を有する改質アスファルトシートです。

シートの耐久性は外部からの影響を受けても粘着力と防水性を保持できる性能の優劣にあります。粘着性と弾性を併せ持つガムロン粘着層は、風圧や下地挙動に強く、粘着力の保持に優れた性質です。



ガムクール防水の仕様構成例

ガムクール防水は、改質アスファルトシートを貼り重ねてメンブレン防水層を構成する工法です。シート同士の端部を約10cm貼り重ね、強力な粘着層で接合。さらに接合部にシール材を充填することでわずかな水の浸入もブロックします。

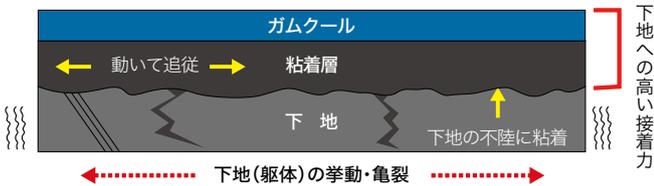
シート裏面の粘着層は隙間なく、かつ強力に既存の防水層やコンクリートへ密着し、シール材との連係で確実に水を防ぐ効果を発揮します。

高耐久性を有する特殊改質アスファルトシート

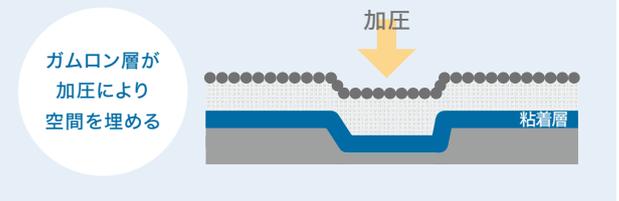
■下地の不陸・挙動に追従して密着する粘着層

ガムクールの粘着層「ガムロン」は高い粘着性ととも、流動して変形する特殊な性質があります。柔軟な性状で接着面に広がり高い接着力を発現するとともに、施工後は下地の挙動に追従してシートの防水性能を保持します。

【ガムロン粘着層の働き】



ガムロン粘着層は、上からの加圧で接着面の細部に広がります。施工時に転圧することで、改質アスファルト素材の粘着層が水みちを埋め、より高い水密性を確保します。



■柔軟かつ強力な粘着層で接着力を保持

ガムロン粘着層は、施工後も温度の高低による変質や経年劣化が少なく、柔軟性と接着力を長期間保つ性質です。面の粘着で確実に接着し、優れた耐風圧性を維持します。



ガムロン粘着層
(施工直後の引き剥がし実験)



施工後10年程度経過したガムクールを
切開調査したガムロン粘着層の事例。

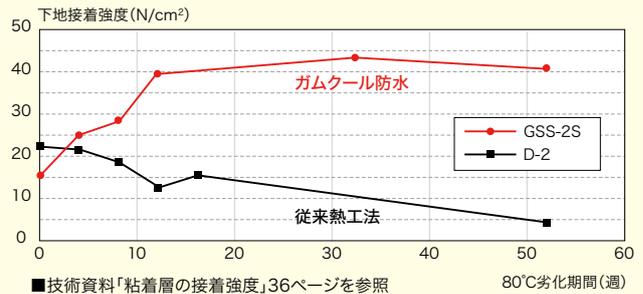
ガムロンの粘着性能 <<耐風圧性>>

ガムクール防水は粘着層「ガムロン」の強力な粘着性能により、圧倒的な強度を発現します。機械的固定工法と比較して高い耐風圧性を有しています。

	ガムクール/ リベース	断熱工法 (ギルフォーム)	機械的固定工法 クールスポット仕様
試験結果	230,000N/m ²	152,000N/m ²	m ² あたり4.4か所固定 11,858N/m ²
絶縁工法の場合 ※接着面積54%	124,200N/m ²	82,080N/m ²	
安全率	3,402%	2,248%	324%

ガムロンの粘着性能 <<粘着の持続性>>

粘着層「ガムロン」は、長年にわたる独自の技術開発と知見により、粘着性を長期間発現することが確認されています。経年による劣化の影響が少なく強度が低下しづらいため、耐久性に優れた高い耐風圧性能を有しています。



ガムロンの防水機能

<<変形する粘着性コンパウンド>>

「ガムロン」は強力な粘着層であり、優れた防水層でもあります。加圧(転圧)することで接着強度を高めるとともに、粘着物質が流動・変形して空隙部分を埋め、水みちのない優れた防水層を形成します。



※ガラス板に貼付けた粘着層の裏面で転圧前後を撮影。
実際の施工では、ガムロンの防水機能を更に高めるために、副資材のGCラインをジョイントや空隙部分に併用します。

持続可能な社会のためにできること 【かぶせ再生工法】

アスファルト系防水だからできる「再生」による長寿命化、既存防水を活かすサステナブルな防水改修

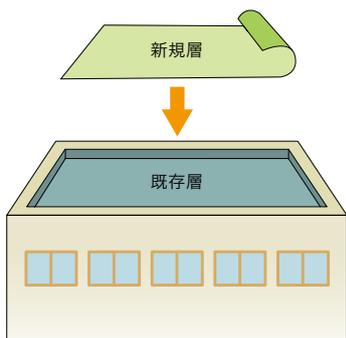
これからの社会に欠かせない視点に「SDGs(接続可能な開発目標)」があります。防水改修時に既存防水を撤去しないかぶせ改修は数々の利点がありますが、既存防水を活かしてさらに「再生」する改修なら、より大きな効果を発揮します。ガムクールを含むアスファルト系防水は、その特質によって古い防水層を再活性化でき、改修でかぶせる新規防水層と一体化が可能です。この「かぶせ再生工法」は、新規防水層を延命する相乗効果も確認されています。

防水改修には大きく分けて「かぶせ工法」と「撤去工法」があります。

かぶせ工法 イメージ

〈かぶせ工法の長短〉

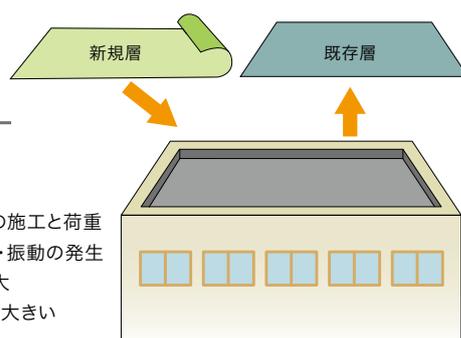
- ▲新規防水層の荷重が加わる
- 撤去による廃材発生量削減
- 施工中の漏水危険性小
- 改修費用・CO₂排出量を抑える



撤去工法 イメージ

〈撤去工法の長短〉

- 新築時とほぼ同条件の施工と荷重
- ▲撤去による廃材、騒音・振動の発生
- ▲施工中の漏水危険性大
- ▲改修費用・CO₂排出量大きい



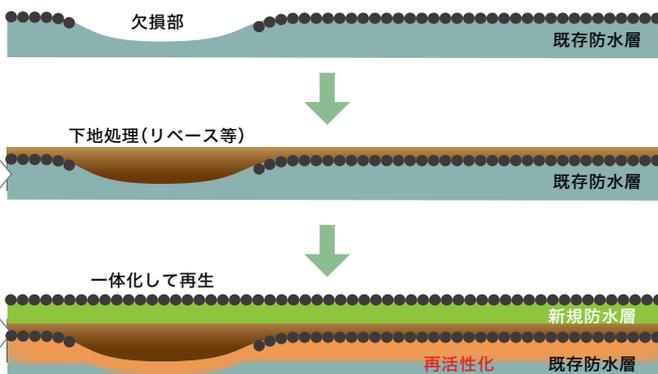
◎既存防水層の機能を継続活用
(かぶせ工法)

ガムクールはアスファルト系既存防水層を再活性化する「かぶせ再生工法」が可能です

アスファルト系防水層の劣化と再活性化

既存の古い防水層は100%劣化しているわけではありません。一部分に問題が発生し雨漏りなどが起きるケースがほとんどです。かぶせ改修時の下地処理として既存防水層に「下地活性化材」を塗布することで、欠損部などの問題を修復。古い防水層の劣化を回復(再活性化)させて既存防水層の余命を活かしつつ、新しい防水層を貼り重ねることができるのが「かぶせ再生工法」です。

かぶせ 再生工法 イメージ

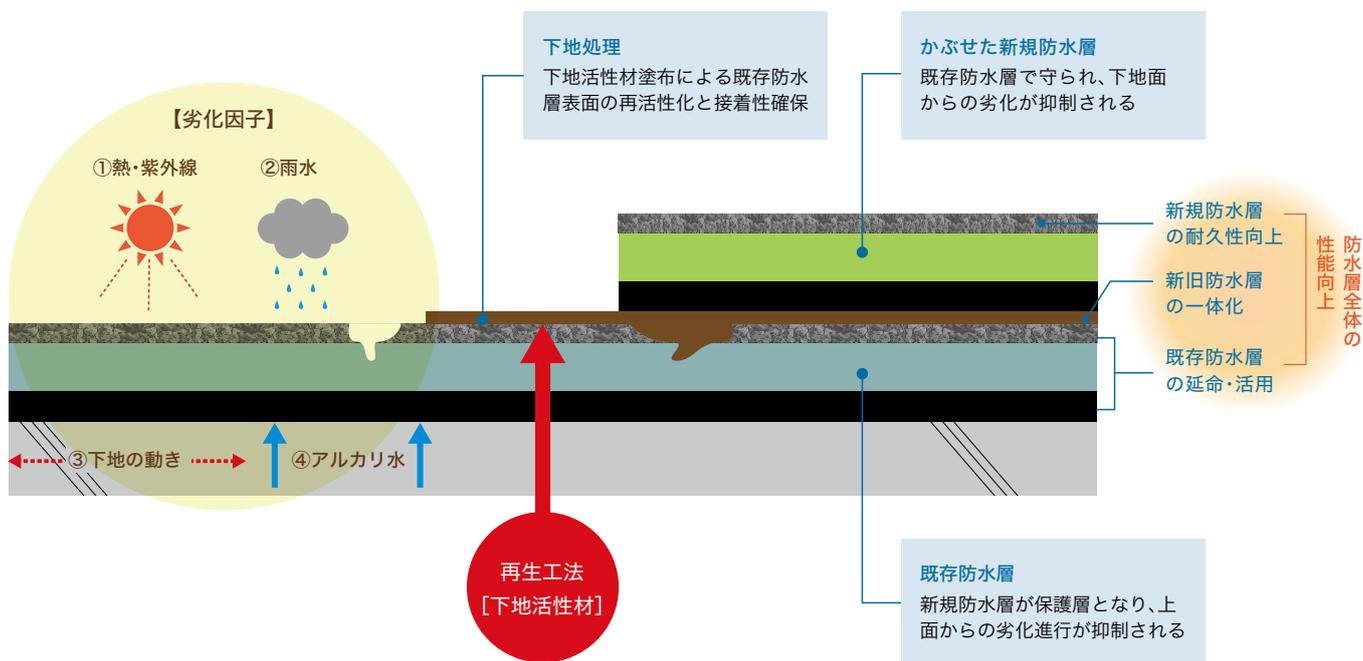


既存アスファルト防水層への
下地活性化材「リベース」塗布

粘着工法によるかぶせ工法は機械的固定によるかぶせ工法のように下地に穴を開けないので、既存防水層を傷つけることなくそのまま活かして新規の防水層の性能がプラスされます。

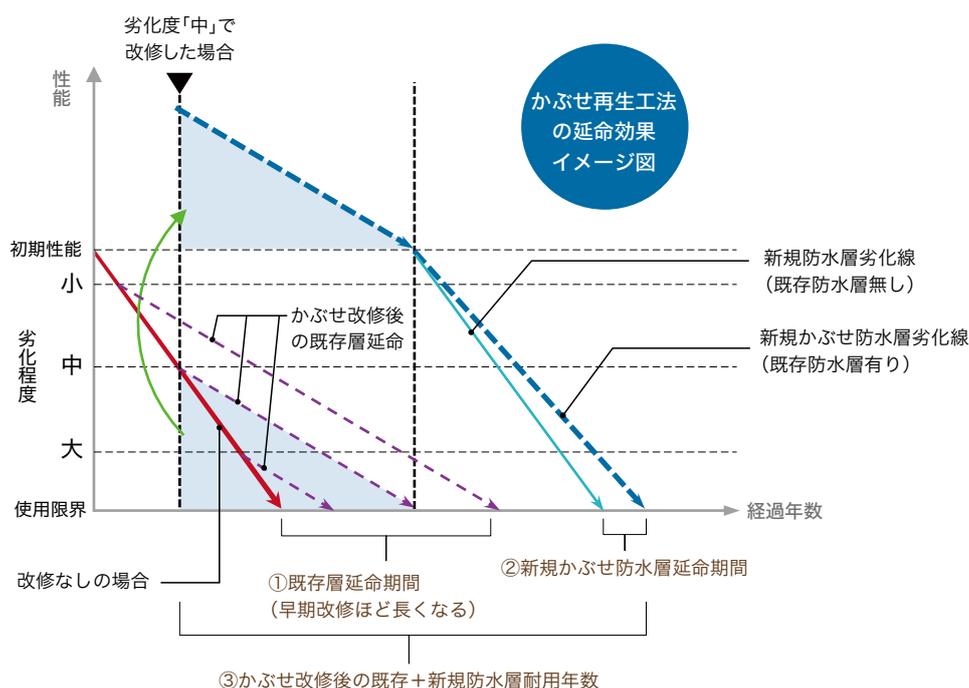
「かぶせ再生工法」による防水層の耐久性向上

アスファルト系の積層防水層は、雨水や熱・紫外線、躯体の挙動、コンクリートのアルカリ成分等の影響により、表層と下層から劣化が進行していきます。「かぶせ再生工法」は、既存と新設の防水層が相互に劣化因子を抑制する働きをすることで、新旧が一体化した防水層全体の耐久性が向上します。



アスファルト防水かぶせ再生工法による延命効果

かぶせ再生工法により、既存防水層および新規かぶせ防水層は、劣化傾向が緩和（延命）されることが確認されています。（技術資料37ページ参照）。下記①～③の理由に加えて、既存防水層は下地活性化により劣化が回復し、新規かぶせ防水層と一体化することから、最終的には、新設と既存を足し合わせて防水層全体の耐用年数が向上することになります。



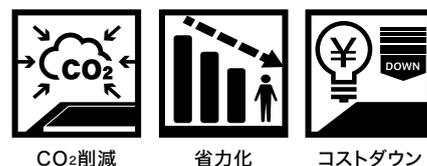
- ①早期のかぶせ再生工法により、既存防水層の延命年数は長くなる。
- ②かぶせた場合、新規かぶせ防水層の耐用年数は、既存防水層が無い場合に比べ長くなる。
- ③既存防水層と新規かぶせ防水層の耐用年数を加算する。

持続可能な社会のためにできること 【CO₂削減／省力化】

持続可能性の視点でみる屋上の改修工事。CO₂排出量削減・省力化に貢献するガムクール防水

防水の改修工事は、SDGsやCO₂削減へつながるさまざまな選択肢があります。常温粘着施工のガムクールは現場作業の省力化に好適かつ、製造時と施工時のCO₂発生量も他の防水工法と比較して少ないことから、環境性に優れた防水材料の選択といえます。また、ガムクールの立上りに塗膜防水を併用する工法は、施工時の省力化に加えて改修コスト・CO₂排出量の削減に有効な選択のひとつです。持続可能な社会に向けて多様化する改修ニーズにも、多彩な仕上げや工法の選択が可能です。

〈ガムクールの環境へのメリット〉



CO₂削減

省力化

コストダウン

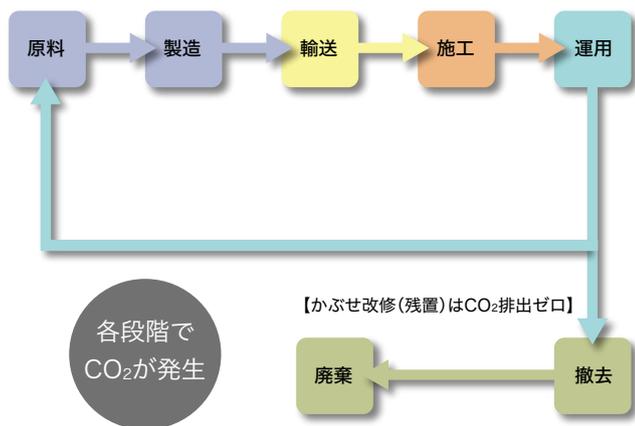


ライフサイクルで環境負荷の少ないガムクール

ガムクールは防水材料製造から施工まで、CO₂排出量削減と短工期で改修工事を実施できる環境にやさしい工法です。施工時も熱のエネルギーは使わずシート裏面粘着層のフィルムを剥がすだけで素早く接着施工でき、再生も可能なため長期の運用が可能です。

「防水材料のライフサイクルとCO₂の発生」

建物の生涯(施工～運用～解体)に渡り排出するCO₂量の合計はライフサイクルCO₂(LCCO₂)と呼ばれ、環境負荷評価などに用いられています。



■防水材料のライフサイクルとCO₂の発生量



■データの計算に当たって

- ・防水材料製造時のCO₂発生量計算は、一般財団法人サステナブル経営推進機構のLCAソフトウェア「MilCA ver.2.2」を使用して行った。またデータベースは産業技術総合研究所、産業環境管理協会の「IDEA ver.2.3」を採用し、それぞれ原料、燃料の使用量は当社2021年製造実績の値を採用し、主防水材料について算出した。
- ・防水層施工時のCO₂発生量は弊社実験値およびヒアリング値を用いて、施工時に使用する燃料あるいは電力の使用量を算出。その使用量に該当するCO₂排出係数を乗じて、CO₂発生量を算出した。
- ・輸送時のCO₂発生量材料自体の差異よりも、輸送する容量と距離、運搬車種に左右されるが、その算出は困難であり、かつ輸送時のCO₂発生量が全体に占める割合が非常に小さいため、本計算からは除外した。

ガムクールの 〈持続可能性〉 5つのポイント

- ①ガムクールは、高分子系防水材料と比較して製造段階に発生するCO₂が少ない材料です。
- ②シートを粘着層で貼る常温粘着工法は、施工時の火気・熱のエネルギーが不要です。
- ③接着工法によるかぶせ改修は複数回行えるため、改修時の撤去・新設のCO₂排出量を削減します。
- ④アスファルト系防水の「かぶせ再生工法」は既存の材料を無駄にせず、さらに長寿命化が可能です。
- ⑤改修周期を延ばすことができるため、ライフサイクルでコスト削減・CO₂削減に大きく貢献します。



立上り部に塗膜防水併用工法を選択

シート系防水材料の施工で時間を要するのが、立上り・架台や細部の納まりが複雑になりがちな配管廻りです。施工・撤去ともに手間がかかる部位にガムクールと相性の良い塗膜防水材料を併用することで、改修時の工期を短縮することが可能になります。



平面部
ガムクール

立上り部の
工法を選択

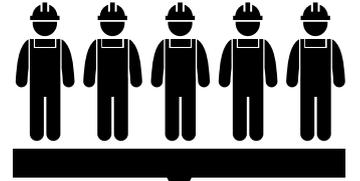
シートで施工
(GV-2)



塗膜防水併用工法
で施工
(PQ-160C)



施工工程の省力化により、改修工事の工期短縮が可能になります。また、工事にあたる技能員不足という社会的な課題に対しても有効です。



平面部200m²、立上り50m²とした場合、従来の立上り部の施工では約5人工を必要としていましたが、立上り塗膜防水併用工法では約4人工となり、20%の省力化となります。

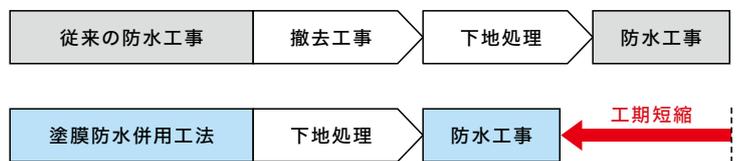


20%省力化



立上りの次回改修は撤去の工期とコスト、CO₂を削減

立上り部にシートを巻き上げて納める場合、改修時に既存立上り部防水層と端末金物の撤去が必要になり、廃棄物が発生します。塗膜防水併用工法を選択すると、次回改修からは既存撤去が不要で、塗膜防水のかぶせ改修が可能になります。適材適所の工法選択で立上り部の工期短縮、改修コスト、CO₂排出量の削減につながります。

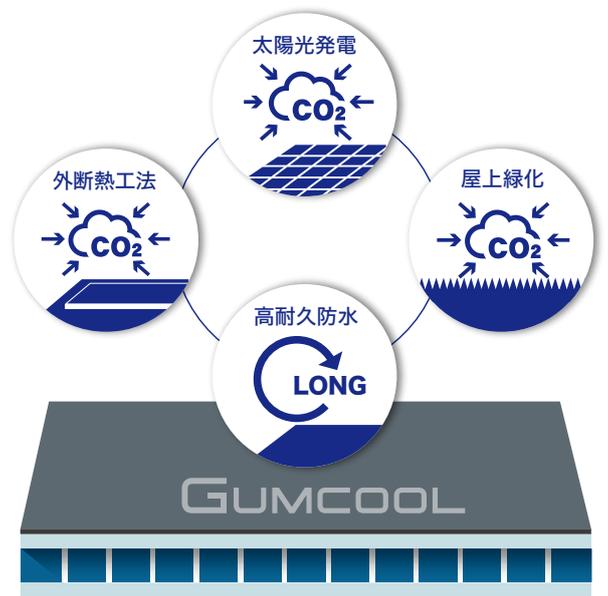


■立上り部「塗膜防水併用工法」のかぶせ改修については、15ページをご覧ください。

防水+環境技術で「SDGs/カーボンニュートラル」

屋上は、CO₂排出量削減や環境保全に向けてさまざまな工夫ができる空間です。「太陽光発電」、「屋上緑化」の設置はもちろん、防水の「外断熱工法」は空調エネルギーの低減と快適な暮らしをつくり、建物の長寿化につながります。これからの社会に必要とされる屋上活用を支えるのは、確実な防水機能を維持する高耐久防水です。

太陽光パネル設置用基礎別屋上緑化システム、断熱改修の詳細については別冊カタログのご用意があります。



太陽光パネル
設置用基礎
「PV-FIX」

デジタルカタログ

屋上緑化
システム
「G-WAVE」

デジタルカタログ

断熱
リフォーム
×
屋上防水
改修ガイド

デジタルカタログ

カタログの見方

仕様番号の見方

※当カタログの掲載仕様はすべて接着工法です。機械的固定工法(クールスポット)は、別刷カタログまたは単体仕様書をご覧ください。

G	S	S	-	2S	•	SF
防水材	下地(既存)	防水層(最上層)		層数		仕上げ材
G ガムクール	S 砂付	S 露出防水		1 1層		[露出防水用保護塗料] TH SPサーモコート
	P 高分子	C 保護防水		2 2層		SF SPファインカラー
	C コンクリート	または S 軽歩行仕上げ		200 2層/断熱		SD SPミッドカラー
				300 2層/断熱+防湿層		SC SPクリーンカラー
				S は1層目ストライプ		[保護防水] CP 保護コンクリート
						[軽歩行用仕上げ材] BC バリキャップ
						ST ステップスクエア 500H
						GT ガムロンタイル
						EB エイブロック
						RT RBタイル

アイコンの説明

	非歩行 メンテナンス程度の使用。		軽歩行 特定の人が特定の用途に使用。		歩行 不特定の人が多目的に使用。
	複層工法 改質アスシートを2層積層して仕上げるアスファルト系ならではの工法。		単層工法 1層で仕上げる工法。既存がアスファルト防水で、かつ状態が良い場合に用いる。		絶縁仕様 1層目がストライプ状粘着層で通気性を確保、下地挙動にも柔軟に対応しフクレを軽減。
					密着仕様 全面粘着層による高い接着力。下地状態が良い場合や、立上り・側溝部に適する。

【防水層重量目安と厚み、耐用年数表記について】

- 重量目安: 下地処理材・防水層・断熱材・仕上げ材を含みます。保護コンクリートは含みません。(保護塗料はSPファインカラーの塗布量を目安に積算)
- 厚み: 防水層・断熱材・仕上げ材を含みます。下地処理材・接着剤・保護コンクリートは含みません。
- ※ガムクールで改修した場合の防水層仕上がり高さの確認を目的としており、ガムクール防水層そのものの厚さではありません。
- 耐用年数: 一般的条件の下での施工により形成される防水層自身の寿命としての目安であり、保証値ではありません。日射反射型の保護塗料を塗布することで、防水層の耐用年数を延ばすことができます。(定期的に塗料の塗り替えを行い、その性能維持を前提とします。保護塗料の種類により耐用年数の加算が異なります。53ページ参照)
- 断熱仕様の場合、防水層は断熱材上の温度変化の影響を強く受けるため耐用年数は短くなります。既存防水の断熱材も影響するため、既存の状況をご確認ください。

代表的な工法の選定基準

※あくまでも目安となりますので、改修計画の際は調査診断を実施することをおすすめします。

既存状況	フクレの状況	表層の状況	雨水浸入	既存断熱材	その他
改修工法(仕様)					
GSS-1(単層密着)	フクレが少ない。	多少の砂落ちが見られる。	確認されない。	大きな問題は見られない。	次回の改修についても通常15年以内でのサイクルで改修を検討している場合。
GSS-2(複層密着)	フクレが少ない。	多少の砂落ちが見られる。	確認されない。	大きな問題は見られない。	既存防水層に大きな問題はないが、今後の改修サイクルを延ばしたい場合に有効。
GSS-2S(複層絶縁)	フクレ等が多い。	砂落ちが激しい。 表層のルーフィングに軽微な口開きがある。 表層のルーフィングに吸湿がある。	浸入原因が特定できる場合。 層間での浸入。	大きな問題は見られない。	既存防水層の劣化が進行している場合。 今後の改修サイクルを延ばしたい場合に有効。
既存防水層撤去 仮防水(アスグランド) GCS-300S等	フクレが著しい。 筋状の皺・フクレが多く見られる。	砂落ちが激しい。 表層ルーフィングの口開きが多く見られる。	雨水浸入が著しく、 広範囲に拡がっている。 断熱材まで雨水の浸入がある。	既存防水層の断熱材に 曇れが見られる。 断熱材まで雨水の浸入がある。	過去に2回以上の改修をしている場合。 (要調査診断)

仕様番号一覧

仕上げ	適用下地	仕様番号	工法	断熱有無	歩行	掲載ページ
露出防水 砂付仕上げ	既存 アスファルト防水	GSS-2S	複層絶縁	—	非歩行	11
		GSS-2	複層密着	—	非歩行	13
		GSS-1	単層密着	—	非歩行	14
		GSS-200S	複層絶縁	断熱	非歩行	21
	既存 コンクリート・モルタル	GCS-2S	複層絶縁	—	非歩行	12
		GCS-200S	複層絶縁	断熱	非歩行	21
		GCS-300S	複層絶縁	断熱/防湿	非歩行	22
	既存 合成高分子系防水	GPS-2S	複層絶縁	—	非歩行	12
		GPS-2	複層密着	—	非歩行	13
		GPS-1	単層密着	—	非歩行	14
		GPS-300S	複層絶縁	断熱/防湿	非歩行	22
	保護防水 保護コンクリート 仕上げ	躯体コンクリート	GCC-2S・CP	複層絶縁	—	歩行
GCC-200S・CP			複層絶縁	断熱	歩行	27

仕上げ	適用下地	仕様番号	板状仕上げ材	掲載ページ
軽歩行仕上げ	既存 アスファルト防水	GSC-2S・BC	バリキャップP	24
		GSC-2S・ST	ステップスクエア 500H	25
		GSC-2S・GT	ガムロンタイル	26
	既存 コンクリート・モルタル	GCC-2S・BC	バリキャップP	24
		GCC-2S・ST	ステップスクエア 500H	25
		GCC-2S・GT	ガムロンタイル	26
		GCC-2S・EB	エイブロック	26
		GCC-200S・EB	エイブロック	26
		GCC-2S・RT	RB タイル	26
		既存 合成高分子系防水	GPC-2S・BC	バリキャップP
	GPC-2S・ST		ステップスクエア 500H	25
	GPC-2S・GT		ガムロンタイル	26

工法	仕様番号	防水材	掲載ページ
塗膜防水併用工法 (立上り/架台)	PQ-160C	アスクールC	16
	AQ-160	アクアベース	17
	GV-OATM-3S	オルタックエース	18

	仕様番号	工法
立上り部 ※仕様詳細は 28ページ	GV-2	複層仕様
	GV-1	単層仕様
	GV-3	複層仕様 (キャント材有)

- ガムクール防水 機械的固定工法(クールスポット仕様)
ガムクール材料を用いる機械的固定工法(仕様番号:CAS-200M 他)は、別冊カタログ「クールスポット仕様」をご覧ください。営業担当へお問い合わせください。
- 勾配屋根改修工法
「ガムクールMⅡ」を用いる既存シングルかぶせ工法(仕様番号:GS-01/02/03)は、「シングル」カタログをご覧ください。

砂付仕上げ・複層工法

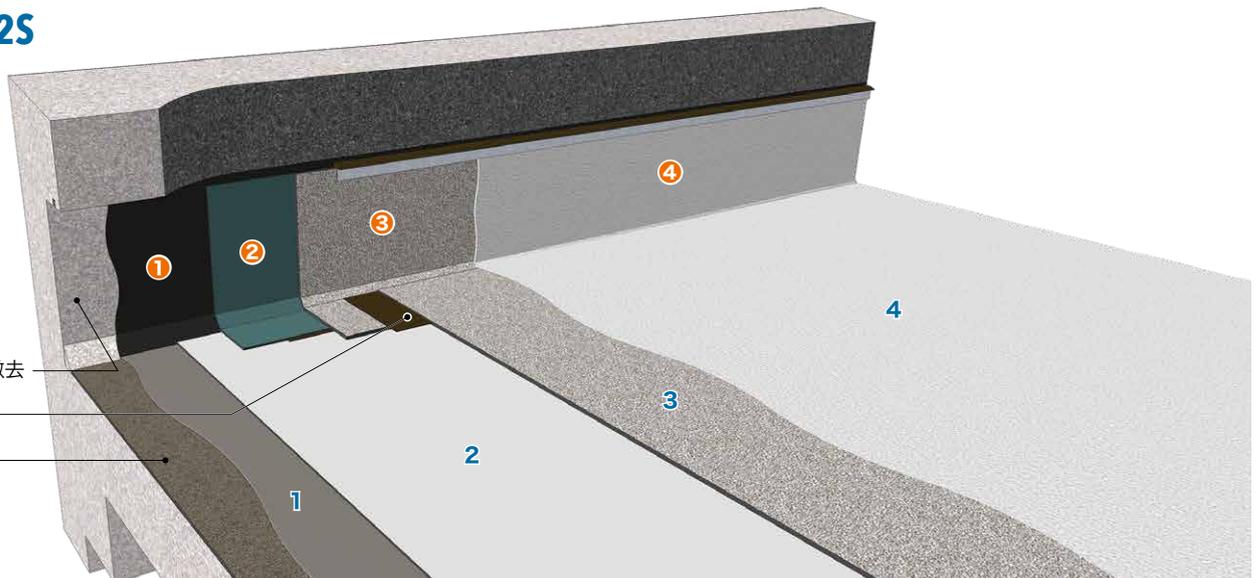
非断熱

絶縁

下地活性化材や豊富なプライマーの採用で、さまざまな既存防水層に対応する複層防水絶縁工法。



GSS-2S



GSS-2Sシリーズ

適用下地:アスファルト露出防水

防水層重量目安:約7kg/m²

厚み:約4mm

基本耐用年数:既存断熱あり…15年*

:既存断熱なし…20年*

平面部		立上り部 GV-2		(単位:/m ²)
1	リベース	①	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFS	②	ガムクールFX	
3	ガムクールキャップ	③	ガムクールキャップ	
4	保護塗料※1	④	保護塗料※1	

※1 保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安

【GSS-2S】		(単位:/m ²)			
保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※3	
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC	
耐用年数	断熱あり	20年	18年	18年	18年
	断熱なし	22年	21年	21年	21年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

※2 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※3 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。

絶縁工法仕上げの注意事項

・フレック防止のため、ステンレスペーパースまたはペーパス(立上り)を設置します。

立上り部の注意事項

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。

・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。

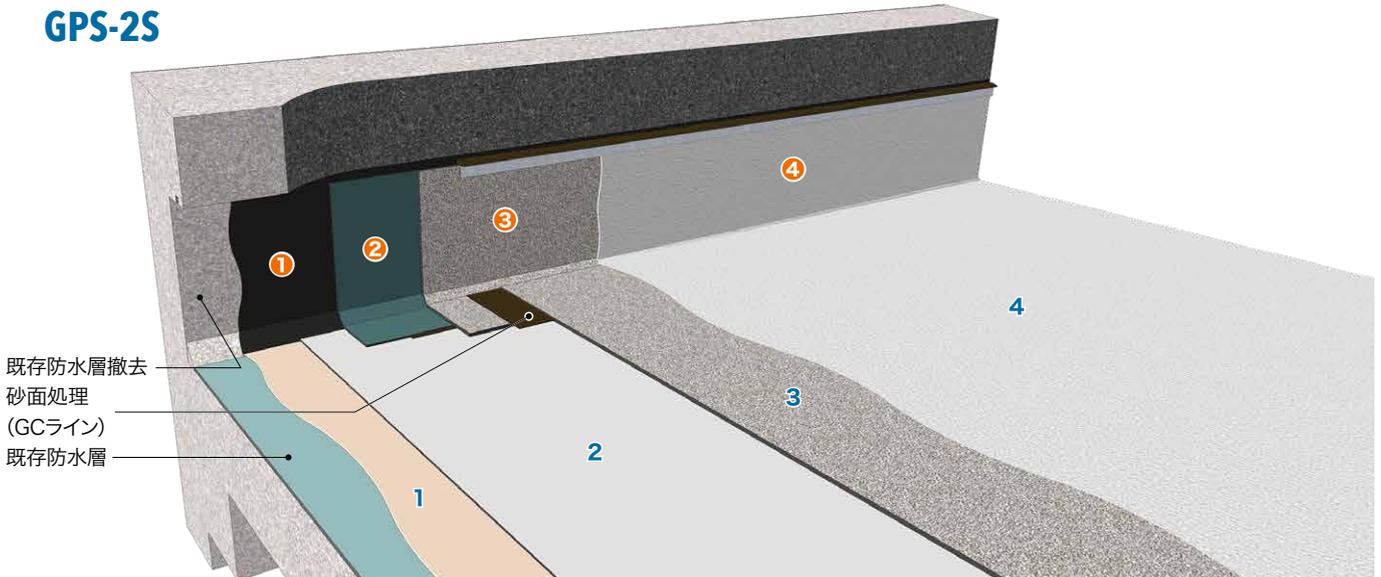
・塗膜防水併用工法で施工する場合は15ページをご参照ください。

非断熱

絶縁



GPS-2S



防水仕様

複層(絶縁)砂付

GPS-2Sシリーズ

適用下地: 高分子系防水
 防水層重量目安: 約6kg/m²
 厚み: 約4mm
 基本耐用年数: 既存断熱あり…15年*
 : 既存断熱なし…20年*

GCS-2Sシリーズ

適用下地: コンクリート・モルタル
 防水層重量目安: 約6kg/m²
 厚み: 約4mm
 基本耐用年数: 既存断熱あり…15年*
 : 既存断熱なし…20年*

平面部 (単位:/m ²)		平面部 (単位:/m ²)		立上り部(共通) GV-2 (単位:/m ²)	
1	各種プライマー	1	水性プライマーAS 0.2kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS	2	ガムクールFS	②	ガムクールFX
3	ガムクールキャップ	3	ガムクールキャップ	③	ガムクールキャップ
4	保護塗料※1	4	保護塗料※1	④	保護塗料※1

※1 保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材の有無による耐用年数の目安

[GPS-2S/GCS-2S]

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※3
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	20年	18年	18年
	断熱なし	22年	21年	21年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

リベース塗布量(目安) (GSS-2S)

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
 (33ページ参照)

既存防水層別 プライマー選定表 (GPS-2S)

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマーA	0.15kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマーAS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマーG+OTプライマーA※	各0.1kg/m ²

・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。
 ・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。
 ・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。
 ・下地の種類、劣化状態により適応できない場合があります。事前に接着試験を行って確認してください。
 ※OTプライマーAの代わりに速硬化OTプライマーMブルーも使用できます。

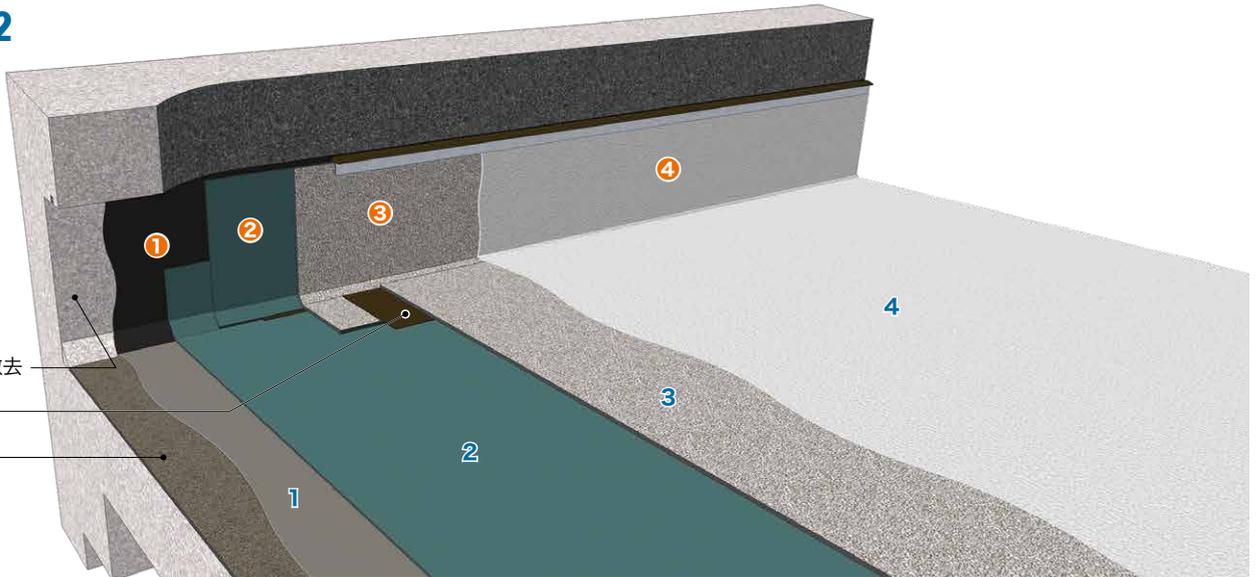
砂付仕上げ・複層工法

非断熱 密着



下地活性化材や豊富なプライマーの採用で、さまざまな既存防水層に対応する複層密着防水工法。

GSS-2



防水仕様

複層(密着)砂付

既存防水層撤去
砂面処理
(GCライン)
既存防水層

GSS-2 シリーズ

適用下地:アスファルト露出防水
防水層重量目安:約8kg/m
厚み:約4mm
基本耐用年数:既存断熱あり…15年*
:既存断熱なし…20年*

GPS-2 シリーズ

適用下地:高分子系防水
防水層重量目安:約7kg/m²
厚み:約4mm
基本耐用年数:既存断熱あり…15年*
:既存断熱なし…20年*

平面部 (単位:/m ²)		平面部 (単位:/m ²)		立上り部(共通) GV-2 (単位:/m ²)	
1	リベース	1	各種プライマー	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFX	2	ガムクールFX	②	ガムクールFX
3	ガムクールキャップ	3	ガムクールキャップ	③	ガムクールキャップ
4	保護塗料※1	4	保護塗料※1	④	保護塗料※1

※1 保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安

[GSS-2/GPS-2]

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※3
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	20年	18年	18年
	断熱なし	22年	21年	21年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

※2 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※3 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。

立上り部の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・GV-1仕様の場合、FX-33に代えてガムクールFXを裁断して使用することもできます。
- ・塗膜系防水併用工法で施工する場合は15ページをご参照ください。

砂付仕上げ・単層工法

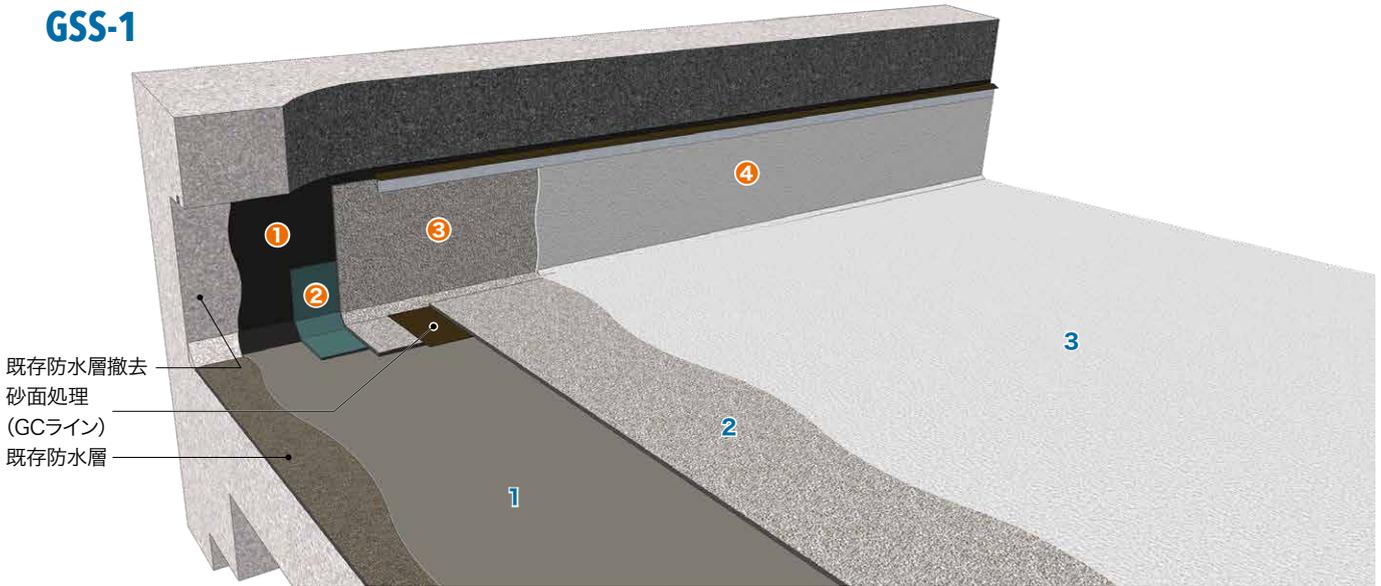
非断熱

密着

下地状態が比較的良好な場合に採用可能で、高い接着力を得られる工法。



GSS-1



GSS-1 シリーズ

適用下地:アスファルト露出防水
 防水層重量目安:約6kg/m²
 厚み:約4mm
 基本耐用年数:既存断熱あり…10年*
 :既存断熱なし…15年*

GPS-1 シリーズ

適用下地:高分子系防水
 防水層重量目安:約5kg/m²
 厚み:約4mm
 基本耐用年数:既存断熱あり…10年*
 :既存断熱なし…15年*

平面部	(単位:/m ²)
1	リベース
2	ガムクールキャップEX
3	保護塗料※1

平面部	(単位:/m ²)
1	各種プライマー
2	ガムクールキャップEX
3	保護塗料※1

立上り部(共通)	GV-1	(単位:/m ²)
①	水性プライマーAS	0.2kg
②	FX-33	
③	ガムクールキャップEX	
④	保護塗料※1	

※1 保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材の有無による耐用年数の目安

【GSS-1/GPS-1】		(単位:/m ²)			
保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※3	
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC	
耐用年数	断熱あり	15年	13年	13年	13年
	断熱なし	17年	16年	16年	16年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

リベース塗布量(目安)【GSS-1/GSS-2】

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
 (33ページ参照)

既存防水層別 プライマー選定表【GPS-2/GPS-1】

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマーA	0.15kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマーAS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマーG+OTプライマーA※	各0.1kg/m ²

・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。
 ・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。
 ・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。
 ・下地の種類、劣化状態により適応できない場合があります。事前に接着試験を行って確認してください。
 ※OTプライマーAの代わりに速硬化OTプライマーMブルーも使用できます。

立上り・架台 塗膜防水併用工法

立上り・架台部・配管まわりなど複雑部位に、ガムクールと接着性が良好な塗膜防水材料を併用して施工する工法です。省力化と工期短縮が可能になり、次回改修以降は既存の撤去が不要な塗膜防水のかぶせ改修を選択できます。

【次回以降の改修も塗膜防水併用で、さらに省力化できる】

立上り部をシート防水で施工すると、改修工事ごとに既存防水層と端末金物の撤去が必要となります。塗膜防水を併用した改修の場合は、2回目以降は既存防水層の撤去が不要となり、撤去時に発生しがちな漏水の心配もありません。次回、次々回の改修時も撤去時に発生する費用を抑え、ライフサイクルコスト削減に貢献します。

平面部・立上り部をシートで施工した場合

1回目の改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存立上り防水層撤去 ■ 既存立上り端末金物撤去
2回目の改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存立上り防水層撤去 ■ 既存立上り端末金物撤去
3回目の改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存立上り防水層撤去 ■ 既存立上り端末金物撤去

平面部改修のために立上り部撤去が必要

3回分の廃棄物&CO₂

立上り部を塗膜防水併用工法で施工した場合

1回目の改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存立上り防水層撤去 ■ 既存立上り端末金物撤去
2回目の改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存防水非撤去 ■ 塗膜防水のかぶせ施工
3回目の改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存防水非撤去 ■ 塗膜防水のかぶせ施工

立上り部撤去不要
改修コスト・廃棄物
CO₂排出量削減

2回分をコストダウン

ガムクール防水
と併用できる
塗膜防水材料

オールマイティで施工性に優れる
改質アスファルト系塗膜防水材料

アスクールC



溶剤系で減粘剤・硬化促進剤対応。
広い温度範囲で施工できる。

環境性能で選ぶなら水系システム
アクリルゴム系塗膜防水材料

アクアベース



防水材料からプライマーまで水系材料
でそろろう。

架台や取合い部に対応する
ウレタン塗膜防水

立上り用
オルタックエース



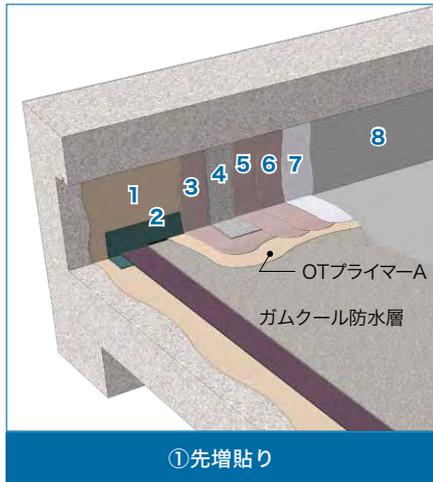
バルコニー等のウレタン防水も
ガムクールと併用可能。

塗膜防水併用工法 アスクールC 立上り・架台

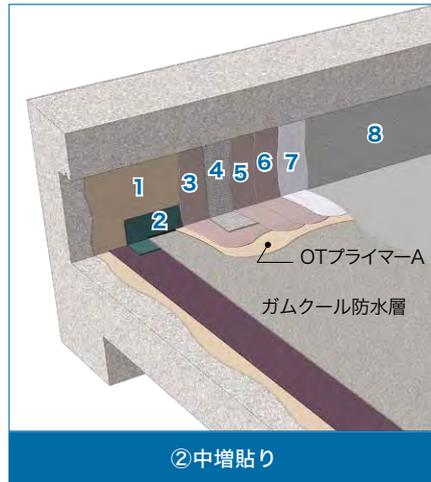
密着

ガムクールとの接着性が良好で施工性に優れる、2液型常温反応型の改質アスファルト系塗膜防水材料。シートと同じ専用保護塗料を用いることで、平面部と連続したイメージに仕上がります。

PQ-160C 立上り

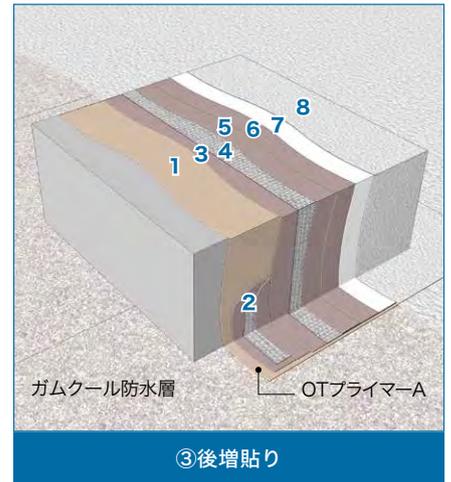


①先増貼り



②中増貼り

PQ-160C 架台



③後増貼り

PQ-160C

適用下地:コンクリート

※1 立上り・架台ともに、増貼り材を入れる位置は以下の3パターンから選択します。

①先増貼り:平面部防水層施工に先立つ

②中増貼り:平面部1層目と2層目の間

③後増貼り:平面部施工後

立上り・架台(先増貼り/中増貼り)		(単位:/m ²)
1	OTプライマー-A	0.2kg
2 ^{※1}	(先増貼り/中増貼り) ガムクールFXまたはFX-33	
3	アスクールC	0.8kg
4	マットFCII	
5	アスクールC	1.2kg
6	アスクールC	0.8kg
7	SPベース(アスクールC上のみ)	0.45kg
8	保護塗料	
	SPサーモコート 0.4~0.6kg	
	SPファインカラー 0.15~0.3kg	
	SPミッドカラー 0.2~0.3kg	
	SPクリーンカラー 0.2~0.3kg ※2	

立上り・架台(後増貼り)		(単位:/m ²)
1	OTプライマー-A	0.2kg
2 ^{※1}	(後増貼り) アスクールC/マットFCII アスクールC	0.8kg 1.2kg
3	アスクールC	0.8kg
4	マットFCII	
5	アスクールC	1.2kg
6	アスクールC	0.8kg
7	SPベース(アスクールC上のみ)	0.45kg
8	保護塗料	
	SPサーモコート 0.4~0.6kg	
	SPファインカラー 0.15~0.3kg	
	SPミッドカラー 0.2~0.3kg	
	SPクリーンカラー 0.2~0.3kg ※2	

*アスクールCをガムクール防水上へ塗布する範囲には、あらかじめOTプライマー-Aを塗布しておきます。

※2 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

注意事項

・立上り、側溝部、架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合は、ご相談ください。

・アスクールCには、水性プライマーAS、アスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSは使用できません。

・金属下地にはプライマーBP(0.1kg/m²)などを使用します。ウレタン下地にはOTプライマー-A(0.15kg/m²)を使用します。

・アスクールCは「エンシシート」と組合せての使用はできません。

・端末処理を行う場合にはGCラインをご使用ください。

塗膜防水併用工法 アクアベース 立上り・架台

密着

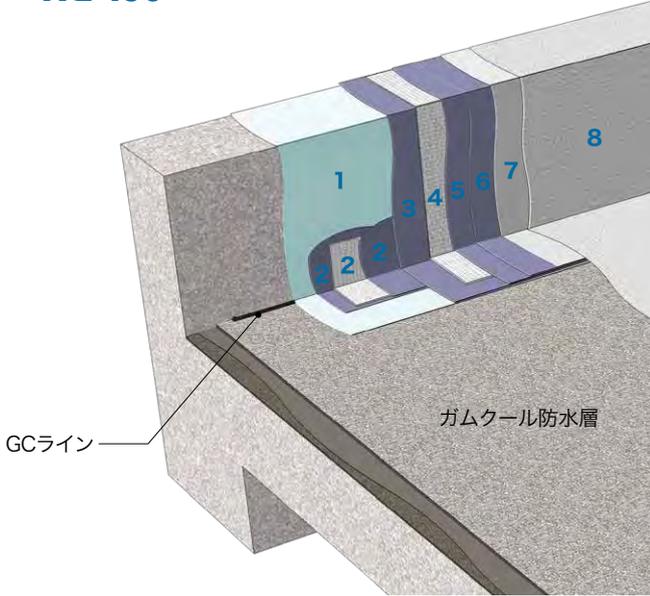
水系の2液混合型アクリルゴム系塗膜防水材料を用いる併用工法。

プライマーから保護塗料まで、環境性に優れた材料の水系材料で施工できます。立上り、架台ともに、平面部を仕上げた後に入隅部の増貼りを行う「後増貼り」と、先に入隅部を増貼りする「先増貼り」のどちらでも適用可能です。

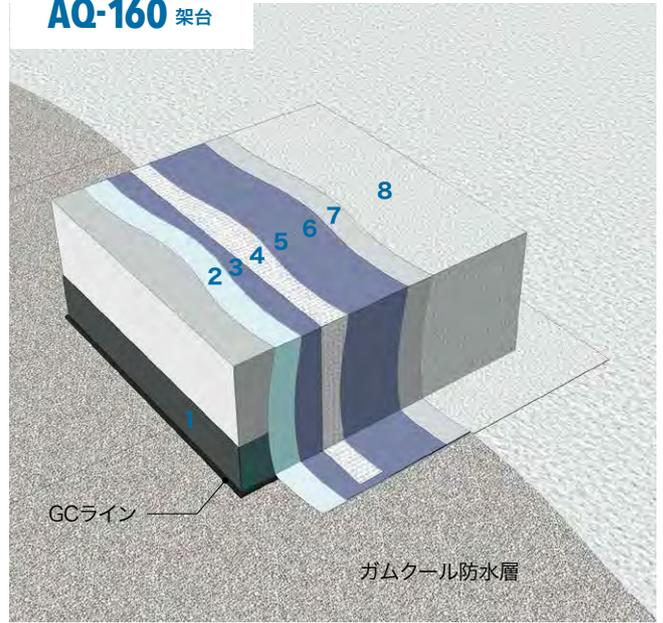
防水仕様

塗膜防水併用工法

AQ-160 立上り



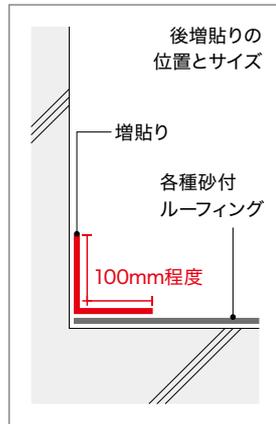
AQ-160 架台



AQ-160

適用下地: コンクリート

立上り(後増貼り)		(単位:/m ²)
1	アクアプライマー	0.15kg
2	増貼り※1	—
3	アクアベース	1.0kg
4	メッシュJK	—
5	アクアベース	1.0kg
6	アクアベース	1.0kg
7	SPファインカラー	0.15kg
8	SPファインカラー	0.15kg

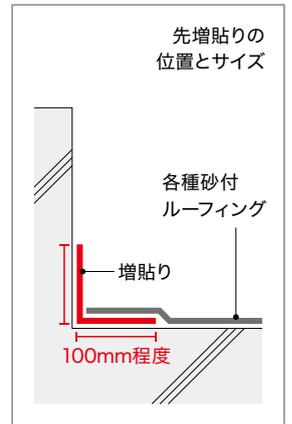


※1 後増貼りの場合、平面部の砂付ルーフィング施工後にアクアベース(1.0kg/m²)→メッシュJK増貼り→アクアベース(1.0kg/m²)の手順で施工します。

AQ-160

適用下地: コンクリート

架台(先増貼り)		(単位:/m ²)
1	増貼り※2	—
2	アクアプライマー	0.15kg
3	アクアベース	1.0kg
4	メッシュJK	—
5	アクアベース	1.0kg
6	アクアベース	1.0kg
7	SPファインカラー	0.15kg
8	SPファインカラー	0.15kg



※2 先増貼りの場合、FX-33、ゴムクールFXなど、平面部アスファルト工法の増貼り材を使用します。その場合は2層目の施工前に行ってください。

アクアベース併用工法は、立上り部の既存防水層を撤去せずに改修を行うことも可能です。詳しくは「コンポジットシステムAS」カタログをご覧ください。

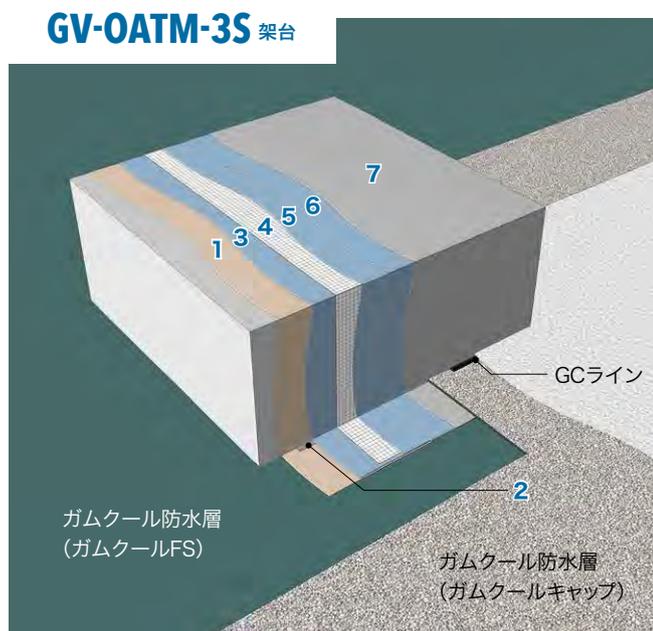
注意事項

- ・アクアベースの各施工は指触により表面乾燥を確認した後、次工程に移ってください。
- ・側溝などの雨水が滞留する部位にAQ-160を施工する場合は、工程6と工程7の間に仲介プライマーとして、アクアプライマー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- ・立上り、側溝部、架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合はご相談ください。
- ・アクアベース施工部位には必ずアクアプライマーを使用してください。
- ・アクアベースはエンシンシートと組合せての使用はできません。
- ・SPファインカラーに代えて、SPクリーンカラー2回塗り(0.2kg/m²+0.2kg/m²)、SPサーモコート2回塗り(0.4kg/m²+0.4kg/m²)、SPベース+SPファインカラー(0.45kg/m²+0.15~0.3kg/m²)もご採用いただけます。(価格別途)

塗膜防水併用工法 オルタックエース 架台

密着

2液型ウレタン塗膜防水材を用いる、架台廻りまたはルーフバルコニーなどに対応する併用工法。部分保護コンクリートの取合い部でもガムクールと併用可能です。



GV-OATM-3S

適用下地:コンクリート

架台		(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg
2	入り隅部 OTシール	—
3	立上用オルタックエース	0.3kg
4	メッシュUB	—
5	立上用オルタックエース	1.7kg
6	立上用オルタックエース	1.0kg
7	OTコートシリコーン	0.2kg

注意事項

- ・オルタックエースは架台廻りでの使用を原則といたします。
- ・架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合は、ご相談ください。
- ・OTコートシリコーンに代えてOTコートクール、OTコートAも採用可能です。(価格別途)

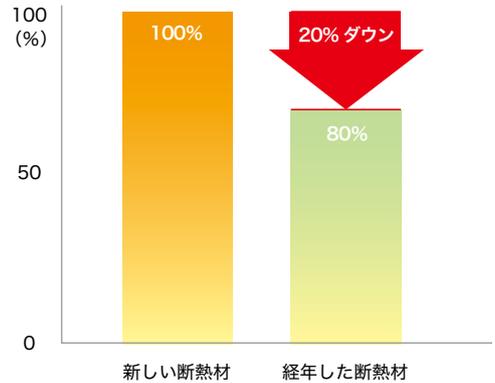
断熱改修工法

屋上防水に断熱材を組み込む外断熱工法は、夏の暑さ、冬の寒さなど外部からの熱の影響を和らげることで冷房・暖房効率を改善し、省エネルギー化とともに快適な居住環境をつくれます。また、熱による躯体の膨張・収縮を軽減し、建物の長寿命化にも寄与します。防水改修時には、この断熱性能を維持する改修もあわせて行うことができます。

断熱材の経年と性能劣化

露出断熱防水に用いられる断熱材(硬質ウレタンフォーム)は断熱性が高い素材ですが、新設時から10年~15年の経過で性能が約20%低下することが近年の研究で明らかになっています。断熱材が水分と触れて吸湿吸水した場合はさらに劣化が進み、断熱性能が90%低下した例も確認されています。

初期の熱抵抗値を100%とした場合、10~15年の経過で約20%性能低下



一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 『住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)』2009年3月

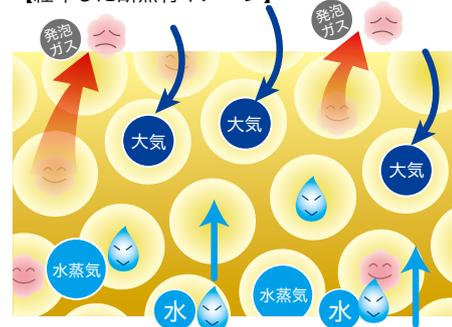


【新しい断熱材イメージ】



新しい断熱材は、内部の気泡の中に、断熱性能の高い発泡ガスが閉じ込められています。

【経年した断熱材イメージ】



時間が経つごとに気泡内のガスが抜け、ガスより断熱性の低い大気に入れ替わります。断熱材が吸湿吸水した場合も断熱性が低下します。

既存の断熱材を活かして更新できるガムクールの断熱改修工法

ガムクールは既存防水層の上に比較的容易に断熱材を施工することが可能です。防水改修時に既存の断熱防水層を撤去せずとも、防水層とともに新規断熱材を重ねるかたちで断熱性能を回復します。

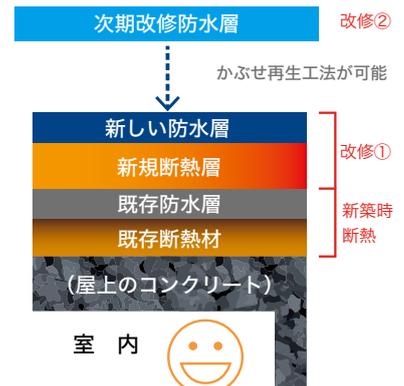
十分な断熱性能を確保できれば、次の改修は防水のみのかぶせ改修が可能です。



屋上の断熱材も古くなると性能が劣化



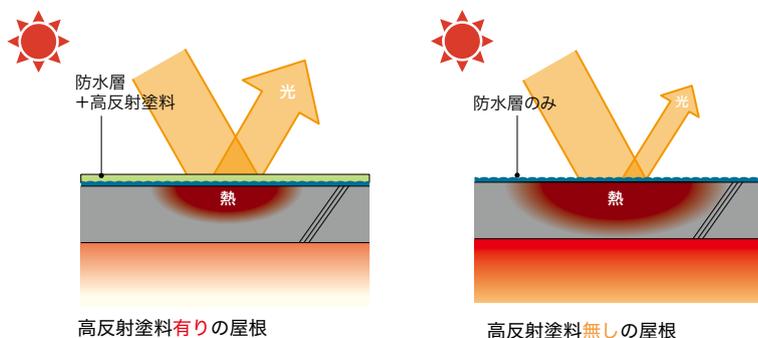
防水改修時に断熱材を組み込んで、断熱性能も回復!



※漏水等で既存断熱材が水分を多量に含んでいる場合は、断熱材の撤去・更新をご検討ください。

断熱工法に欠かせない高反射保護塗料の効果

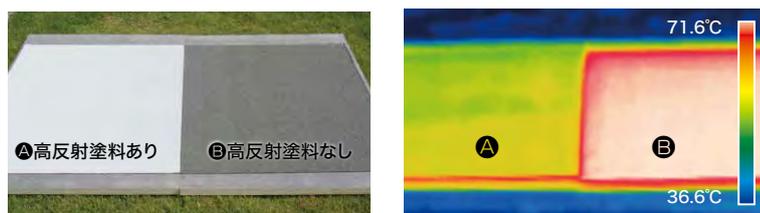
防水との組合せによる屋上の「外断熱工法」は大きな断熱効果を発揮します。その一方で断熱材上の防水層は、断熱材で侵入を遮られた日射の熱量をすべて受け止めることになるため、特に夏場、高温となり劣化の進行が速くなる傾向にあります。そこで防水層を守る強い味方となるのが、太陽光を反射する機能を持つ高反射保護塗料です。



高反射塗料の効果

太陽光は物体(屋上)に当たった時点で熱エネルギーに変換されます。屋上防水に高反射塗料が施されていると、太陽光が表面で反射するため、光の総量が少なくなり、その結果熱エネルギーに変換される量も減少します。高反射塗料により太陽光をより多く反射させることは熱の発生を抑制し、防水層の温度上昇を抑えます。

【高反射塗料の有無による防水層表面温度の差をサーモグラフで比較】



高反射塗料「SPシリーズ」

太陽光による建物の温度上昇を大幅に抑制し、防水層の耐久性向上に寄与する高反射塗料シリーズです。アスファルト露出防水の仕上げ材として開発した保護塗料のため、ゴムクーとの相性がよく、特に付着性が優れています。水性塗料ですので、施工時の火災や中毒の心配もありません。

※SPシリーズの詳細については54ページをご覧ください。

建物に要求される断熱性能

建物の内部と外部を隔てる境界部分である外壁・屋根・窓などのことを「外皮」と呼び、これらの部位には断熱性、気密性、遮音性などが求められます。断熱性能については「外皮平均熱貫流率(UA)」で表され、地域によって達成基準となるUA値が定められています。

■共同住宅の単位住戸の外皮基準※

都道府県名	地域区分	外皮平均熱貫流率 (UA) 単位: W/m ² K
北海道	1.2	0.46
青森県・岩手県・秋田県	3	0.56
宮城県・山形県・福島県・新潟県・長野県・栃木県	4	0.75
茨城県・群馬県・山梨県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・滋賀県 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県 京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県 岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県 佐賀県・長崎県・熊本県・大分県	5.6	0.87
宮崎県・鹿児島県	7	0.87
沖縄県	8	—

※平成二十八年経済産業省・国土交通省第一号 建築物エネルギー消費性能等を定める省令 第一条の二 イ(1)より引用

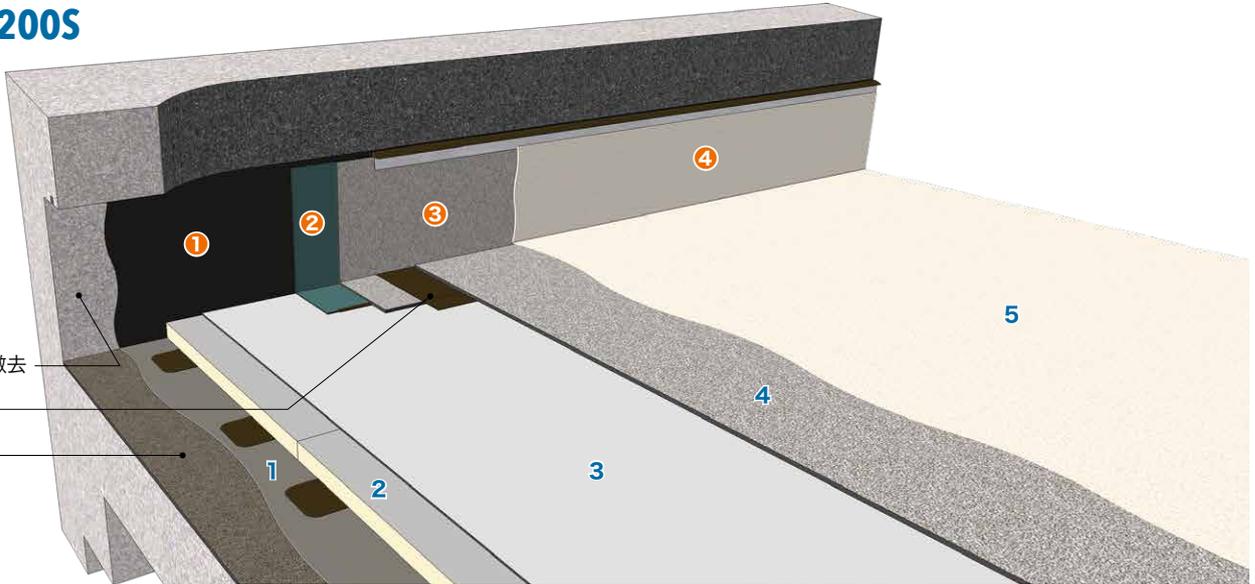
砂付仕上げ・断熱複層工法

断熱 絶縁



断熱性能に優れた硬質ウレタンフォーム ギルフォームを組み込んだ外断熱工法。

GSS-200S



防水仕様

複層(絶縁・断熱)砂付

GSS-200S シリーズ

適用下地:アスファルト露出防水
 防水層重量目安:約10kg/m²
 厚み:約54mm(断熱50mmの場合)
 基本耐用年数:15年*

GCS-200S シリーズ

適用下地:コンクリート・モルタル
 防水層重量目安:約9kg/m²
 厚み:約54mm(断熱50mmの場合)
 基本耐用年数:15年*

平面部 (単位:/m ²)		平面部 (単位:/m ²)		立上り部(共通) GV-2 (単位:/m ²)	
1	リベース	1	水性プライマーAS 0.2kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	ギルフォーム レイコーセメント(点貼り)※4 0.8kg	2	ギルフォーム レイコーセメント(点貼り)※4 0.8kg	②	ガムクールFX
3	ガムクールFS	3	ガムクールFS	③	ガムクールキャップ
4	ガムクールキャップ	4	ガムクールキャップ	④	保護塗料※1
5	保護塗料※1	5	保護塗料※1		

※1 保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材の有無による耐用年数の目安

[GSS-200S/GCS-200S]

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※3
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱 20年	18年	18年	18年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

※2 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※3 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。

※4 レイコーセメントに代えて、工程1・2を各種プライマー+ダンパーシートの組合せ、または水性プライマーMS(0.2kg/m²)+セメントMS(0.6kg/m²)、GSSの場合は速硬化OTプライマー-Mブルー(0.1kg/m²)+セメントMS(0.6kg/m²)に変更することができます。

絶縁工法仕上の注意事項

・フレ防止のため、断熱工法用の各種ステンレスペーパスまたはペーパス(立上り用)を設置します。

立上り部の注意事項

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。

・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。

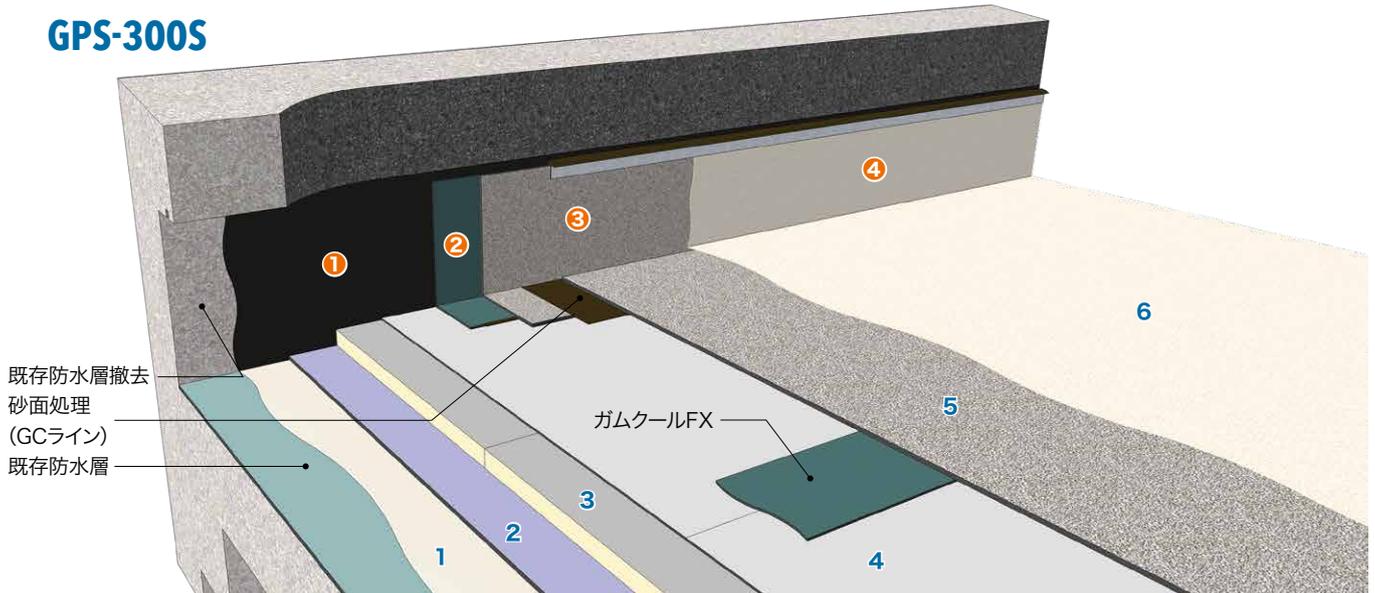
・下地状況により入隅を面取りで仕上げる場合は、GV-2をGV-3に変更することができます。

・塗膜系防水併用工法で施工する場合は15ページをご参照ください。

断熱 絶縁

非歩行 複層工法

GPS-300S



防水仕様
複層(絶縁・断熱・防湿)砂付

GPS-300S シリーズ

適用下地: 高分子系防水
防水層重量目安: 約9kg/m²
厚み: 約55mm (断熱50mmの場合)
基本耐用年数: 15年*

GCS-300S シリーズ

適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約9kg/m²
厚み: 約55mm (断熱50mmの場合)
基本耐用年数: 15年*

平面部	(単位:/m ²)
1	各種プライマー
2	ダンパーシート
3	ギルフォーム
4	ガムクールFS
5	ガムクールキャップ
6	保護塗料※1

平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS 0.2kg
2	ダンパーシート
3	ギルフォーム
4	ガムクールFS
5	ガムクールキャップ
6	保護塗料※1

立上り部(共通) GV-2	(単位:/m ²)
①	水性プライマーAS 0.2kg
②	ガムクールFX
③	ガムクールキャップ
④	保護塗料※1

※1 保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材の有無による耐用年数の目安

[GPS-300S/GCS-300S]

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※3
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱 20年	18年	18年	18年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

リベース塗布量(目安) [GSS-200S]

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
(33ページ参照)

既存防水層別 プライマー選定表 [GPS-300S]

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマー-A	0.15kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマー-AS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマー-G+OTプライマー-A※	各0.1kg/m ²

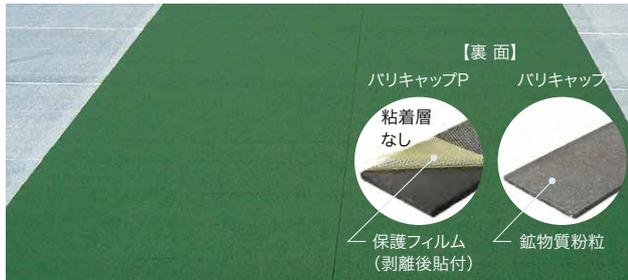
・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。
・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。
・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。
・下地の種類、劣化状態により対応できない場合があります。事前に接着試験を行って確認してください。
※OTプライマー-Aの代わりに速硬化OTプライマー-Mブルーも使用できます。

軽歩行用板状仕上げ材

ガムクール防水を保護し、軽歩行を可能にする板状仕上げ材です。アスファルト系砂付成型板から、天然の石粒、磁器タイル、ブロックタイプ、屋上に外断熱効果を付加する複合タイルまで、数多くの素材から選択できます。部分的な歩行スペースや複数色を貼り合わせたカラフルなパターン仕上げなど、デザイン性も豊かに屋上を彩ります。

バリキャップP/バリキャップ

厚さ6mmのアスファルト系砂付成型板で、表面に焼付彩色した砂粒（または自然色砂粒）を隙間なく密着させた、保護仕上げ材です。2色あるいは3色を組合せて、楽しくカラフルなパターン仕上げも可能です。



※ガムクールキャップ等の上に部分的に施工する場合は、バリキャップをレイコーセメント(1.2kg/m²全面塗布)で貼付してください。

ステップスクエア500H

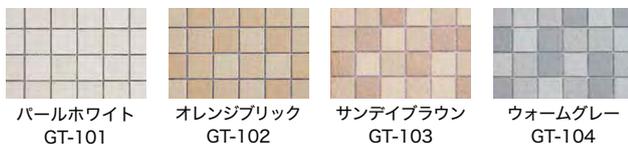
天然の細かい石粒と樹脂バインダーを混合したハードタイプの成型板です。ナチュラルな風合いでデザイン性豊かな屋上に仕上げます。適度な弾力性と滑り抵抗性があり、透水性にも優れています。



※天然石のため、微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つ恐れがあります。2色～3色を組合せた市松貼りなどをお薦めします。

ガムロンタイル

耐久性の高い磁器タイル仕上げです。タイル裏面の端部・角部分を曲面に加工し、歩行しても防水層表面を傷つけない形状です。



※受注生産品（施工面積が150m²を超える場合はお問い合わせください。）

エイブロックBF/BJ

セメントと硬質骨材との混合と合成繊維メッシュで補強された成型板です。防水層の上に置き敷きする簡単施工です。目地部分で折り曲げ、下地の不陸等に馴染ませて設置します。 ※受注生産品



RBタイル

ポリスチレン系断熱材とモルタルを工場ですべて成型したもので、外断熱工事と軽歩行仕上げ工事が同時にできます。熱伝導率が低く断熱効果の大きい複合タイルです。



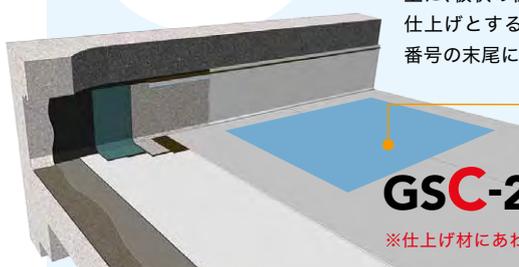
軽歩行仕上げの仕様について

適用下地に合わせたガムクール防水各仕様の上に、板状の仕上げ材を敷設することで軽歩行仕上げとすることができます。その場合、仕様番号の末尾に、仕上げ材の番号を追加します。

■仕上げ材と最上層の防水材 組合せ例

板状仕上げ材	仕様番号	最上層の防水材※
バリキャップP	BC	ガムクールベースE
ガムロンタイル	GT	ガムクールキャップ
ステップスクエア500H	ST	ガムクールFX
エイブロック	EB	
RBタイル	RT	

※カタログ掲載の仕様例の場合。部分的な施工など、現場の状況によって最上層の防水材を変更する場合があります。



GSC-2S・ST (板状仕上げ材)

※仕上げ材にあわせて最上層の防水材を変更します。

※各仕上げ材の色は印刷のため、現物との差異がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。

軽歩行仕上げ【バリキャップ】

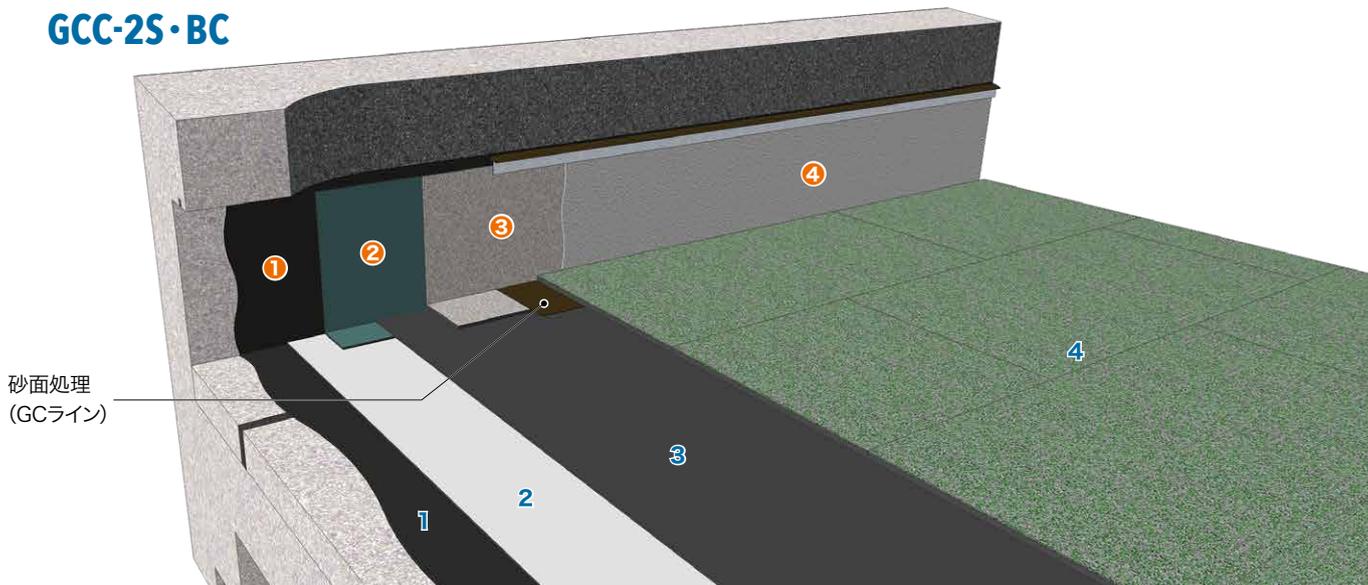
非断熱

絶縁



カラフルな色合いと快適な歩行感を生み出す軽歩行仕上げ。

GCC-2S・BC



GSC-2S・BC

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 約15kg/m²
厚み: 約9mm

GCC-2S・BC

適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約14kg/m²
厚み: 約9mm

GPC-2S・BC

適用下地: 高分子系防水
防水層重量目安: 約14kg/m²
厚み: 約9mm

平面部	(単位:/m ²)
1	リベース
2	ガムクールFS
3	ガムクールベースE※1
4	バリキャップP

平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS
3	ガムクールベースE※1
4	バリキャップP

平面部	(単位:/m ²)
1	各種プライマー
2	ガムクールFS
3	ガムクールベースE※1
4	バリキャップP

立上り部(共通) GV-2		(単位:/m ²)			
①	水性プライマーAS	0.2kg			
②	ガムクールFX				
③	ガムクールキャップ				
④	保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※2	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg

※1 ガムクールキャップ等の上に部分的に施工する場合は、バリキャップをレイコーセメント(1.2kg/m²全面塗布)で貼付してください。
※2 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

軽歩行仕上げの注意事項

- ・リベース、各種プライマーについては25ページをご参照ください。
- ・バリキャップ類のパターン仕上げは、デザインにより価格が異なります。
- ・絶縁工法においてはフクレ防止のため、ステンレスペーパスまたはペーパス(立上り用)を設置します。

立上り部の注意事項

- ・現場の状況により、GV-3を適用することもできます。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は15ページをご参照ください。

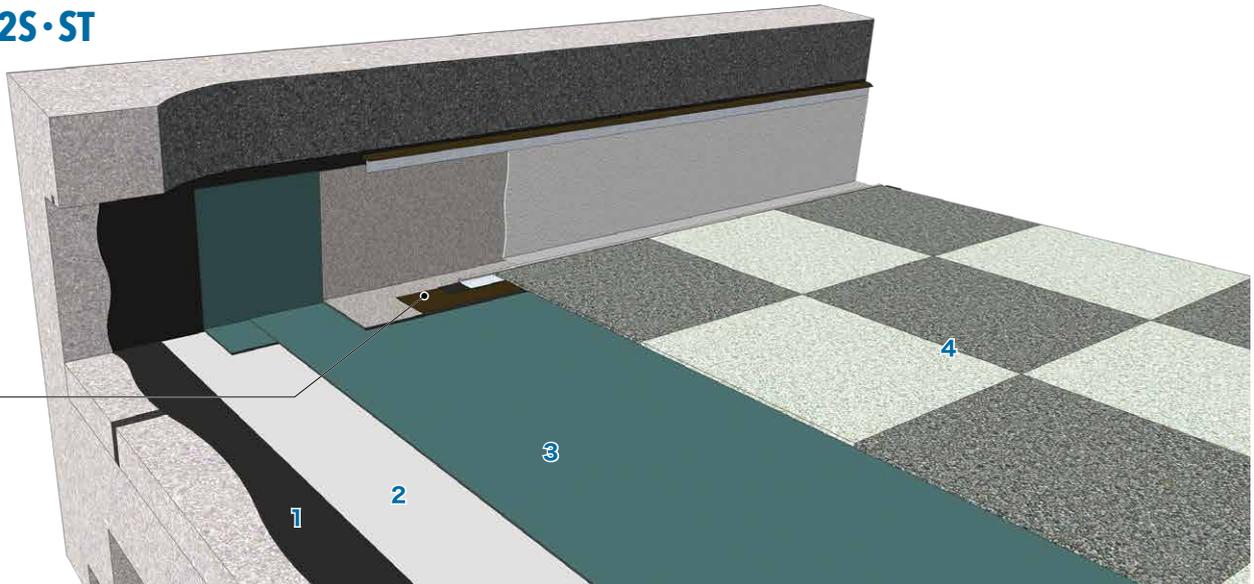
軽歩行仕上げ 【ステップスクエア500H】

非断熱

絶縁



GCC-2S・ST



砂面処理
(GCライン)

防水仕様
軽歩行仕上げ

GSC-2S・ST

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 約16kg/m²
厚み: 約10mm

平面部	(単位:/m ²)
1	リベース※1
2	ガムクールFS
3	ガムクールFX
4	ステップスクエア500H

GCC-2S・ST

適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約15kg/m²
厚み: 約10mm

平面部	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS
3	ガムクールFX
4	ステップスクエア500H

GPC-2S・ST

適用下地: 高分子系防水
防水層重量目安: 約15kg/m²
厚み: 約10mm

平面部	(単位:/m ²)
1	各種プライマー
2	ガムクールFS
3	ガムクールFX
4	ステップスクエア500H

軽歩行仕上げの共通注意事項

- ・パターン仕上げは、デザインにより価格が異なります。
- ・ステップスクエア500H、ガムロンタイルは、端部保護のため、ステップエッジをご使用ください。
- ・ステップスクエア500Hは天然石のため、微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つ恐れがあります。2色～3色を組合せた市松貼りなどをおすすめします。美観維持のため5年程度毎にステップバインダーHをアジャストUで希釈したものを塗布することをおすすめします。(価格別途)
- ・エイブロック、RBタイルは、セメント製品ですので表面にエフロレッセンス(白華)が生じる場合があります。
- ・エイブロックには、置き敷きタイプ(BF)と連結タイプ(BJ)がありますので、いずれかを選択ください。BJタイプは、専用プラグビスにてエイブロック同士を連結することができます。
- ・エイブロックは、中高層建築物や強風地域での推奨施工方法および使用制限がありますので、事前にご相談ください。エイブロックは受注生産品です。
- ・絶縁工法においてはフレ防止のため、ステンレスペーバスまたはペーバス(立上り)を設置する場合があります。
- ・平面部を部分的に砂仕上げとする場合は、保護塗料にSPサーモコートを採用してください。(価格別途)
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります
- ・立上り部はGV-2またはGV-3を適用します。(28ページ参照)

※1リベース塗布量(目安) (GSC-)

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
(33ページ参照)

既存防水層別 プライマー選定表 (GPC-)

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマーA	0.15kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマーAS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマーG+OTプライマーA※	各0.1kg/m ²

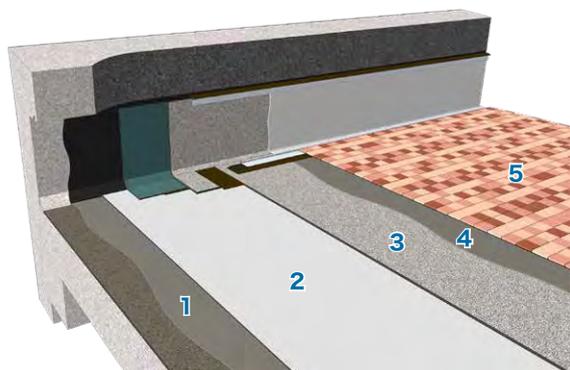
- ・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。
- ・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。
- ・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。
- ・下地の種類、劣化状態により適応できない場合があります。事前に接着試験を行って確認してください。
- ※OTプライマーAの代わりに速硬化OTプライマーMブルーも使用できます。

軽歩行仕上げ 【板状仕上材 各種】

【ゴムロンタイル】

GCC-2S・GT

非断熱 絶縁



GSC-2S・GT

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 約21kg/m²
厚み: 約12mm

平面部		(単位:/m ²)
1	リベース	
2	ゴムクールFS	
3	ゴムクールキャップ	
4	リベース	1.2kg
5	ゴムロンタイル	

GCC-2S・GT

適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約20kg/m²
厚み: 約12mm

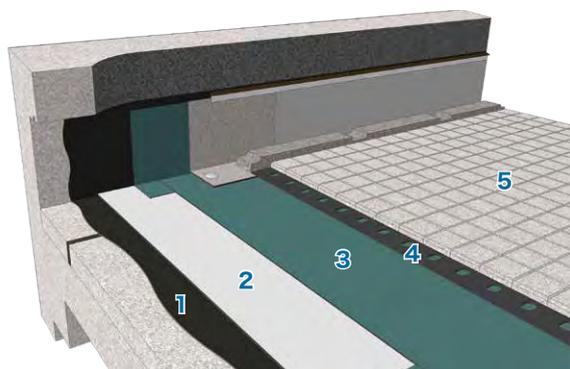
平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ゴムクールFS	
3	ゴムクールキャップ	
4	リベース	1.2kg
5	ゴムロンタイル	

※GPC-2S・GTの場合は工程1を各種プライマーとします。

【エイブロック】

GCC-2S・EB

非断熱 断熱 絶縁



GCC-2S・EB

適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約60kg/m²
厚み: 約28mm

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ゴムクールFS	
3	ゴムクールFX	
4	エイマット	
5	エイブロック	

GCC-200S・EB

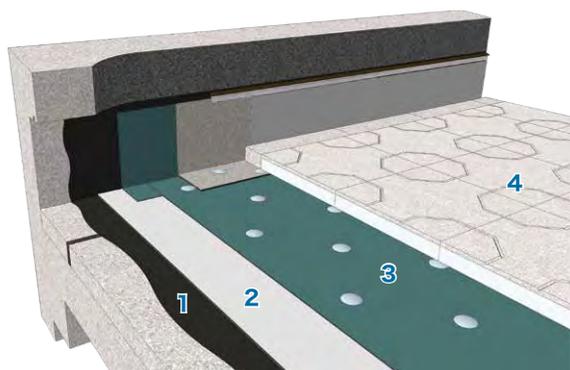
適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約61kg/m²
厚み: 約88mm(断熱60mmの場合)

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ゴムクールFS	
3	ゴムクールFX	
4	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II RBセメント(点貼り)	0.5kg
5	エイマット	
6	エイブロック	

【RBタイル】

GCC-2S・RT

断熱 絶縁



GCC-2S・RT

適用下地: コンクリート・モルタル
防水層重量目安: 約44kg/m²
厚み: 約68mm

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ゴムクールFS	
3	ゴムクールFX	
4	RBタイル(モルタルダンゴ)	

保護コンクリート仕上げ・複層工法

断熱

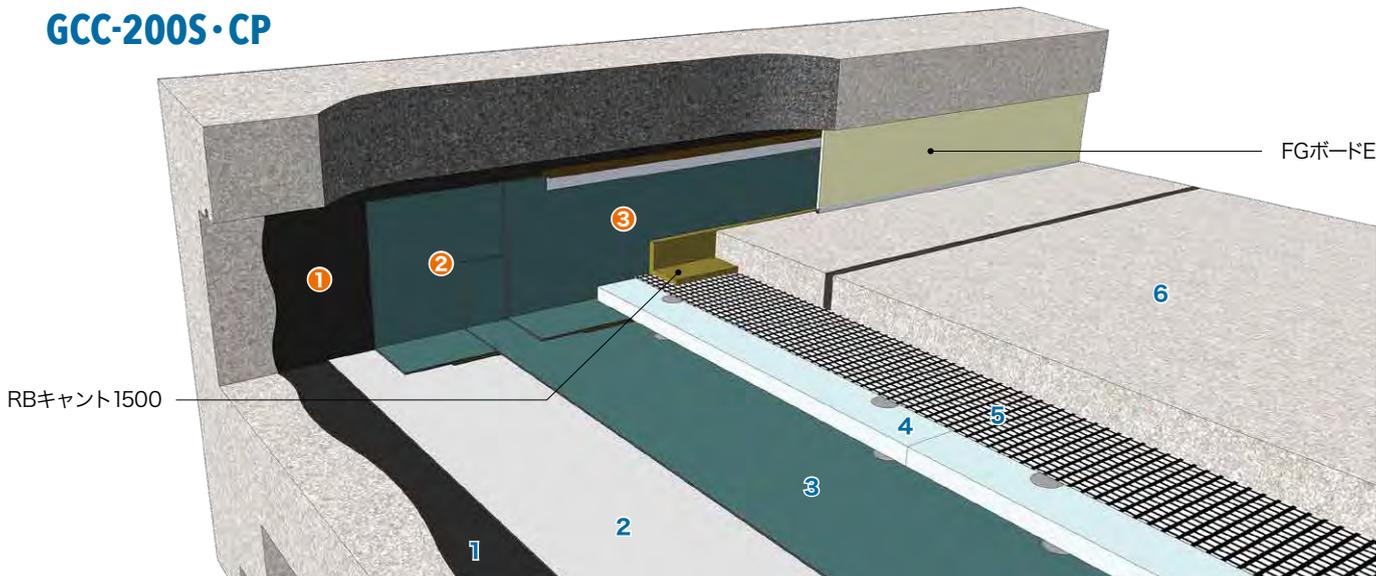
非断熱

絶縁

不特定多数の人の歩行に対応可能なコンクリート仕上げ工法。



GCC-200S・CP



防水仕様

保護コンクリート仕上げ・複層

GCC-200S・CP

適用下地: コンクリート
 防水層重量目安: 約6kg/m²
 厚み: 約63mm (断熱60mmの場合)
 基本耐用年数: 30年

GCC-2S・CP

適用下地: コンクリート
 防水層重量目安: 約4kg/m²
 厚み: 約3mm
 基本耐用年数: 25年

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFS	
3	ガムクールFX	
4	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II RBセメント(点貼り)	0.5kg
5	絶縁クロス1000 (RBセメント)	
6	保護コンクリート(別途)	

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFS	
3	ガムクールFX	
4	絶縁クロス1000 (RBセメント)	
5	保護コンクリート(別途)	

立上り部(共通) GV-2C		(単位:/m ²)
①	水性プライマーAS	0.2kg
②	ガムクールFX	
③	ガムクールFX	

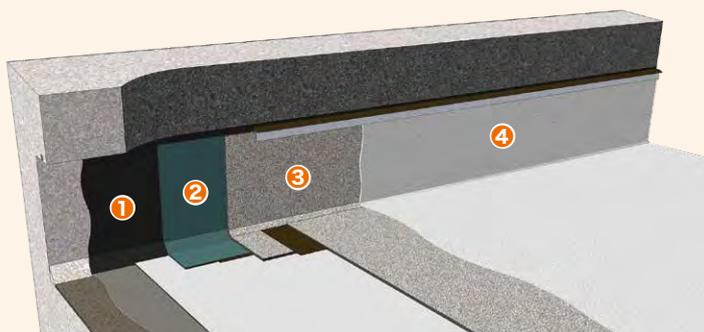
保護コンクリート仕上げの注意事項

- ・1層目ガムクールFSに代えてガムクールFXを用いる場合があります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・絶縁クロスの貼付には、GCラインも使用できます。

立上り部の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。
- 他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。

立上り部(共通)仕様一覧



GV-2 複層仕様

(単位:/m²)

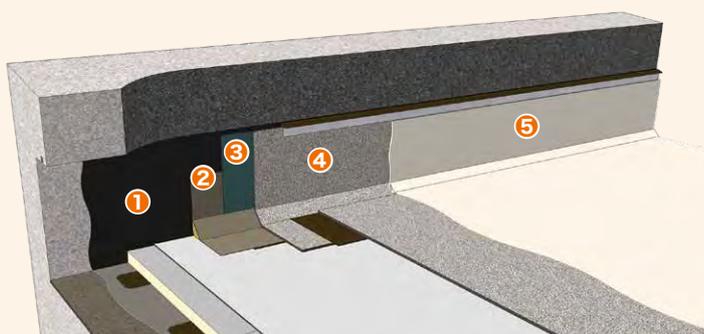
①	水性プライマーAS	0.2kg
②	ガムロールFX	
③	ガムロールキャップ	
④	SPファインカラー※1	0.4~0.6kg



GV-1 単層仕様

(単位:/m²)

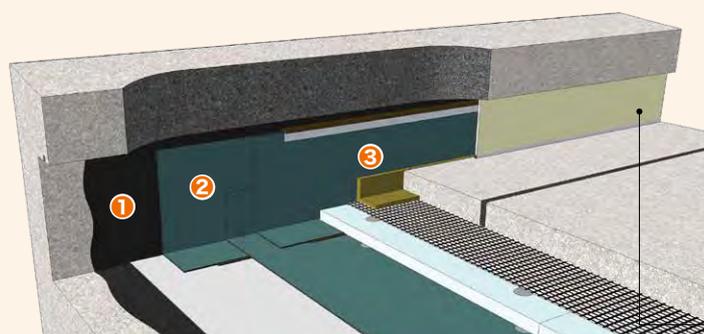
①	水性プライマーAS	0.2kg
②	FX-33(増貼り)	
③	ガムロールキャップEX	
④	SPファインカラー※1	0.4~0.6kg



GV-3 複層仕様(入隅部を面取りで仕上げる場合)

(単位:/m²)

①	水性プライマーAS	0.2kg
②	ガムキャントFX	
③	ガムロールFX	
④	ガムロールキャップ	
⑤	SPサーモコート※1※2	0.8~1.2kg



GV-2C 複層保護仕上げ対応仕様

(単位:/m²)

①	水性プライマーAS	0.2kg
②	ガムロールFX	
③	ガムロールFX	

FGボード

※1 保護塗料はSPファインカラー、SPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートがご採用いただけます。(価格別途)

※2 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

立上り仕様(砂付き仕上げ) 共通注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・GV-1仕様の場合、FX-33に代えてガムロールFXを裁断して使用することもできます。
- ・下地状況により入隅を面取りで仕上げる場合は、GV-3を採用してください。
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は15ページをご参照ください。

官公庁仕様

非断熱

絶縁

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

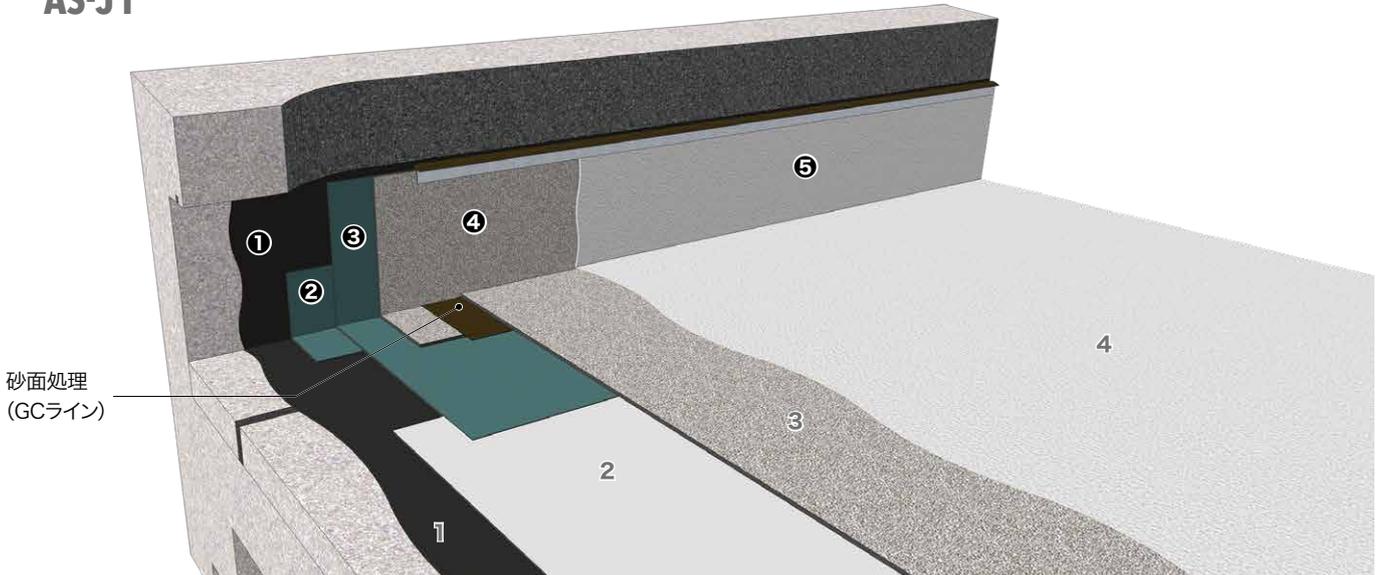
【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法



非歩行

複層工法

AS-J1



砂面処理
(GCライン)

AS-J1 新築・改修

適用下地:コンクリート・モルタル

防水層重量目安:約7kg/m²

厚み:約5mm

AS-J1 常温粘着工法		平面部		立上り部	
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)	
1	プライマー塗り 0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	0.2(0.4)kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	ガムクールFSⅡ		②	ガムクールFX増貼り (幅200mm程度)
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、2.0mm以上)	ガムクールキャップ		③	ガムクールFX
4	仕上塗料塗り	SPファインカラー	0.4~0.6kg	④	ガムクールキャップ
				⑤	SPファインカラー 0.4~0.6kg

※フレ防止のため、ステンレスペーバスまたはペーバス(立上り用)を設置します。

■改修工法名称について(公共建築改修工事標準仕様書より)

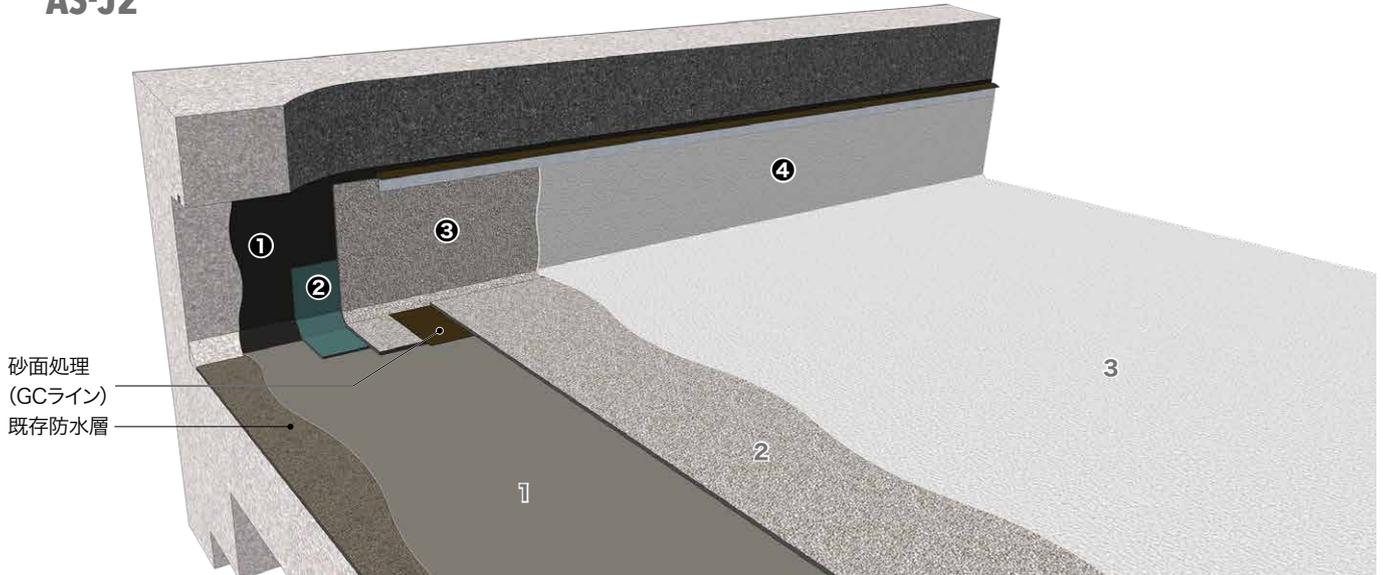
分類	既存防水工法による区分	既存の保護層および防水層の撤去・非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分
<p>工法</p> <p>新規防水工法の種別による区分</p> <p>既存の保護層および防水層の撤去・非撤去による区分</p> <p>既存防水工法による区分</p>	<p>P—保護アスファルト・改質アスファルト防水工法(断熱工法を含む)</p> <p>M—露出アスファルト改質アスファルト防水工法(断熱工法を含む)</p> <p>S—合成高分子系ルーフィングシート防水工法(断熱工法を含む)</p> <p>L—ウレタンゴム系塗膜防水工法</p>	<p>1—保護層および防水層撤去</p> <p>2—保護層撤去および防水層非撤去(立上り部等は撤去)</p> <p>3—露出防水層撤去</p> <p>4—露出防水層非撤去(立上り部等は表 3.1.1 による)</p> <p>0—保護層および防水層非撤去(立上り部等は表 3.1.1 による)</p>	<p>A—屋根保護防水密着工法</p> <p>B—屋根保護防水絶縁工法</p> <p>AI—屋根保護防水密着断熱工法</p> <p>BI—屋根保護防水絶縁断熱工法</p> <p>C—屋根露出防水密着工法</p> <p>D—屋根露出防水絶縁工法</p> <p>DI—屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <p>AS—改質アスファルトシート防水工法</p> <p>ASI—改質アスファルトシート防水絶縁断熱工法</p> <p>S—合成高分子系ルーフィングシート防水工法</p> <p>SI—合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法</p> <p>X—ウレタンゴム系塗膜防水工法</p> <p>E—屋内防水密着工法</p> <p>Y—ゴムアスファルト系塗膜防水工法</p>

非断熱

密着



AS-J2



砂面処理
(GCライン)
既存防水層

防水仕様

官公庁仕様

AS-J2 改修

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: 約6kg/m²

厚み: 約4mm

AS-J2 常温粘着工法		平面部		立上り部	
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)	
1	プライマー塗り 0.2(0.4)kg	水性プライマーAS※	0.2(0.4)kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	ガムクールキャップEX		②	ガムクールFX増貼り (幅200mm程度)
3	仕上塗料塗り	SPファインカラー	0.4~0.6kg	③	ガムクールキャップEX
				④	SPファインカラー 0.4~0.6kg

<AS-J1/AS-J2共通注意事項>

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(合計0.7~0.8kg/m²)してください。

※リベース塗布量(目安)《AS-J2》

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

- ・下地が既存防水層でアスファルト露出防水層の場合、アスファルト系下地調整剤のリベースを使用します。(リベースの塗布量は上表参照)リベースの代わりにクールベースも使用できます。

官公庁仕様

非断熱

絶縁

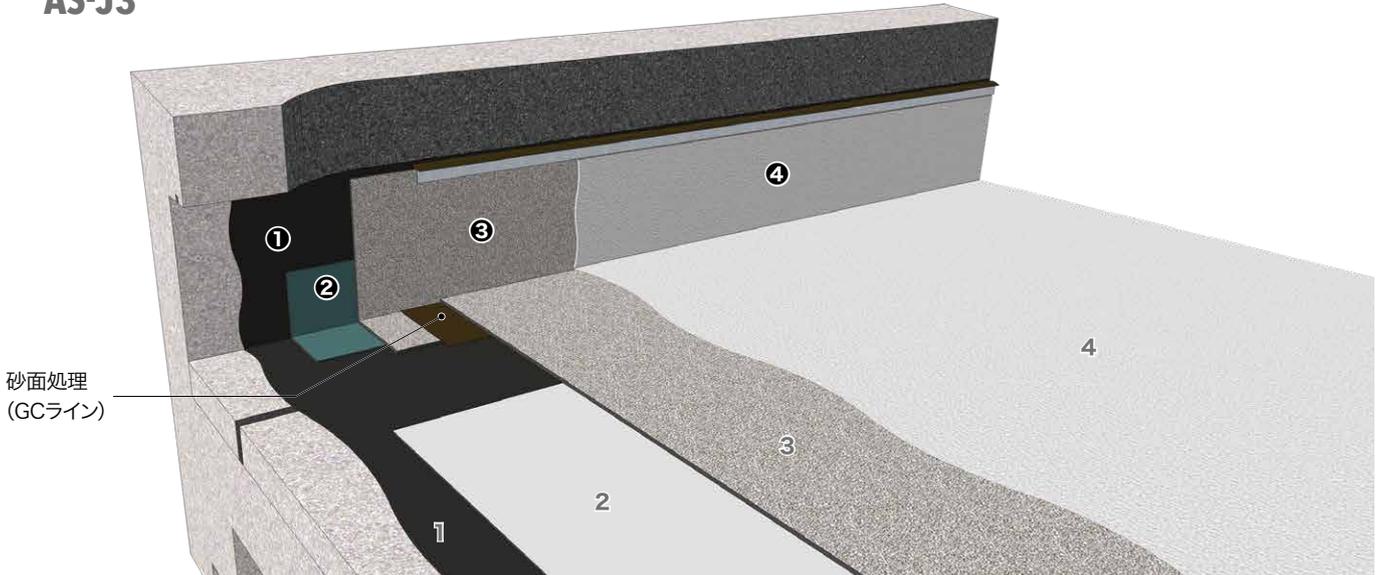


国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

AS-J3



AS-J3 改修

適用下地: コンクリート・モルタル

防水層重量目安: 約7kg/m²

厚み: 約5mm

AS-J3 常温粘着工法		平面部		立上り部		
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)		
1	プライマー塗り	0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	①	水性プライマーAS	0.2kg
2	部分接着用シート		ガムクールFS	②	ガムクールFX増貼り (幅200mm程度)	
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)		ガムクールキャップEX	③	ガムクールキャップEX	
4	仕上塗料塗り		SPファインカラー	④	SPファインカラー	0.4~0.6kg

注意事項

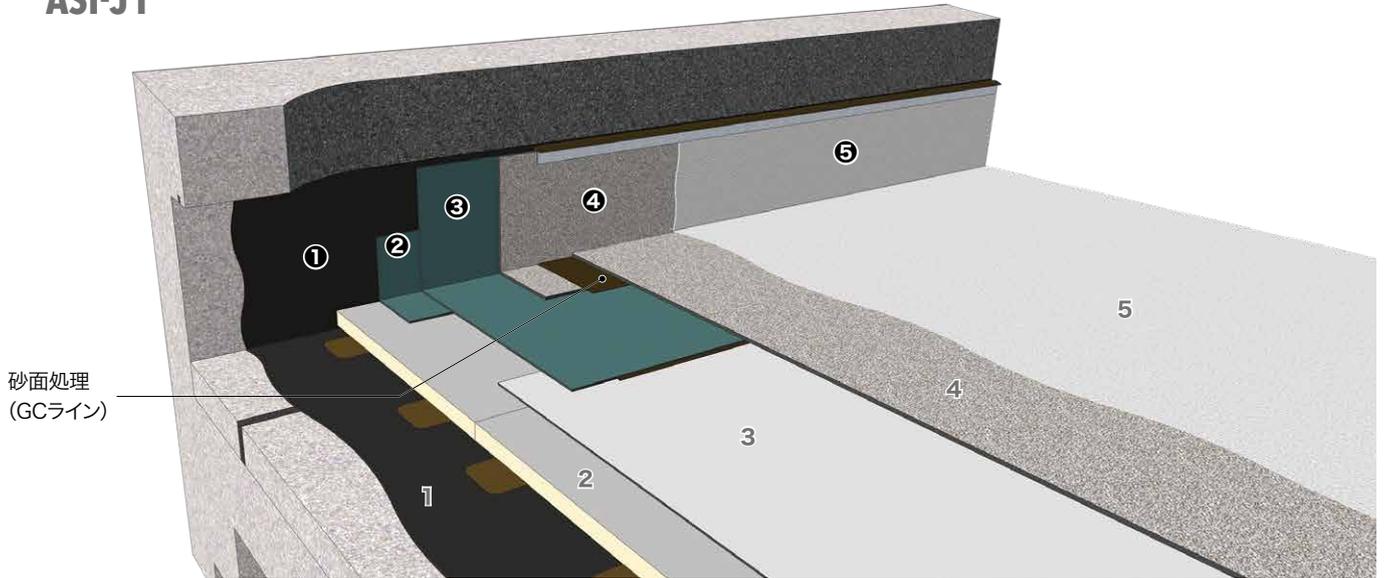
- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・平面部工程2を省略し、部分粘着層付改質アスファルトシート(ガムクールキャップAS)を用いる場合があります。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(合計0.7~0.8kg/m²)してください。

防水仕様
官公庁仕様

断熱 絶縁



ASI-J1



防水仕様
官公庁仕様

ASI-J1 新築・改修

適用下地: コンクリート・モルタル、アスファルト露出防水
防水層重量目安: 約10kg/m²
厚み: 約55mm (断熱50mmの場合)

ASI-J1 常温粘着工法			平面部 (単位:/m ²)		立上り部 (単位:/m ²)	
1	プライマー塗り	0.2(0.4)kg	水性プライマーAS※	0.2(0.4)kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	断熱材張付け		ギルフォーム レイコーセメント(点張り)	0.8kg	②	ガムクールFX増貼り (幅200mm程度)
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)		ガムクールFSⅡ		③	ガムクールFX
4	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、2.0mm以上)		ガムクールキャップ		④	ガムクールキャップ
5	仕上塗料塗り		SPファインカラー	0.4~0.6kg	⑤	SPファインカラー 0.4~0.6kg

注意事項

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
- ・断熱材ギルフォームの厚さは特記によります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・工程3の立上りは、粘着層付改質アスファルトシート(ガムクールFX)を使用します。
- ・フレック防止のため、ステンレスペーパースWまたはペーパス(立上り)を設置します。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(合計0.7~0.8kg/m²)してください。

※リベース塗布量(目安)《ASI-J1》

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

- ・下地が既存防水層でアスファルト露出防水層の場合、アスファルト系下地調整剤のリベースを使用します。(リベースの塗布量は上表参照)リベースの代わりにクールベースも使用できます。

アスファルト系下地処理材・仮防水材

既存防水層の種類や状況に応じて選択可能な下地処理材と仮防水材

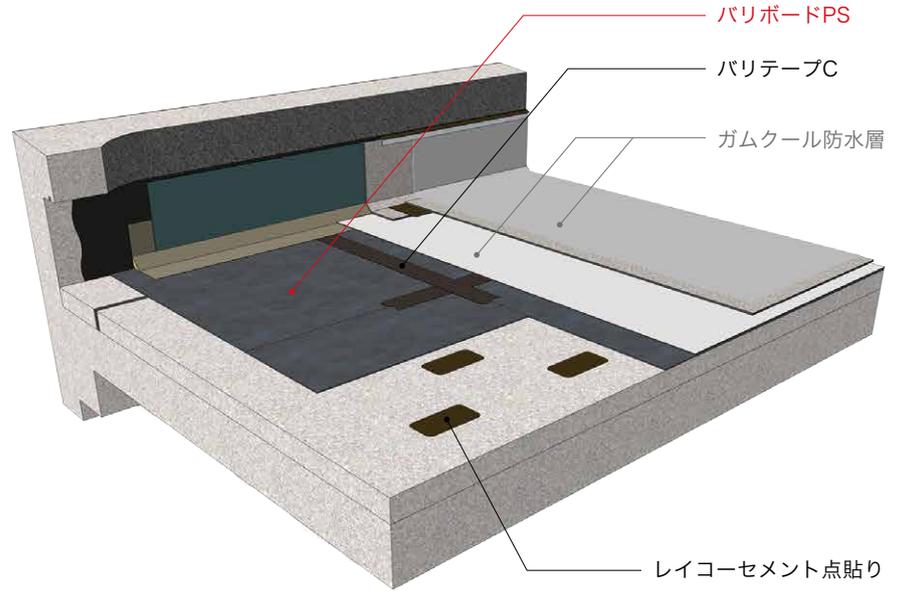
アスファルトパネル 下地処理材(乾式)

バリボードPS(アスファルトパネル)

厚さ4mmのアスファルト成型板で、既存下地に点貼りすることでガムクール防水層に最適な下地をつくりあげ、その上にガムクールを直接貼付けることができます。

凹凸のあるタイル下地等も、バリボードPSの敷設により平滑な下地が簡単にできあがります。

下地処理を簡略化・スピード化する乾式工法のバリボードPSは、同質のアスファルト系テープで目地貼りすることで、平面部防水層としての機能も発揮します。



荷姿	適用下地	接着剤・プライマー	ジョイントテープ
寸法:0.9×1m 厚さ:4.0mm	アスファルト露出防水	レイコーセメント 点貼り 0.5kg/m ² ※3	バリテープC (バリボードPSジョイント)
	アスファルト保護防水※1	レイコーセメント 点貼り 0.5kg/m ² ※4	
	ウレタン塗膜防水※2	プライマー※5+VTエース 0.3kg/m ²	
	加硫ゴムシート防水※2	VTエース 0.3kg/m ²	
	塩ビシート防水接着工法※2	プライマー※6+VTエース 0.3kg/m ²	

※1 保護材は保護コンクリート、モルタル、高圧ブロック、タイル等とします。

※2 下地シートの種類や劣化の状態により適応できない場合があります。

※3 既存アスファルト防水の状況によっては、レイコーセメントに代えて速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)+セメントMS(0.5kg/m²)を使用することができます。

※4 下地の状況によっては、「水性プライマーMS(0.2kg/m²)+セメントMS(0.5kg/m²)」または「速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)+セメントMS(0.5kg/m²)」を使用することができます。

※5 OTプライマーA(または速硬化OTプライマーMブルー)を塗布します。(0.1kg/m²)

※6 VTプライマーG(0.1kg/m²)を塗った後、OTプライマーA(0.1kg/m²)を塗ります。

バリボードPS貼付け(レイコーセメント)



バリボードPS敷設



アスファルト系下地処理材(湿式)

リベース

溶剤

既存アスファルト系防水層の上に塗布することで、新規アスファルト防水層との接着力を向上させる、アスファルト系下地活性材です。

クールベース

水性

既存アスファルト系防水層の部分撤去後の穴埋めや、不陸調整などに適している水性ゴムアスファルト系下地処理材です。既存砂付ルーフィング全面に塗布することもできます。

既存アスファルト防水層



仮防水材(湿式)

アスグランド

水性

アスファルト系および高分子系の既存防水層撤去後に塗布する、速硬化タイプの水性改質アスファルト系仮防水材です。硬化後は、直接新規防水(アスファルト系)を施工できます。



荷姿	適用下地
20kg/缶	既存露出アスファルト防水層

荷姿	適用下地
クールベース 8kg/缶 クールベースパウダー 16kg/袋	既存露出アスファルト防水層

荷姿	適用下地
アスグランド 9kg/缶 グランドパウダー 12kg/袋	防水層撤去後のコンクリート下地等

下地の種別・状態	塗布量(目安)
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落ちした砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)砂付ルーフィング下地	0.8kg/m ²

下地の種別・状態	塗布量(目安)
砂付ルーフィング下地	1.4~2.0kg/m ²
水溜り部補修など	最大30mm厚まで
不陸調整	1回の最大塗布5mm厚まで

下地の種別・状態	塗布量(目安)
アスファルト防水撤去面	アスグランド 混練材 1.4kg/m ² (しごき塗り+本塗り)
塩ビシート防水撤去面	
ゴムシート防水撤去面	



*アスファルト系以外にも、ポリマーセメント系の下地処理材「リグレー・ネオ」「リグレー・エポ」を取り揃えています。詳細は防水下地処理ガイドブックをご覧ください。

技術資料

防水性能

ガムクール防水は、いくつもの検証を経て立証された、圧倒的なパフォーマンスを持つ防水システムです。

下地の亀裂への防水層追従性能①

耐疲労性能

防水層の下地は、さまざまな要因により挙動が生じており、その下地の動きに防水層が追従できなければ、破断、漏水の事態に至ります。ガムクール防水層の繰り返し下地追従性能を確認します。

疲労試験

□試験方法

疲労試験(JASS8 T-501-2014「メンブレン防水層の性能評価試験表」繰り返し疲労試験に準拠)

サイクル条件:1ステップ(=1ムーブ3分×500回)×9ステップ

試験工程:右工程表に沿って実施

評価方法:試験終了後、亀裂幅を5.0mmに拡大した状態で防水層に破断

※発生の有無を確認する。※破断とは、表から裏に貫通する穴が発生した場合を指します。



□試験結果

項目	ガムクール防水 GSS-2S	
	初期	加熱劣化後
破断の有無	無し	無し
評価区分	4	4

【評価区分】

疲労1 …… 工程1で1体でも破断 疲労3 …… 工程3で1体でも破断
 疲労2 …… 工程2で1体でも破断 疲労4 …… 工程3で3体とも破断しない

□試験工程

ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
温度(°C)	20	60	-10	20	60	-10	20	60	-10
ムーブメント(mm)	0.5 ↔ 1.0		1.0 ↔ 2.0			2.5 ↔ 5.0			

ガムクール防水層は、下地の繰り返し挙動に対し安定した状態を維持します。

下地の亀裂への防水層追従性能②

破断抵抗性能

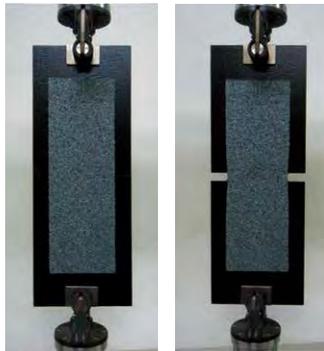
ガムクールのガムロン粘着層はその軟接着効果により、下地亀裂部に発生する応力を全体に分散することで、材料が破断することを極力抑制します。実際にどの程度の幅まで追従できるかを確認します。

破断抵抗性試験

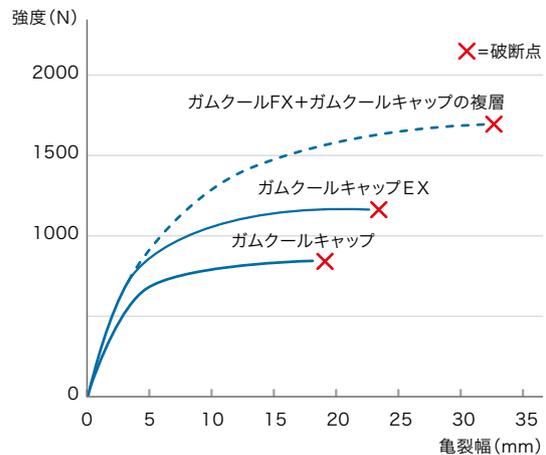
□試験方法

上記試験同様、スレート板下地にガムクールキャップを貼り、中央部亀裂を一定速度(5mm/分)で開いていき、防水層破断時の強度を亀裂幅で測定する。

測定温度:-15°C



□試験結果



ガムクール防水層は、下地の大きな挙動に対して十分な強度と耐久性を有しています。

柔軟性に優れる粘着層の防水性能

ガムクール防水層に使用しているガムロン粘着層は、その柔軟性により適切に水みちを充填し、粘着層自体が高い防水性能を有しています。

水頭試験

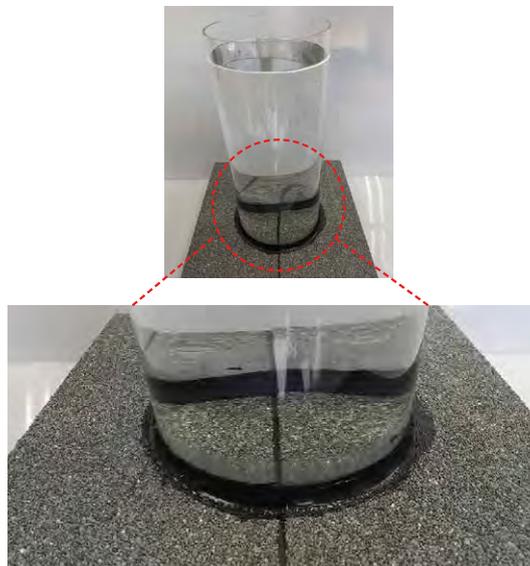
□試験方法

ルーフィング接合部に水圧がかかるように水張り試験を実施しました。(水深800mm、20°C、168時間)

※粘着材の性能を評価するため、本来施工するGCラインの外シール、内シールを省略しています。

□試験結果

防水層下部への浸水は見られませんでした。



ガムクール防水層は、粘着層自体が高い防水性能を有しています。

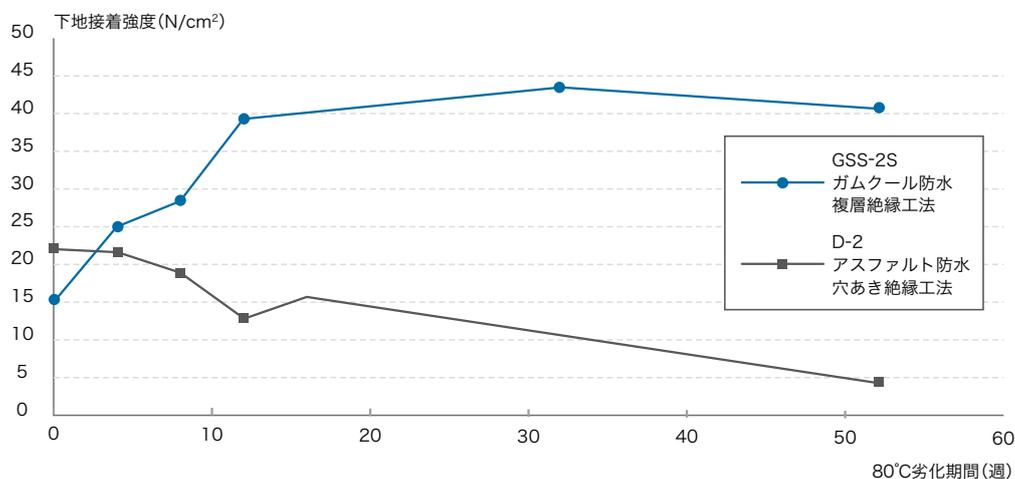
粘着層の接着強度

ガムクールのガムロン粘着層は長期にわたって高い柔軟性を有しています。熱による劣化促進を行った場合の下地接着性の変化を、従来の熱アスファルト工法と比較します。

垂直引張試験

□試験方法

公共建築工事標準仕様「D-2」、ガムクール防水工法「GSS-2S」に対して、80°C熱劣化を52週間実施後、垂直引張試験により下地と防水層の接着強度を測定した。



ガムクール防水層は長期にわたって高い下地接着性・耐風圧性を有しています。

技術資料

防水層の積層による力学的特性の向上

●機械的強度(抗張積の比較)

アスファルト防水で使用されるアスファルト系ルーフィングはそれぞれJIS規格に基づく試験方法によりその性状を確認することができます。しかし、実際の防水層は様々なルーフィングの組合せにより構成されているため、防水層全体の強度比較は一般的に防水層の抗張積※により比較されます。

※抗張積:ルーフィングの引張り強さ(N)と最大荷重時の伸び率(%)の積で求められる、ルーフィングの破断に要するエネルギーを表す数値。

強度試験

□試験方法

ガムクール防水の以下の2仕様について比較します。

仕様①

GSS-2S(ガムクールFS+ガムクールキャップ)

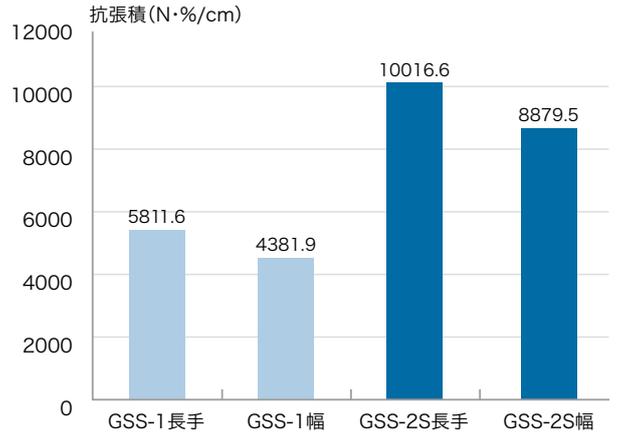
仕様②

GSS-1(ガムクールキャップEX)

上記試験片を引張試験機に取り付け、速度100mm/分で試験片が破断するまで引っ張り、最大荷重及び破断時の変位量を求め、抗張積を計算します。

□試験結果

GSS-2仕様はGSS-1仕様と比較し170%以上の抗張積を持ち、防水層としての機械的強度に優れていることがわかります。



積層防水はルーフィング(改質アスファルトシート)が複数枚となることで、より高い強度となります。

下地活性化による効果検証および新旧防水層の延命効果

かぶせ改修による防水層の延命効果を、既存防水層と新設防水層で確認します。

針入度試験

- 試験体…①:改修を行わない場合(既存防水層)
②:かぶせ改修を行う場合(既存防水層・新規防水層)
③:既存を撤去して改修を行う場合(新規防水層)

□試験方法

各試験体に80°C熱劣化を2, 4, 8, 12時間実施後、①の既存防水層、②の既存防水層および新規防水層、③の新規防水層の針入度を測定し変化率を求めた。(既存防水層は最上層の張り付けアスファルト、新規防水層は改質アスファルトルーフィング粘着材を採取)

□試験結果

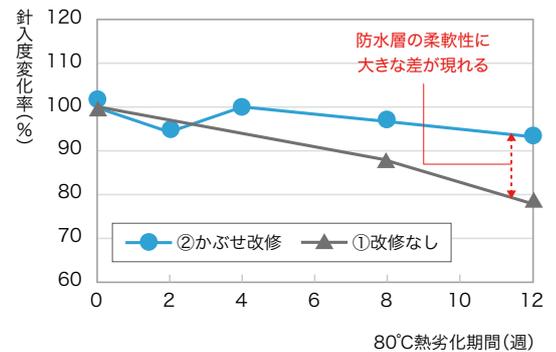
I. 既存防水層の針入度変化(かぶせ改修による既存防水層の延命効果)

②かぶせ改修を行った既存防水層は、下地処理材の再活性化効果により既存防水層の柔軟性が回復し針入度の上昇がみられた。また、その後の針入度低下も緩やかになっていた。

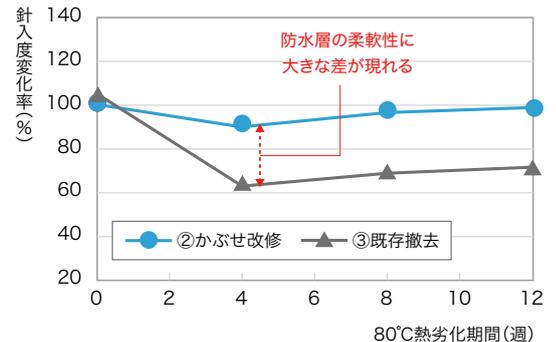
II. 新規防水層の針入度変化(かぶせ改修による新規防水層の延命効果)

②かぶせ改修を行った新規防水層は、③既存防水層を撤去した新規防水層に比べ、針入度の低下が緩やかになっていた。

I. 既存防水層の針入度変化



II. 新規防水層の針入度変化



アスファルト系下地処理を用いたかぶせ改修を行うことで、既存層・新規層ともに延命効果が期待できます。

耐風圧性能

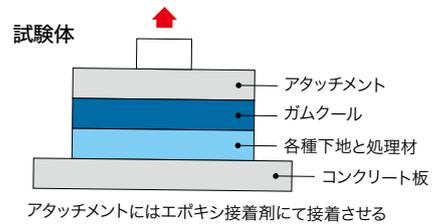
ひとつひとつの部材の繋がりが、強風に対しての備えと安心をお約束します。

下地処理材の接着・固定力

様々な種類の既存防水層上にガムクールを施工する場合、その固定強度が耐風圧性能を左右します。

接着試験

下図のように試験体を作成し、引張試験機にて接着強度を測定する。



□試験方法

・引張速度:100mm/分 ・測定温度:20℃ ・接着面積:16cm² n=5

ガムクール粘着材の接着力(N/m²)

試験体 下地構成	アスファルト防水/ リベース	アスファルト防水/ クールベース	コンクリート/ アスグランド	コンクリート/ 水性プライマーAS	ギルフォーム	ウレタン防水/ OTプライマーA	ゴムシート防水/ 水性プライマーAS	塩ビシート防水/ VTプライマーG + OTプライマーA
試験結果	230,000	249,000	263,000	232,000	105,000	242,000	232,000	280,000
絶縁工法の場合 (接着面積54%)	124,200	134,460	142,020	125,280	56,700	130,680	125,280	151,200

※ギルフォームを除き、いずれもガムクール粘着層の材料破壊(ギルフォームのみギルフォーム材料破壊の設計強度)

耐風圧性能の検証

建物の屋根には、強風下において防水層を吸い上げようとする力(負圧)が生じます。防水層はその力に対抗しなければなりません。建築基準法に基づき、以下のモデルを用いて、負圧に対する耐風圧性能の検証をしました。

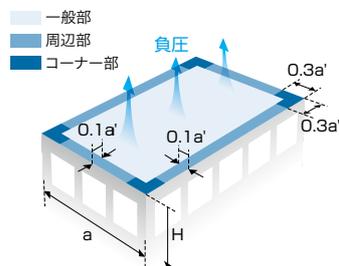
〈風圧力の算定基準〉

建築基準法施行令(第82条の4)告示(平成12年建告第1454号、1458号)

①耐風圧性能を計算するにあたり、仮想モデルを設定します。

モデル設定条件

- 建物の高さ(H):30m
- 建物の短辺方向の長さ(a):50m
- 屋上勾配:1/50
- 基準風速:38m/秒
- 地表面粗度区分:Ⅲ
- その他条件:都市計画区域内



H: 建築物の高さと、軒の高さとの平均
a': 平面の短辺長さ(a)とHの2倍の数値のうち、
いずれか小さい数値(ただし30mを超える場合は30とする)

②屋根にかかる風圧力は、以下の計算式により求められます。

$$W=q \times C_f$$

- W: 風圧力(N/m²)
- q: 平均速度圧(N/m²)
- Cf: ピーク風力係数

※平均速度圧は次式によります。

$$q=0.6 \times E_r \times V_o^2$$

- E_r: 平均風速の高さ方向の分布を表す係数
- V_o: 基準風速(V_oは全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として30m~46mの8段階に区分されています。)

③風圧力の計算結果

部位	一般部	周辺部	コーナー部
風圧力(N/m ²)	-2,123	-2,717	-3,651

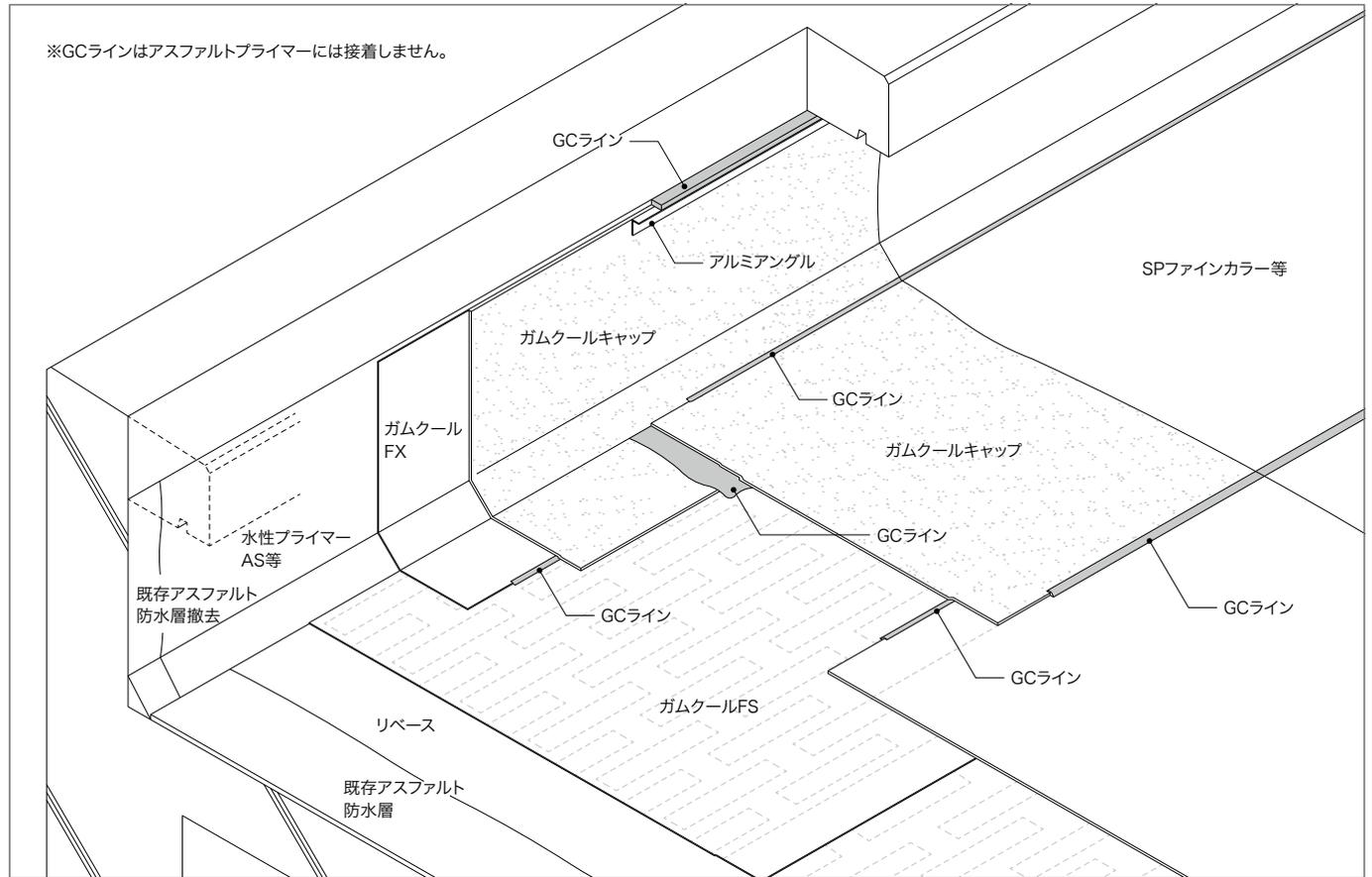
ガムクール接着工法の耐風圧性能

工法	接着強度(N/m ²) および破壊現象	コーナー部風圧力(N/m ²)	安全率(%)
絶縁工法 GSS-2S,GCS-2Sなど	124,200 下地/ストライプ粘着層(粘着層破壊)	-3,651	3,402
密着工法 GSS-2など	230,000 下地/全面粘着層(粘着層破壊)	-3,651	6,300
断熱工法(防湿層付) GPS-300S,GCS-300Sなど	56,700 断熱材/ストライプ粘着層(断熱材破壊)	-3,651	1,552
断熱工法(レイコーセメント) GSS-200Sなど	19,100 レイコーセメント/断熱材(断熱材破壊)	-3,651	523
バリボード工法(レイコーセメント)	37,400 レイコーセメント材料破壊	-3,651	1,026

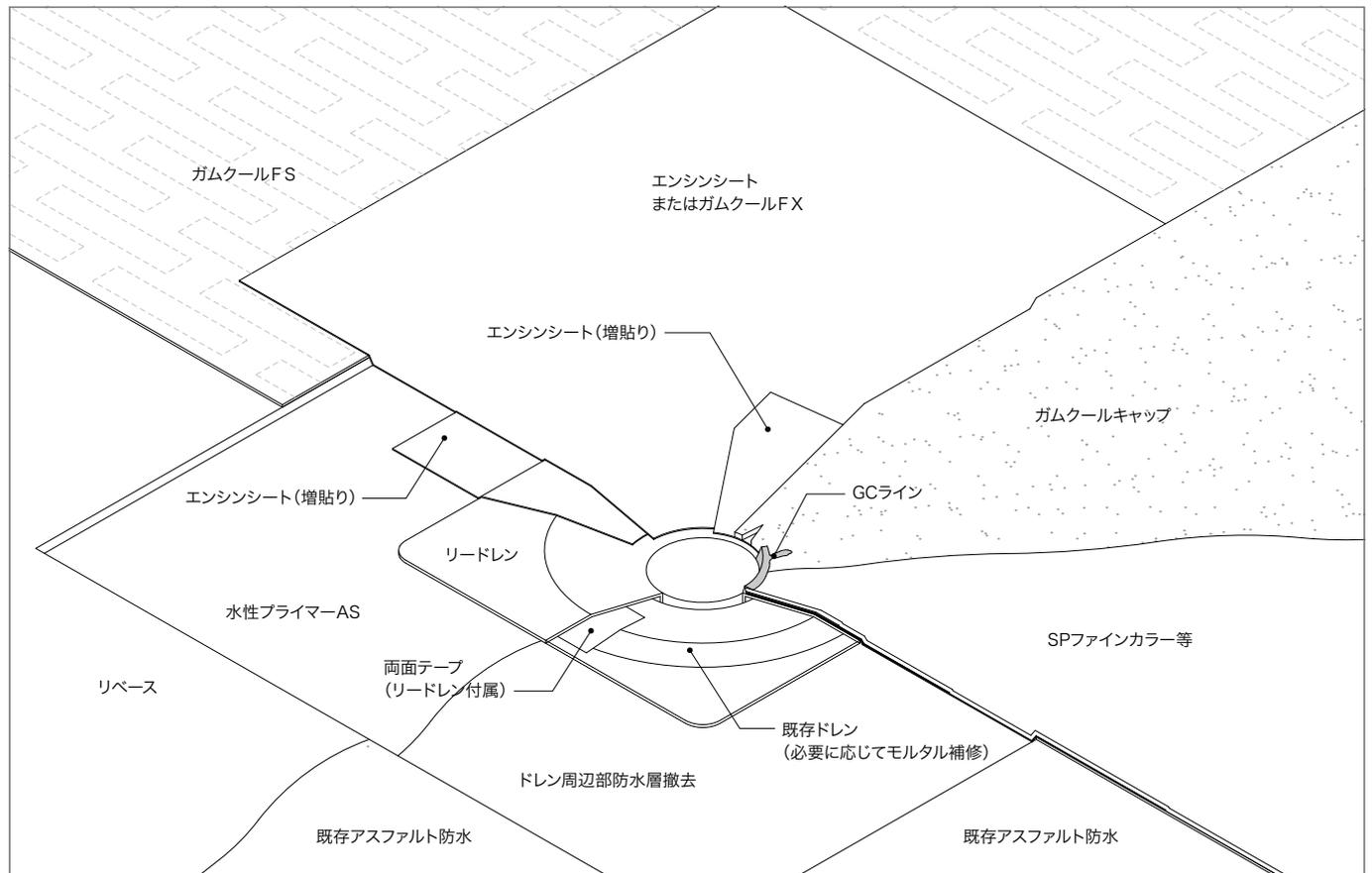
納まり図例

GSS-2S

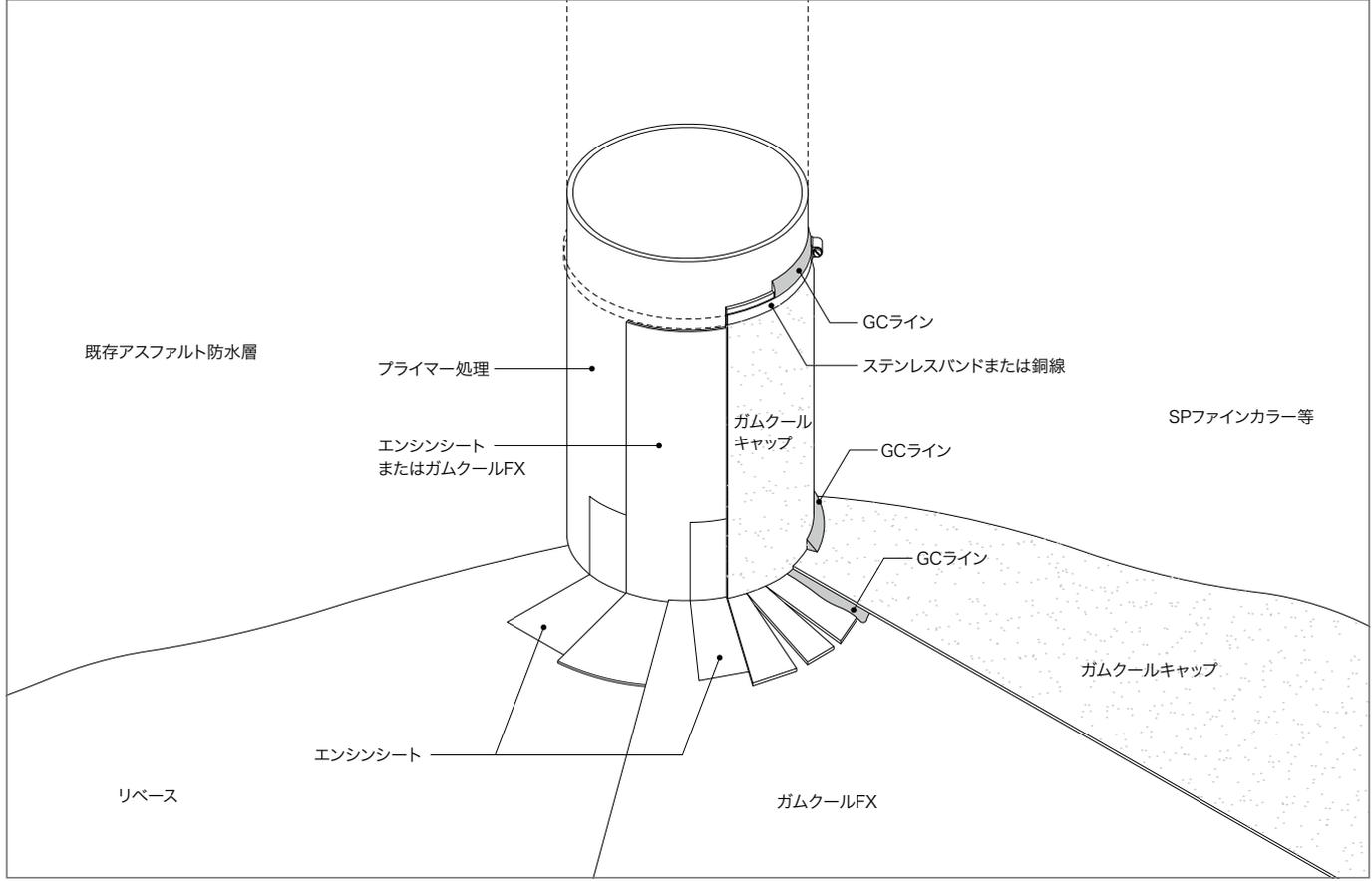
※GCラインはアスファルトプライマーには接着しません。



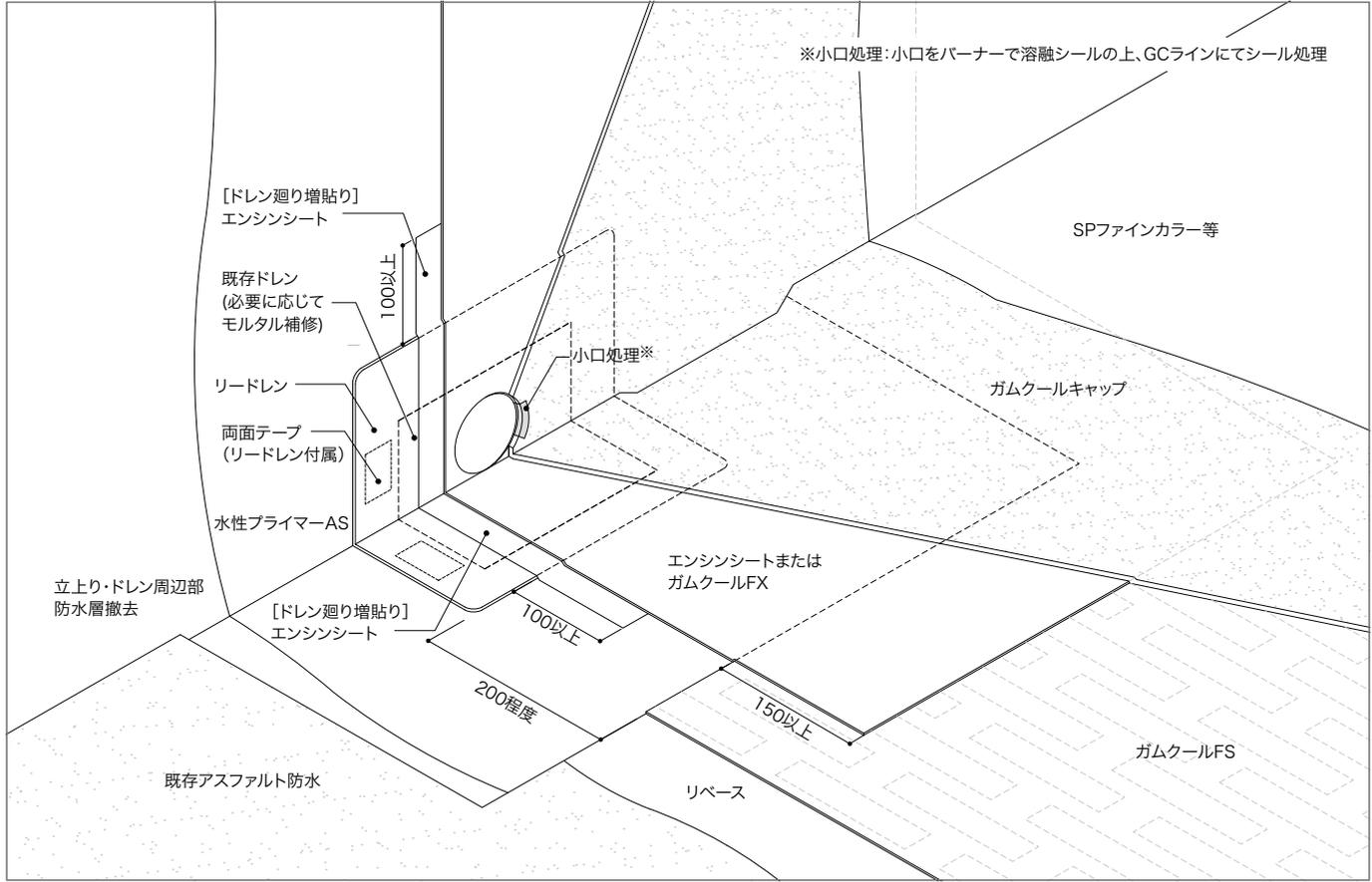
改修用ドレン(縦) GSS-2S



貫通管 GSS-2

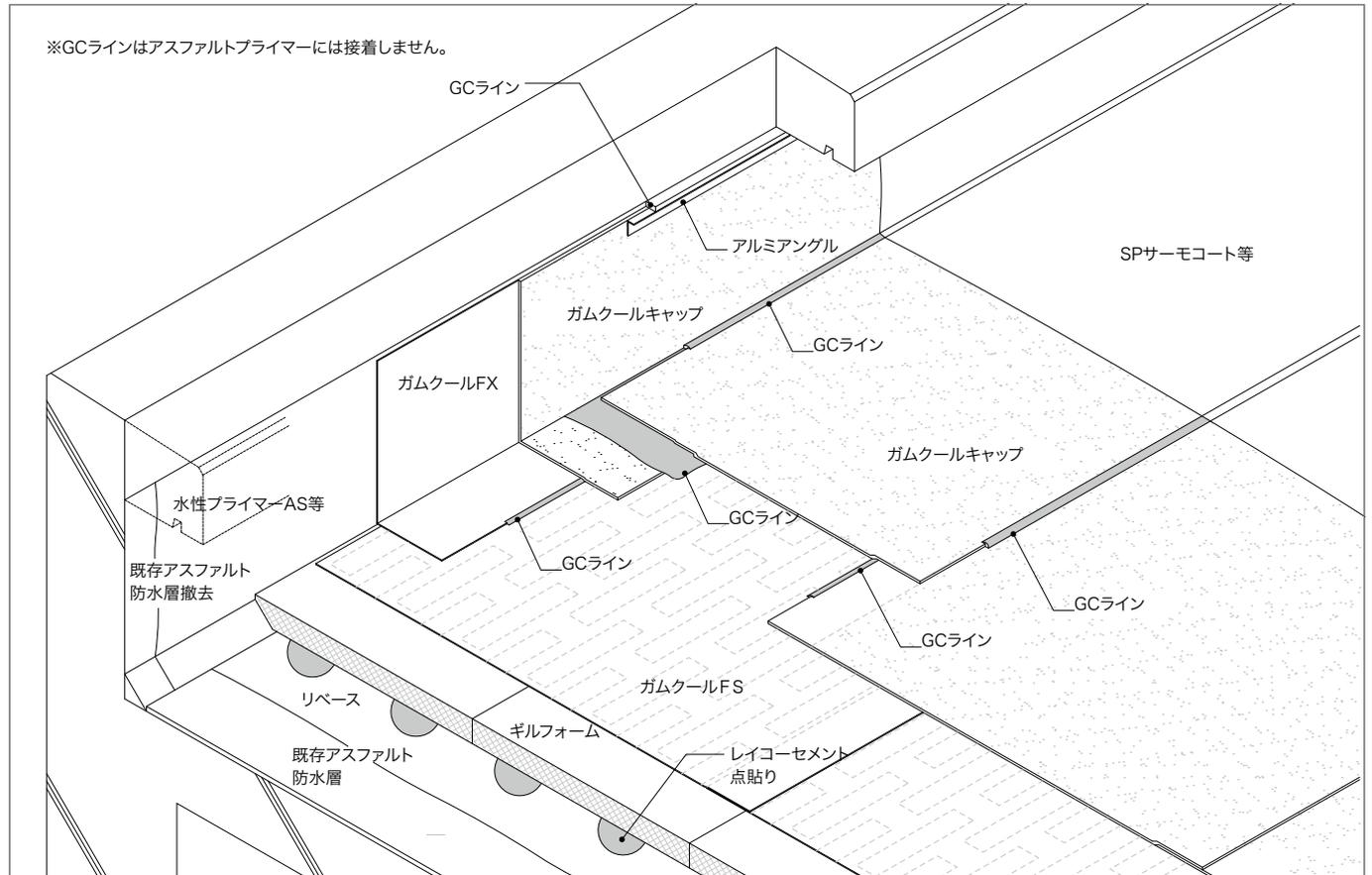


改修用ドレン(横) GSS-2S

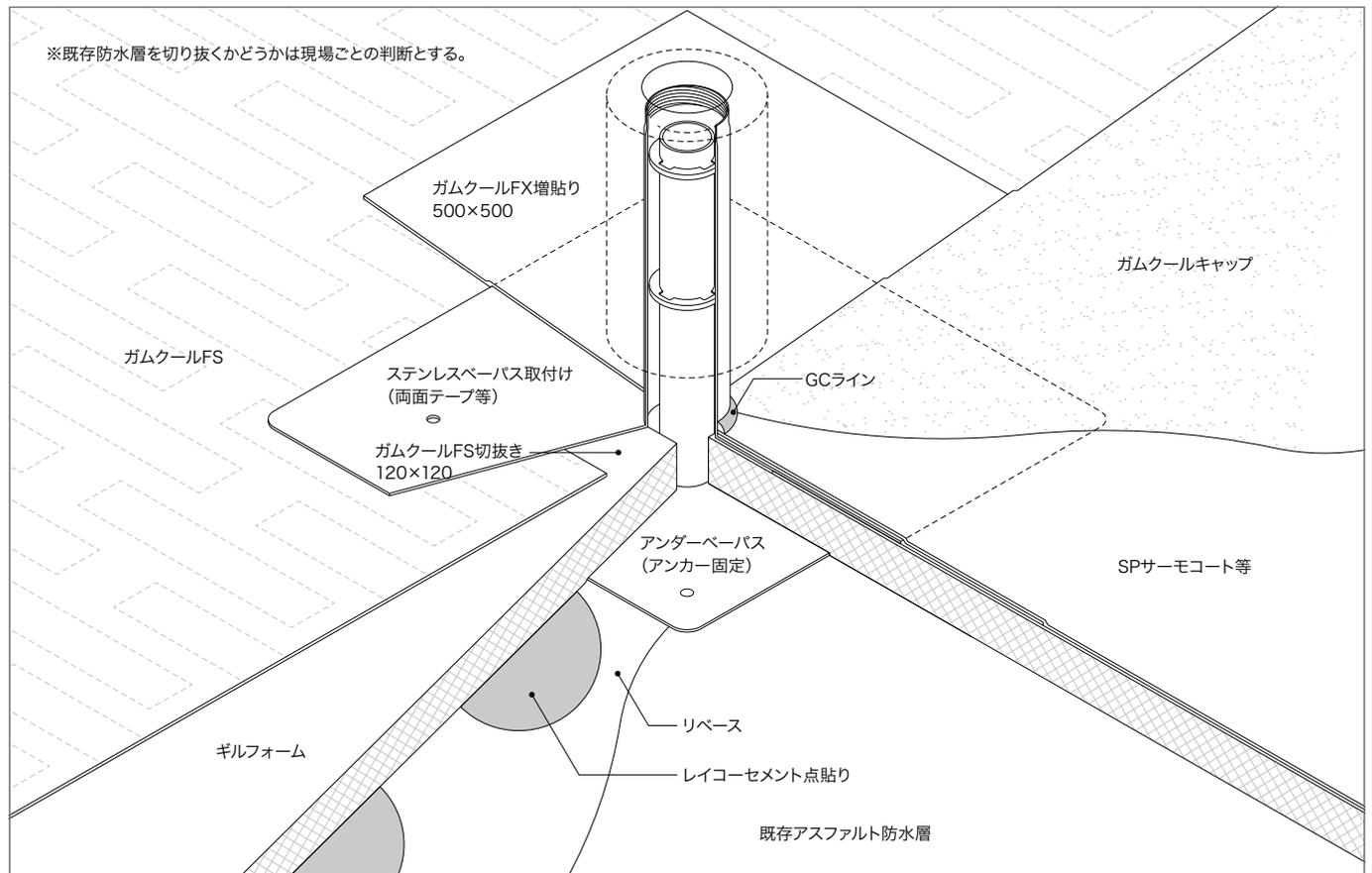


納まり図例

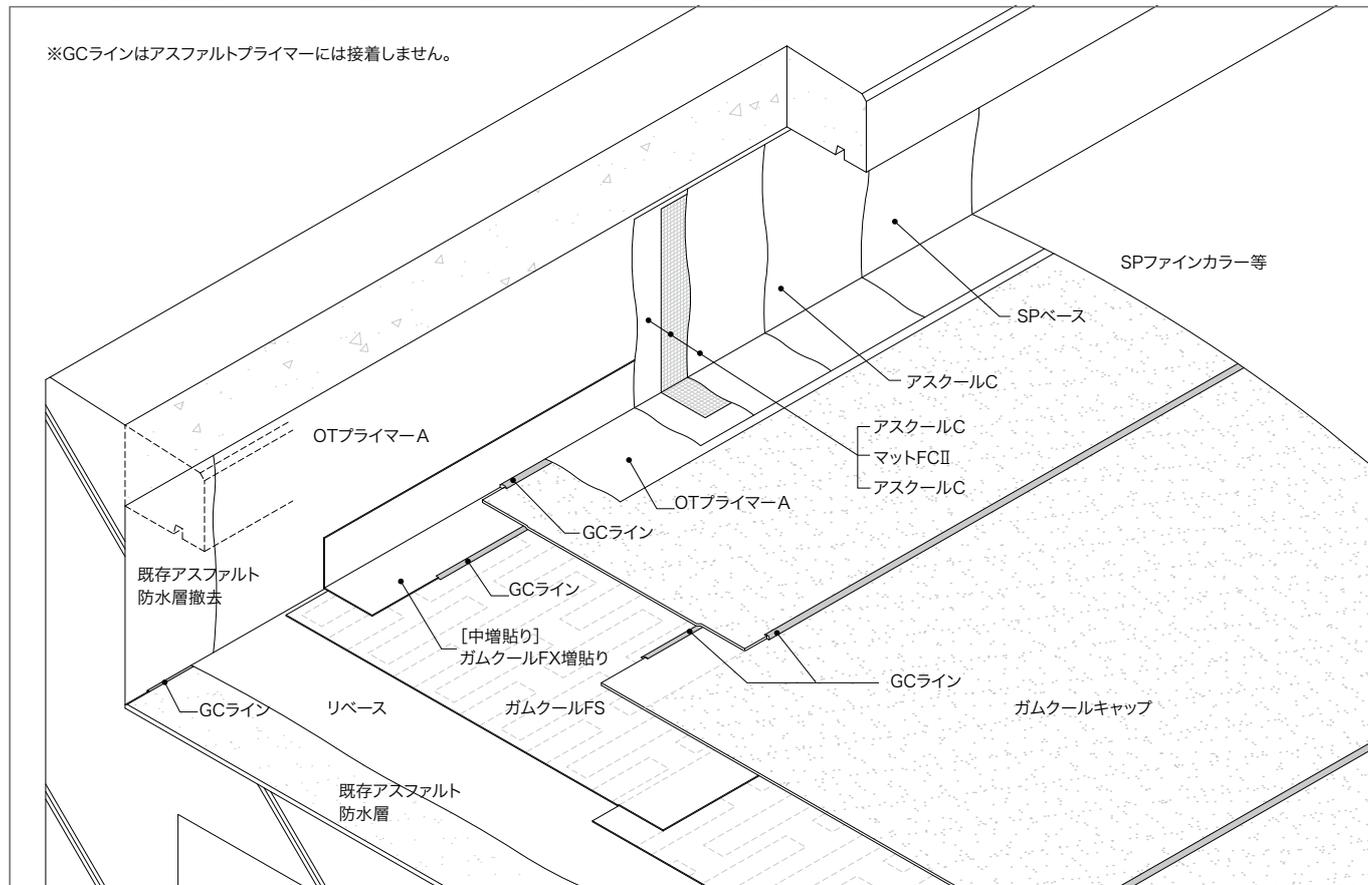
GSS-200S



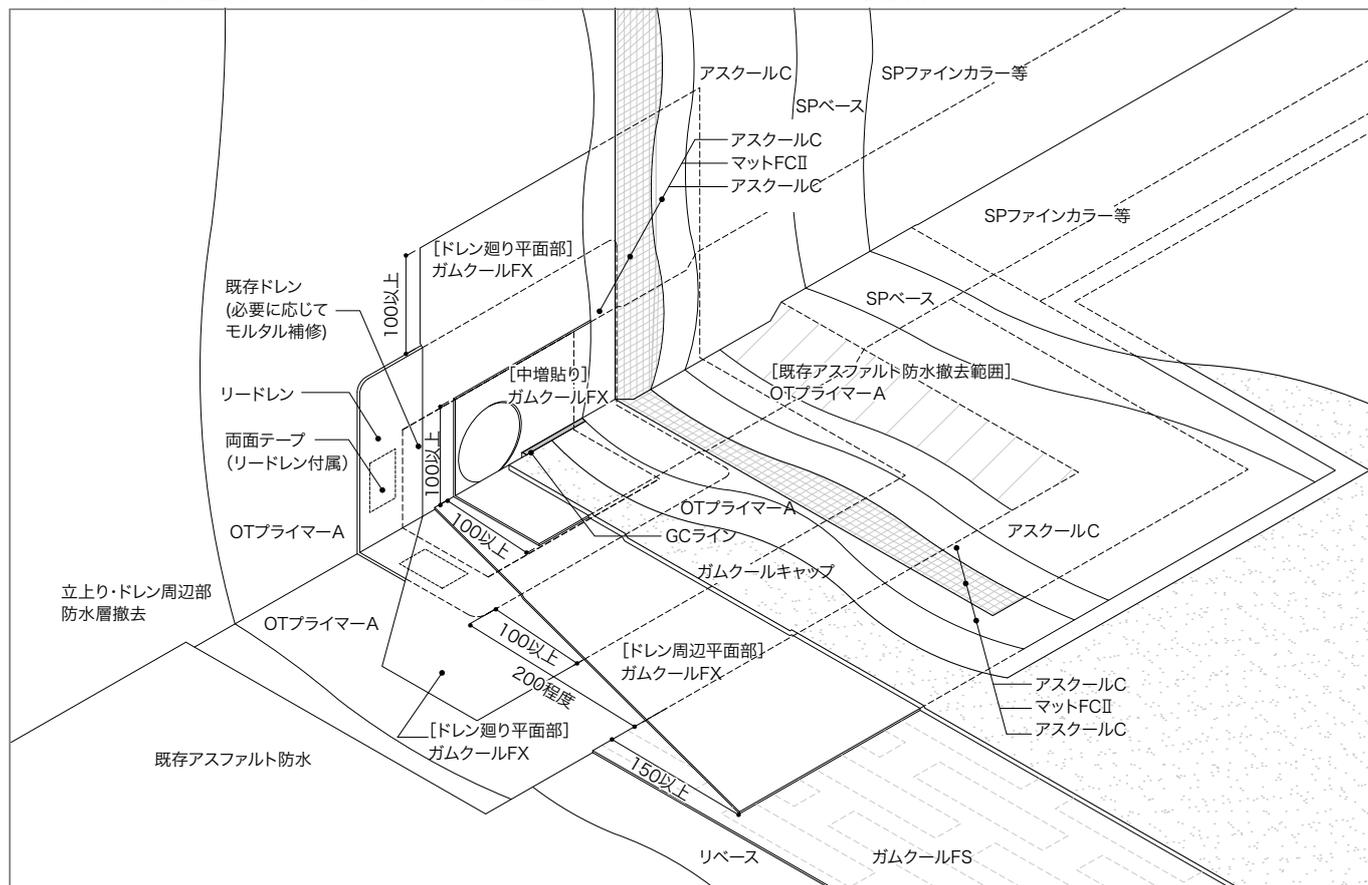
脱気筒 GSS-200S



立上り 塗膜防水併用工法 GSS-2S/立上り PQ-160C(アスクールC 中増貼り)

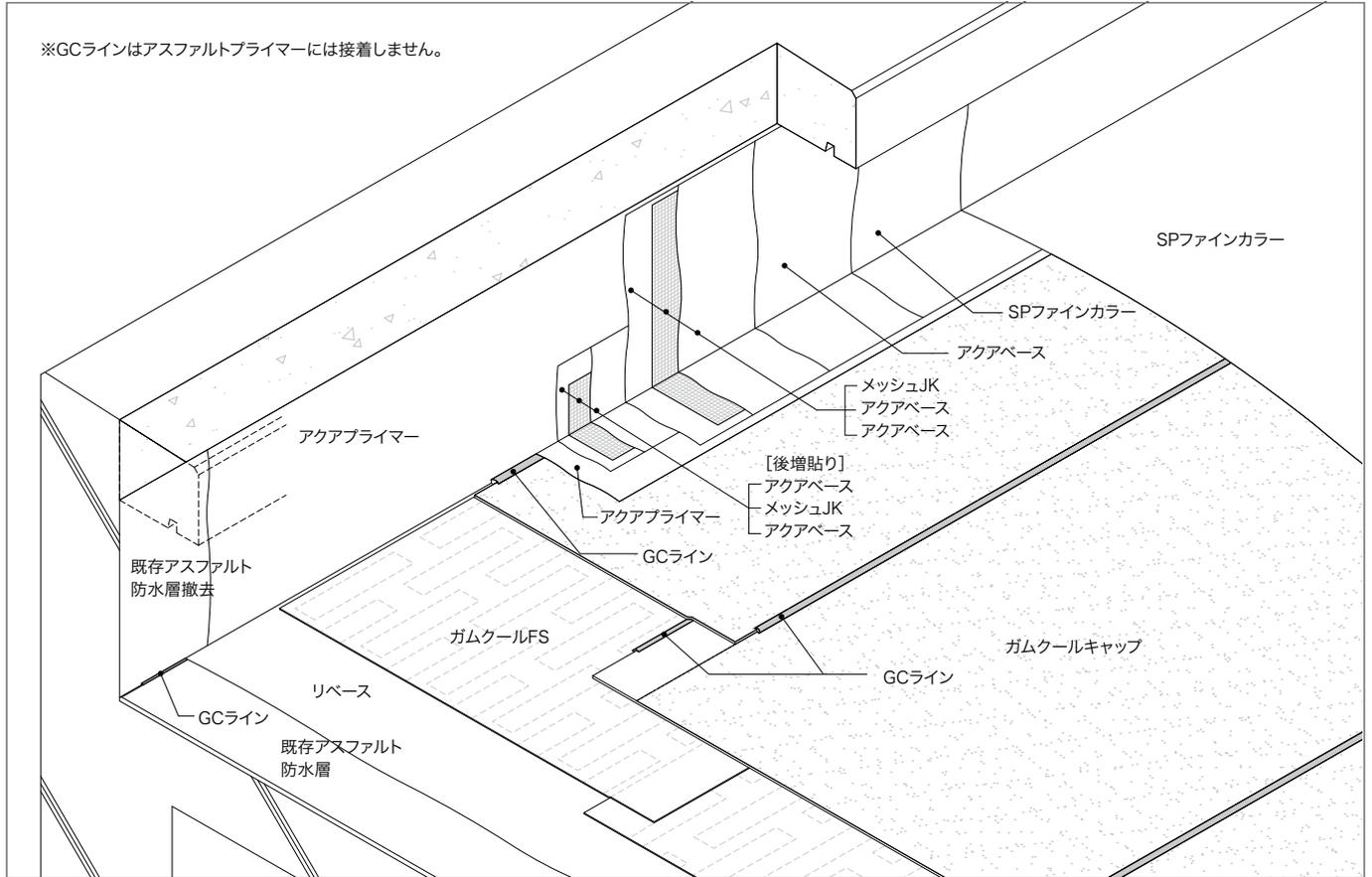


改修用ドレン(横) 塗膜防水併用工法 GSS-2S/立上り PQ-160C(アスクールC 中増貼り)

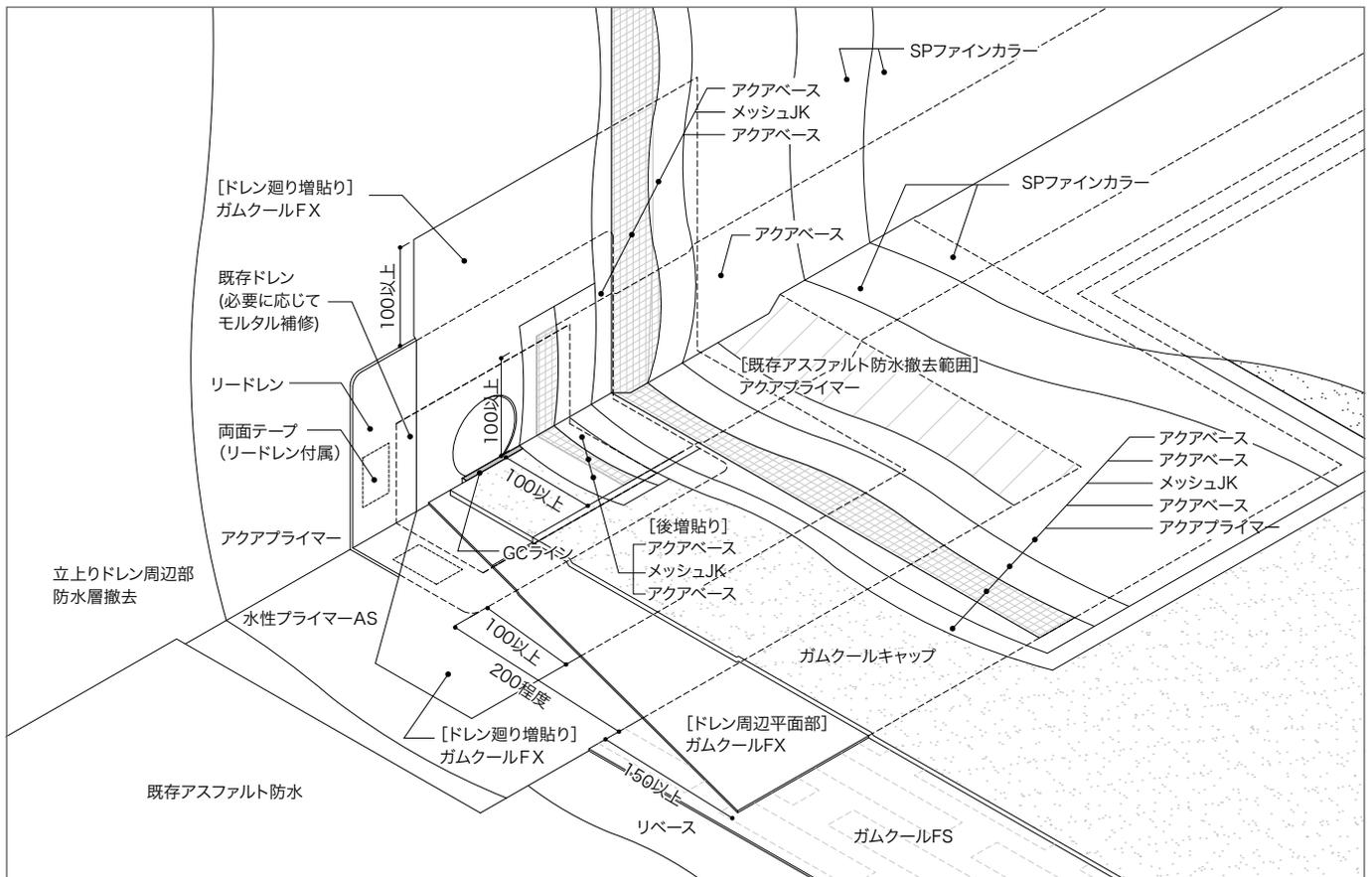


納まり図例

立上り塗膜防水併用工法GSS-2S/立上りAQ-160(アクアベース後増貼り)



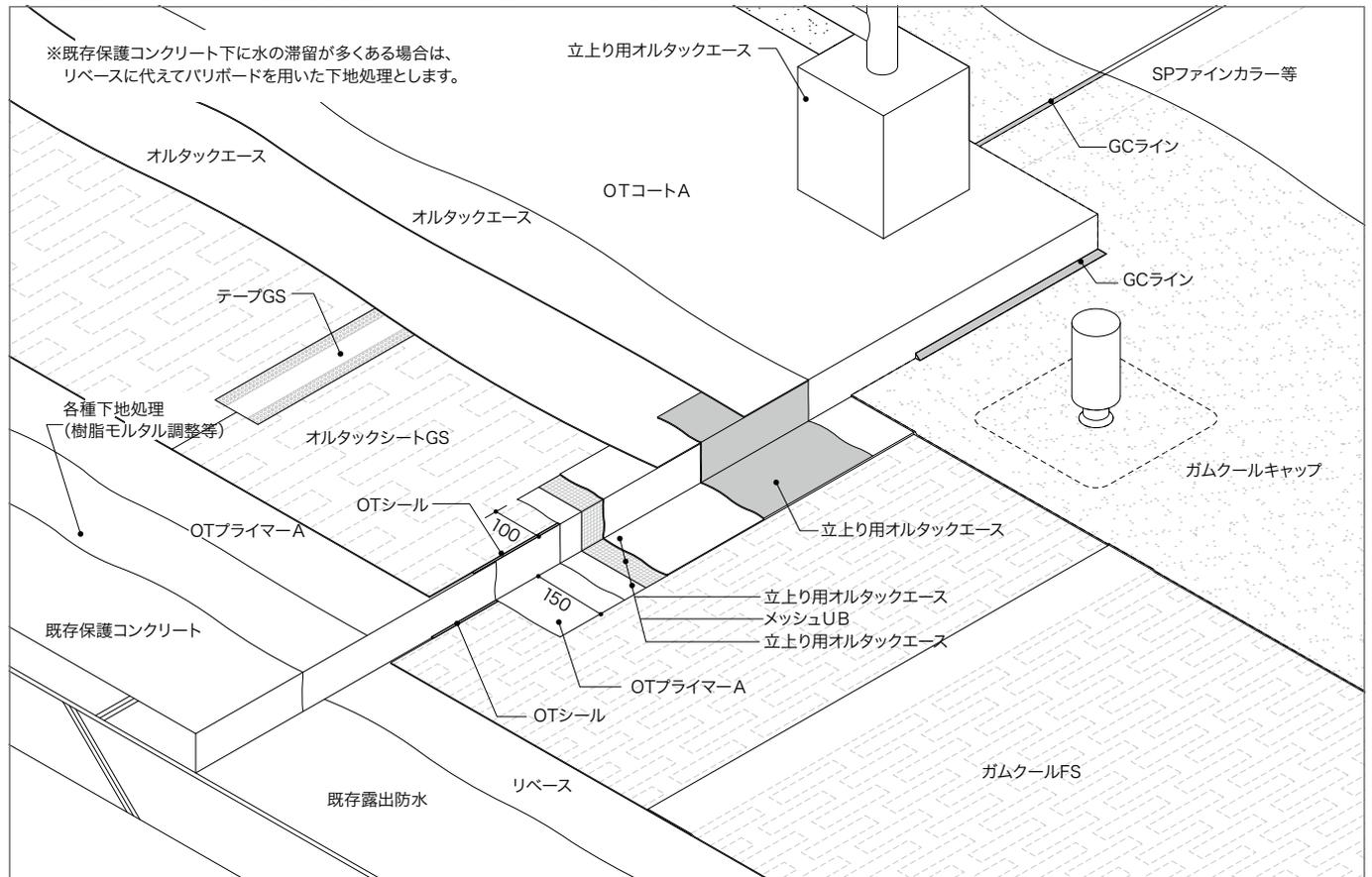
改修用ドレン(横)塗膜防水併用工法GSS-2S/立上りAQ-160(アクアベース後増貼り)



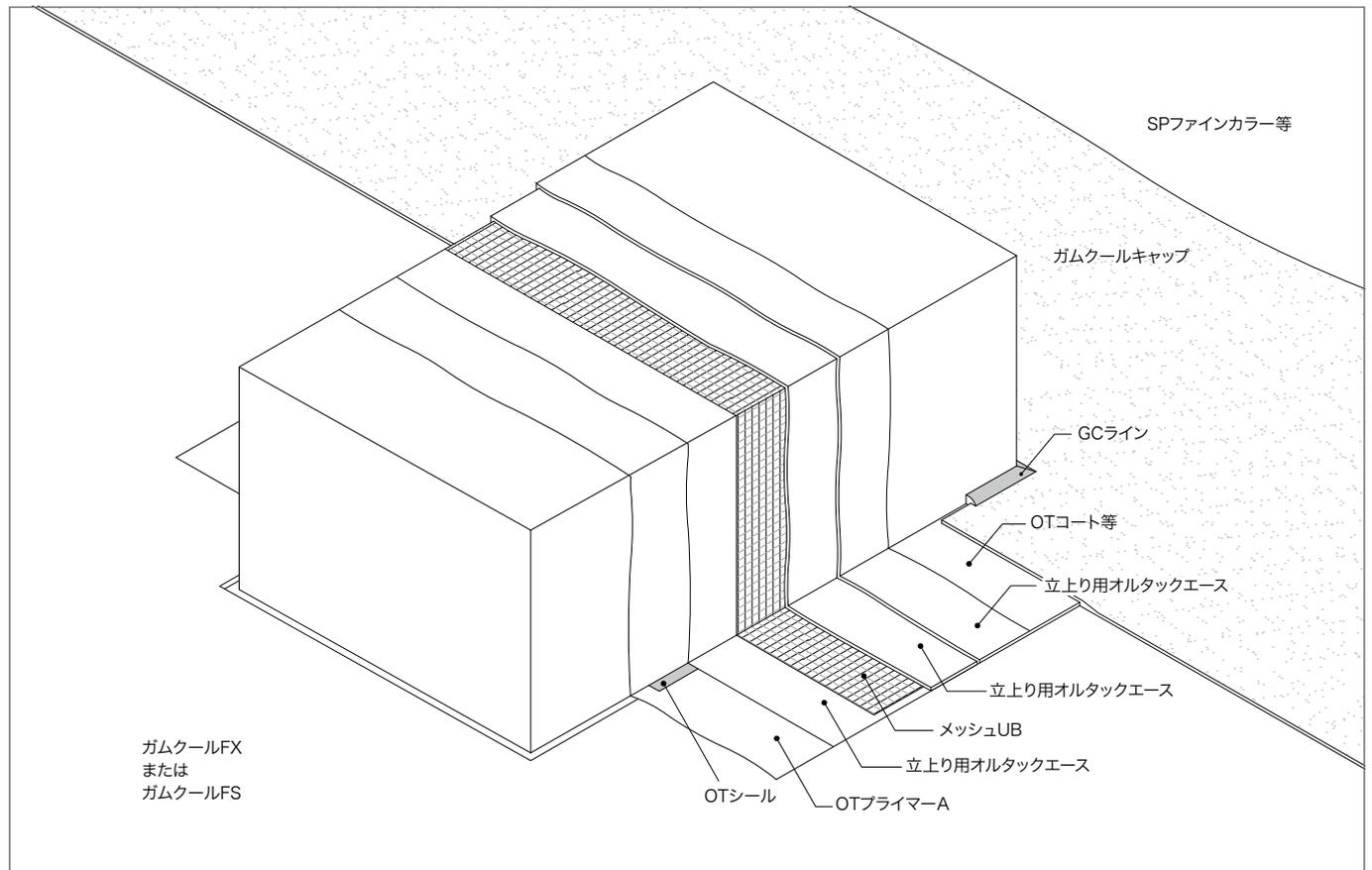
施工情報

納まり図例

部分保護コンクリート塗膜防水併用工法GSS-2S/OATW-3A(オルタックエース)

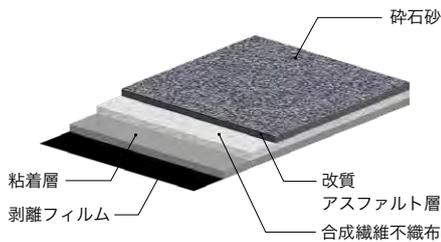


架台処理(ガムクール+オルタックエース)



材料紹介 シート類

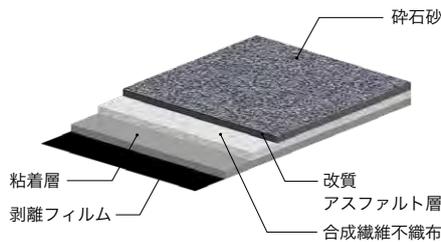
ガムクールキャップEX



主に単層工法に使用する砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類

1m×8m巻 厚さ:3.5mm
*彩色ガムクールキャップEX(色:新緑、赤茶)は受注生産品です(納期約2~3週間)。
複層工法の彩色砂付仕上げにもご使用いただけます。

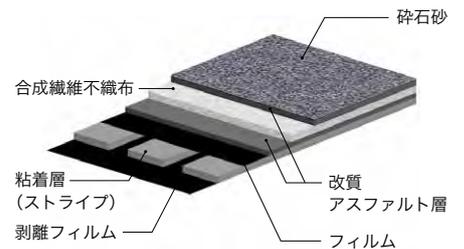
ガムクールキャップ



複層工法に使用する砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出複層用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:2.9mm

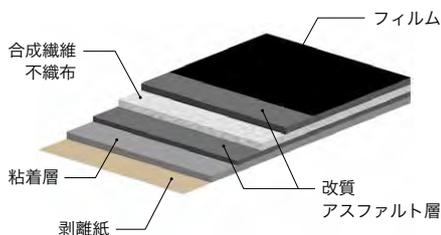
ガムクールキャップAS



裏面がストライプ状の粘着層になっており、一層で通気と仕上げの機能を持つ砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:3.2mm(粘着層を含まず)
※受注生産品

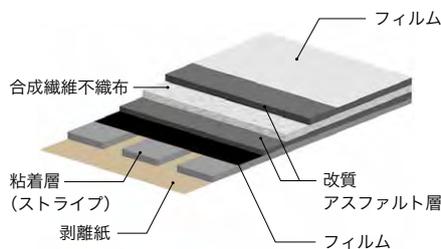
ガムクールFX/FX-33



ガムクールFXは、裏面が全面粘着タイプの中貼りシート。FX-33はガムクールFXを裁断したものの。
JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類

ガムクールFX 1m×16m巻
FX-33 330mm×16m巻
厚さ:1.5mm

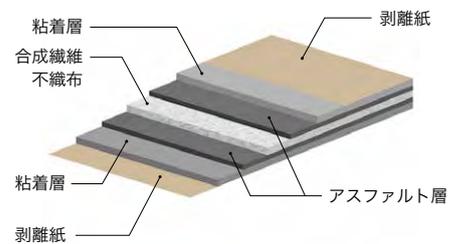
ガムクールFS/ガムクールFSⅡ



裏面がストライプ状粘着層になっており、複層工法の一層目に使用。ガムクールFSⅡは、厚さ1.5mm品。
JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類(FSⅡ)

1m×16m巻
厚さ:ガムクールFS 1.0mm(粘着層を含まず)
ガムクールFSⅡ 1.5mm(粘着層を含まず)

ガムクールベースE

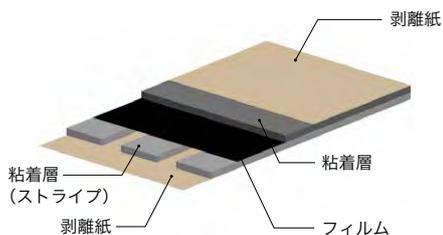


バリキャップPで仕上げる際に使用する両面粘着タイプの中貼りシート。

1m×12m巻
厚さ:1.5mm

材料紹介

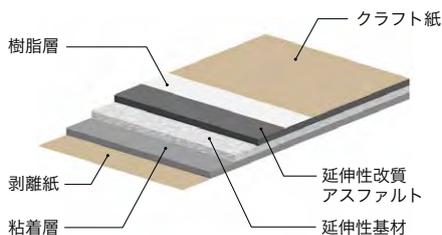
ダンパーシート



断熱工法に使用する防湿層兼断熱材固定用シート。

1m×32m巻
厚さ:0.8mm(粘着層を含む)

エンシンシート



延伸性があり、出入隅・ドレン廻りなどの複雑部位に切り込みを入れずに施工できるシート。
(アスクールCと組合せての使用はできません)

450mm×8m巻
厚さ:1.5mm

絶縁クロス1000



ポリプロピレンのフラットヤーンクロスを使用した絶縁材。

1m×100m巻
70g/m²

GCライン(カート/ジャンボ)



ガムクール防水層の貼仕舞、砂面処理、ドレン、パイプ廻りなどに使用する変成シリコーン系シーリング材。

330ccカート、850ccジャンボカート
各10本/箱
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しませんのでご注意ください。

強力ガムシール



ガムクール防水層の貼仕舞、ドレン、パイプ廻りなどに使用するゴムアスファルト系シーリング材。

330ccカートリッジ
20本/箱
20kg/缶、9kg/缶

ガムホット



専用工具のガムホットサーバーで熱溶解して施工する改質アスファルト系シーリング材。
施工後は常温ですぐ硬化する。

260g/本
20本/箱

ガムホットサーバー



ガムホット溶融、保温用の専用ポット。
100V電源により作動する。

タンク式・三脚セット
※受注生産品

メンテナンスシート



防水層に対する取り扱い・メンテナンス等の注意事項を記載した粘着タイプのシート。

基本サイズ:A2サイズ(420mm×594mm)
他のサイズも対応可能
※受注生産品

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

下地処理材／下地調整材

水性プライマーAS



コンクリートやモルタル下地に使用する、アスファルトと合成樹脂を配合したエマルジョンタイプのプライマー。

17kg/缶

アスファルトプライマー



コンクリートやモルタル下地に使用する、揮発性溶剤を用いた下地処理材。

15.5kg/缶
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しませんのでご注意ください。

アスファルトプライマーSS



コンクリートやモルタル下地に使用する、速乾性下地処理材。

16kg/缶

VTプライマーG



架台廻りウレタン塗膜防水併用工法に使用するアクリルウレタン系2液硬化型プライマー。硬化剤をグレーに着色。

6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)

リベース



既存アスファルト防水層を活性化する下地処理材。

20kg/缶

リグレー・ネオ/リグレー・ネオ パウダー



下地補修用SBR系ポリマーセメントモルタル。リグレー・ネオ(SBR系混和液)とパウダーを混練して使用。※水を添加しないでください。

リグレー・ネオ 18kg/缶
リグレー・ネオ パウダー 厚塗り用:20kg/袋
薄塗り用:20kg/袋

リグレーエポ



荒れたコンクリート等の下地はもちろん、タイル、金属材などに被膜を形成。各種下地材への接着性に優れた水性エポキシ系の下地調整材。

28kg/セット
(主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)
*シルバー塗料の上には使用できません。

クールベース



水性ゴムアスファルト系下地調整材。既存アスファルト防水層撤去後の穴埋め、不陸調整他に使用。

クールベースパウダー 16kg/袋
クールベース 8kg/缶

アスグランド



既存防水層撤去後、新規防水層施工までの一時止水に用いる、速硬化タイプの仮防水材。

グランドパウダー 12kg/袋
アスグランド 9kg/缶

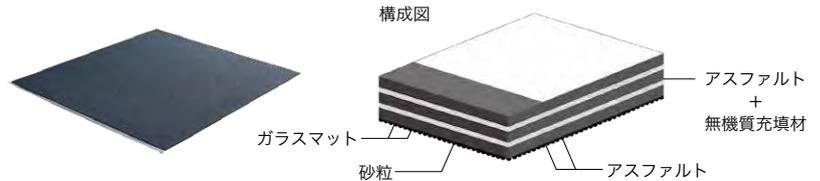
マルチグランド



既存防水と新規防水の種類を問わずに使用できる仮防水材。

グランドパウダー 12kg/袋
マルチグランド 10kg/箱

バリボードPS



アスファルトに無機質充填材を配合し板状に成型したパネル材。裏面は砂粒層で下地水分を拡散。容易に施工でき、耐衝撃性・耐圧縮性に優れる。

1m×0.9m/枚
厚さ:4mm
*砂付面を下にして使用。保護フィルムは施工後に撤去。

テープ類 / 接着剤 / キヤント類

バリテープC



バリボードPSの目地部増し貼り用。
剛性が高く強靱な片面粘着層付テープ。

100mm×20m巻

ガムリッチ18



出入隅やドレン廻りなどの複雑部位に使用する、
伸縮性にすぐれた増貼り用のゴムアス系両面テープ。

180mm×8m巻

メルトテープR



バーナーで炙る溶融タイプのテープ。

150mm×25m巻

セメントMS



ギルフォーム貼付用変成シリコン系接着剤。

1.3kgカートリッジ
12本/箱(ノズル2個入)

水性プライマーMS



セメントMS施工時に使用するアクリル水性プライマー。

18kg/缶

レイコーセメント



合成ゴムを含有した改質アスファルトをペーストタイプに仕上げた、断熱材ギルフォームおよびバリボードPS貼付け用の接着剤。

18kg/缶

RBセメント



RBボード、スタイロフォームRB-GK-II 接着用の
アスファルト系接着剤。

20kg/缶

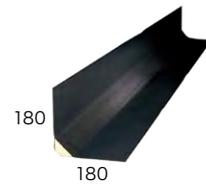
RBキヤント1500



立上り防水層を、保護コンクリートの挙動から保護する発泡ポリエチレン製緩衝材。裏が粘着面で、立上り際の下地になじむよう切込み入り。

20mm×150mm×1,500mm
34本/箱

ガムキヤントFX



コーナー用成型キヤント材。
片側に100mm幅のラップ部分がある。

(本体長さ910mm+ラップ100mm)
20本/箱

断熱材／雨仕舞材

ギルフォームS/W



写真はギルフォーム35S

外断熱用の硬質ウレタンフォーム。熱伝導率が極めて低い炭化水素系発泡ガスを内包した、完全ノンフロンタイプの断熱材。SとWの2サイズがある。

S : 605mm×910mm
W : 900mm×1,200mm(受注生産品)
厚さ : 25,30,35,40,50,60,70,75mm
(Sの70,75mmは受注生産品)

RBボード



保護コンクリート仕上げに最適な、完全ノンフロンタイプ押出法ポリスチレンフォーム断熱材。

910mm×910mm
厚さ : 25、30、35、40、50、60mm

スタイロフォームRB-GK-II



保護コンクリート仕上げに最適な、完全ノンフロンタイプ押出法ポリスチレンフォーム断熱材。

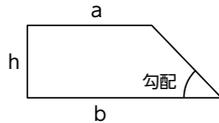
910mm×910mm
厚さ : 25、30、35、40、50、60mm

テーパフォーム



側溝部やドレン廻りの断熱材面取り作業簡易化を目的とした、ギルフォームのプレカット部材。

S、L、URの3種類あり。
※受注生産品



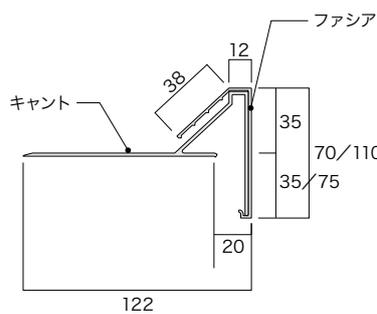
品名	勾配	厚さ : h (mm)	寸法 (mm)			梱包数/箱
			a	b	長さ	
テーパフォームS	45°	25	50	75	910	24枚
		30				
		35				
		40				
		50				
テーパフォームL	45°	25	150	175	910	22枚
		30				
		35				
		40				
		50				
テーパフォームUR	40°	50	50	110	910	24枚
		60				
		60				

フラッシュエッジ70A/110A



防水層挟み込み式のアルミ製端部水切材。

色 : 70A シルバー、T-11※、T-3、T-4※
110A シルバー、T-11※、T-3、T-4※
※受注生産色



フラッシュエッジ70A (単位:mm)

	カント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ:2,000 厚さ:1.7	長さ:1,995 厚さ:1.7	長さ:80 厚さ:0.6
ビス穴	7穴 300間隔	—	—

フラッシュエッジ110A (単位:mm)

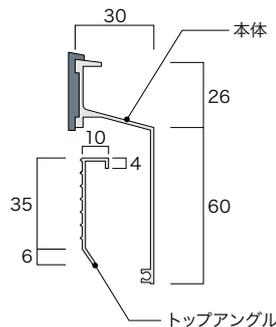
	カント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ:2,000 厚さ:1.8	長さ:1,995 厚さ:1.8	長さ:80 厚さ:0.6
ビス穴	7穴 300間隔	—	—

フラッシュトップ60



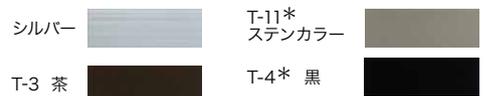
防水層立上り端末用のアルミ製水切材。

色 : シルバー、T-11※、T-3、T-4※
※受注生産色



(単位:mm)

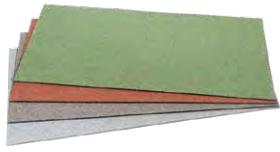
	カント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ:1,995 厚さ:1.3	長さ:2,000 厚さ:1.2	長さ:80 厚さ:0.6
ビス穴	5穴 450間隔	—	—



※各色は印刷のため、現物との差異があります。

板状仕上げ材／副資材

バリキャップP/バリキャップ



表面を彩色砂や自然色砂で仕上げたアスファルト成型板。

500mm×1,000mm 厚さ:6mm 5.1kg/枚
 ※バリキャップP裏面:保護フィルム(施工時にフィルムを剥離してから貼付。粘着層はありません)
 ※バリキャップ裏面:鉱物質粉粒
 色:4色(23ページ参照)

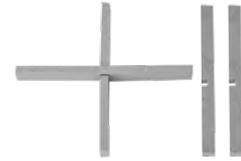
ガムロンタイル



歩行用磁器タイル保護仕上げパネル。
裏面は粘着層付。

300mm×300mm(目地部含む)
厚さ:8mm(1.2kg/枚) 18枚/箱
 ※端部保護のため、見切り材ステップエッジ(50mm×1,000mm)をご使用ください。
 ※受注生産品 色:4色(23ページ参照)

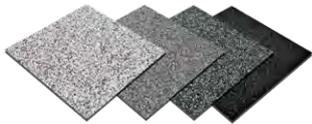
ガムロンタイル用目地ピース



歩行頻度が激しいところに使用する目地材。

3mm×60mm
厚さ:5mm
10本/1包(製品に付属)

ステップスクエア500H



天然の砂粒を成型した粘着層付き防水層保護板。

500×500mm 厚さ:7.5mm(12kg/m²) 6枚/箱
 ※美観維持のため、ステップバインダーHをアジャストUで希釈したものを約5年毎に塗布するメンテナンスをおすすめします。詳細は施工マニュアルをご覧ください。
 色:4色(23ページ参照)

ステップエッジ



ステップスクエア500H、ガムロンタイルの端部保護を兼ねた、ステンレス製見切り材。VTテープ50を用いて固定する。側面に水抜用の穴(6カ所)あり。

50mm×1,000mm
10本/箱

VTテープ50



ステップエッジ固定に使用する両面テープ。

50mm×15m巻
3巻/箱

RBタイル



ポリスチレン系断熱材とモルタルを同時成型した複合タイル。

450mm×450mm
総厚:65mm(断熱材厚さ:50mm)
8kg/枚

ウィンドバー(低層用) ウィンドブロック(中層用)



RBタイル用縁見切り材。

ウィンドバー 60mm×30mm×2,730mm
ウィンドブロック 63mm×170mm×600mm

サンドイッチ金具



RBタイル相互連結用金具。

上下金具+ビス1個/セット

エイブロックBF/BJ



BJは連結可能

合成樹脂ネットで補強したセメント系成型パネル。パネル目地部分で折り曲げ、下地の不陸等になじませて設置ができる。

600mm×600mm
厚さ:25mm 20kg/枚
※受注生産品

エイマット



エイブロック敷設用のクッション材。

1,000mm×1,000mm
厚さ:7mm 35枚/袋

縁石ブロック 連結用プラグビス(BJ用)



エイブロック用縁見切材とBJ連結用ビス。

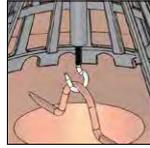
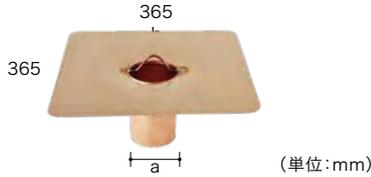
縁石ブロック 120×600mm 厚さ:60mm
連結用プラグビス プラグ+ビス50セット/袋
色:グレー

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

改修用ドレン/ドレンキャップ

■各表の許容最大屋根面積は、SHASE-S206(給排水衛生設備基準・同解説)に基づき計算。最大降雨量100mm/h当たりの許容最大屋根面積として算出。

リードレンZ たて



リードレンキャップZたての軸心部と連結

連結式の改修工用たて型銅製ドレン。丸棒部でドレンキャップと連結する。既存ドレン上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

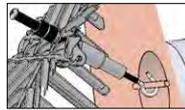
13サイズあり(標準品は5サイズ)
※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください

リードレンZたて 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	35*	45*	50*	60	65	75	80	95	120*	130*	140*	150*	160*
外径(a)	35	45	50	58	64	74	80	95	119	129	139	149	159
内径(b)	33	43	48	56	62	72	78	92	117	127	137	147	157
許容最大屋根面積 (m ²)	22	44	60	90	118	176	218	339	645	804	984	1190	1410

*印は特注品です。(納期:約3週間)

リードレンZ 横



リードレンキャップZ横の軸心部と連結

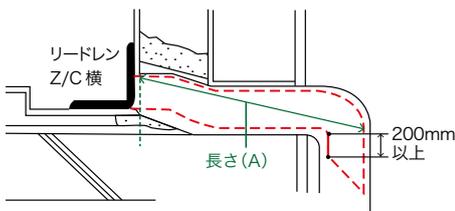
連結式の改修工用横型銅製ドレン。丸棒部でドレンキャップと連結し、既存ドレン上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

7サイズあり(標準品は3サイズ)
※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください。

リードレンZ横 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	40*	50*	60	75	90	115*	140*
ホース 外径(a)	40	46	60	73	86	112	137
筒 内径(b)	30	36	49	60	73	99	124
配管勾配ごとの許容最大屋根面積 (m ²)	1/25	17	28	65	111	187	—
	1/50	—	—	46	78	132	298
	1/75	—	—	—	64	108	243
	1/100	—	—	—	—	93	211

*印は特注品です。その他に35・100タイプを作成できます。(納期:約3週間)



【リードレンZ/C横 施工上の注意】

「リードレンZ/C横」は、ドレン設置位置から排水管のエルボ外端までが**400mmを超える場合、受注生産となります。**(納期約3週間)

現場にて左図の「長さ(A)+200mm以上」をご確認の上、発注時にホースの“有効長さ”をご指定ください。(500mm以上100mm単位)

◀リードレンZ/C横のフレキシブルホースは、エルボより下に落とし込んでください。落とし込んでいない場合、水が逆流する可能性が高まります。(左図参照)

【リードレンZ/C横の取付位置は必ず確認】

※ドレン寸法は小数点以下を端数処理しており、実際の製品とは若干の誤差があります。

※既存ドレンの内径を採寸し、リードレンの筒外径が既存ドレン内径より小さいサイズを選定してください。

※リードレンZ(たて/横)は、既存ドレンに差し込む二重ドレンのため、設置後の排水容量が既存ドレンとは異なります。各表を参考に、改修後の排水能力についてご確認ください。

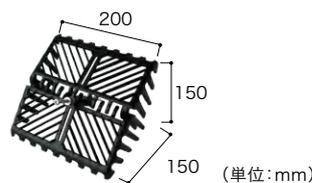
リードレンキャップZ たて



リードレンZ専用の連結式縦引用キャップ。軸芯部のJフックをリードレンZの丸棒部に掛け、Wナット締めで連結固定する。アルミダイキャスト製。

1個入/箱

リードレンキャップZ 横



リードレンZ専用の連結式横引用キャップ。中央のJフックで連結固定する。納まりに合わせてキャップの角度調節が可能。アルミダイキャスト製。

1個入/箱

ドレンゲージ DX



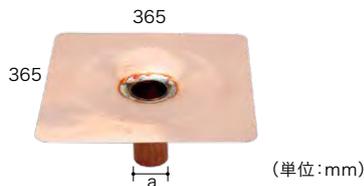
既存ドレンに差し込むだけでリードレンZ/C たておよび横の適正サイズがわかる。既存ドレン内径測定器。

1個入/箱
収納時 長さ210mm
リールキーホルダー付属

※リードレンキャップZ たて/横は、リードレンZ たて/横との組合せ以外では使用できません。(リードレンC たて/横には使用不可)

■各表の許容最大屋根面積は、SHASE-S206(給排水衛生設備基準・同解説)に基づき計算。最大降雨量100mm/h当たりの許容最大屋根面積として算出。

リードレンCたて



改修工用たて型銅製ドレン。既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

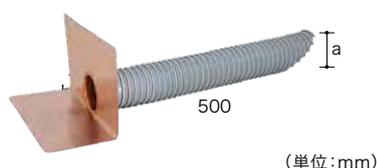
13サイズあり(標準品は5サイズ)
※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください

リードレンCたて 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	35※	45※	50※	60	65	75	80	95	120※	130※	140※	150※	160※
外径(a)	35	45	50	58	64	74	80	95	119	129	139	149	159
内径(b)	33	43	48	56	62	72	78	92	117	127	137	147	157
許容最大屋根面積(m ²)	22	44	60	90	118	176	218	339	645	804	984	1190	1410

※印は受注生産品です。(納期:約2週間)

リードレンC横



改修工用横型銅製ドレン。既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

7サイズあり(標準品は3サイズ)
※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください。

リードレンC横 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	40※	50※	60	75	90	115※	140※
ホース 外径(a)	40	46	60	73	86	112	137
筒 内径(b)	30	36	49	60	73	99	124
配管勾配ごとの許容最大屋根面積(m ²)	1/25	17	28	65	111	187	—
	1/50	—	—	46	78	132	298
	1/75	—	—	—	64	108	243
	1/100	—	—	—	—	93	211
	1/125	—	—	—	—	—	188
	1/150	—	—	—	—	—	172
1/200	—	—	—	—	—	—	271

※印は受注生産品です。(納期:約2週間)

※その他に35・100タイプを作成できます。(特注品 納期:約3週間)

トルネードドレンたて80/90



改修用排水量改善たて型二重ドレン。排水口の羽根形状で排水量を増加する画期的な構造。新築時の直径100mm縦引きドレンと同等の排水力。

各1個/箱
(キャップ、専用ナット、専用シリコーンゴム付)

ドレンキャップ190



アルミダイキャスト製縦引き用ドレンキャップ。ステンレス製板バネ(樹脂製滑り止め付)をドレン内部に差し込んで設置。

色:黒
1個/箱

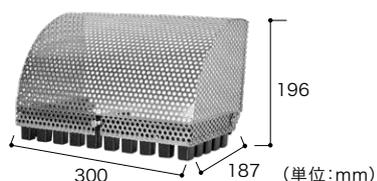
ドレンキャップたてAS



アルミダイキャスト製縦引き用ドレンキャップ。ステンレス製板バネ(樹脂製滑り止め付)をドレン内部に差し込んで設置。

色:黒、ライトグレー
5個/箱

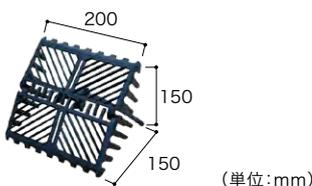
ドレンキャップ横引用DX



ベース部は鋳鉄製、上部はステンレスパンチングメタル製のドレンキャップ。約5kgの自重がある据置型で、耐風性に優れる。

重量:5kg
1個/箱

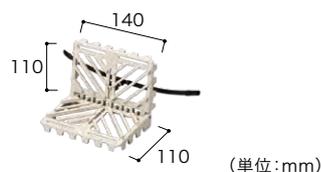
ドレンキャップ横引用C200



角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレンキャップ。固定用ステンレス製板バネ付。

色:黒
1個/箱

ドレンキャップ横引用AS



角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレンキャップ。固定用ステンレス製板バネ付。

色:ライトグレー
1個/箱

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

保護塗料(ガムクール砂付仕上げ用)

SPスーパーサーモコート SPサーモコート



アクリル樹脂を主成分とするエマルジョンと骨材で構成された、高耐久・高反射厚膜水性保護塗料。

18kg/缶
(SPサーモ 3色、SPスーパーサーモ 1色)

SPファインカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防水材専用高反射水性保護塗料。

18kg/缶 4色

SPミッドカラー



明度を下げることで照り返しによる眩しさを抑えつつ、優れた遮熱効果を発揮するアスファルト系防水材専用高反射水性保護塗料。

18kg/缶 4色

SPクリーンカラー



土、砂、花粉、珪藻類等の自然環境に起因した堆積物の影響から防水層表面を保護する効果を持つ、骨材入り高反射水性保護塗料。

18kg/缶 3色

SPマルチカラー31kgセット



アスファルト系防水材用水性保護塗料。日塗工見本色指定による特殊色に対応。
※高反射タイプではありません。

31kgセット 3色(下塗り用は共通1色)
(下塗り用: 18kg/缶、上塗り用: 13kg/缶)
※特注色の納期はお問合わせください。

SPプロテクションコート



アクリル樹脂と骨材を加えた水性保護塗料で、防火性に優れています。
*特注色生產品のため、調色の可否を事前に弊社営業部へご確認ください。

18kg/缶 ※受注生產品

SPトナー



SPシリーズの2度塗り仕様に用いる工程管理用着色材。1度目の塗布時に保護塗料に添加して色味を変え、施工部位を見分ける。

1kg(600ml)/缶(計量カップ付)

保護塗料塗布による加算耐用年数について

高日射反射型の保護塗料を塗布することで、防水層の耐用年数を延ばすことができます。各仕様の基本耐用年数に下表の年数を加算してください。

保護塗料塗布量 (/m²) および加算耐用年数

保護塗料	SPサーモコート	SPファインカラー	SPミッドカラー	SPクリーンカラー
塗布量	0.8~1.2kg (2回塗り合計)	0.4~0.6kg	0.5~0.7kg	0.5~0.6kg ※堆積物が予測される部位 0.7~0.8kg(2回塗り合計)
断熱(既存/新規)	プラス5年	プラス3年	プラス3年	プラス3年
非断熱(既存/新規)	プラス2年	プラス1年	プラス1年	プラス1年

※耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。

※保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー、SPクリーンカラー)の価格は塗料ごとに異なります。

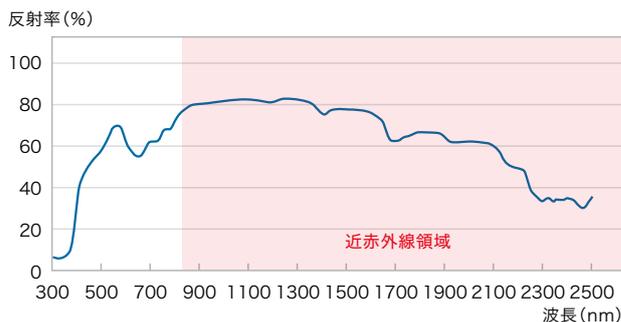
高反射塗料「SPシリーズ」の日射反射率

日射反射率(分光反射率)グラフ

(財)日本塗料検査協会試験による

品名	日射反射率(%)		
	全波長領域 300~2500nm	可視光領域 300~780nm	近赤外領域 780~2500nm
SPサーモコート サーモグリーン (TH-29)	64.5	56.0	75.9

※近赤外領域は可視光領域に比べ熱に変換されやすく、この領域をより多く反射する方が遮熱効果が高いことになります。



品名	色	名称【色番号】	日射反射率(%)	
			近赤外領域 (780~2500nm)	全波長領域 (300~2500nm)
SPサーモコート SPスーパーサーモコート		サーモホワイト【TH-1000】 (SPスーパーサーモコート)	80.0	81.0
		サーモグレー【TH-109】	77.5	61.8
		サーモアイボリー【TH-69】	76.9	69.8
		サーモグリーン【TH-29】	75.9	64.5
SPクリーンカラー		CLグレー【CL-109】	78.0	63.8
		CLマットシルバー【CL-122】	75.8	56.4
		CLアイボリー【CL-69】	77.9	70.9
SPファインカラー		ライトグレー【A-101】	74.6	60.3
		マットシルバー【A-122】	72.0	54.6
		ライトブラウン【A-66】	74.2	60.3
		ミントグリーン【A-25】	76.6	57.6
SPミッドカラー		ミッドグレー【I-103】	60.4	45.5
		ミッドリーフ【I-27】	57.6	40.6
		ミッドベージュ【I-63】	63.1	47.6
		ミッドチェリー【I-33】	66.7	52.8

※各色は印刷のため、現物との差違がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。

※表中の日射反射率(%)は、近赤外領域(780~2500nm)における数値 ※日射反射率は(財)日本塗料検査協会試験による塗料単体の反射率です

SPマルチカラー

※下塗り用の材料色はグレー系です



マルチグレー【M-100】



マルチグリーン【M-23】



マルチレッド【M-3】

・SPサーモコート仕上げによる防火認定が必要な場合で特注色をご希望の際は、SPプロテクションコートをご採用ください。

※特注色対応については弊社営業担当までお問合せください。なお特注色は日射反射率の測定を行っておりませんので、反射塗料の扱いではありません

・防火認定や高反射機能が必要ない場合で特注色をご希望の際は、SPマルチカラーをご使用いただけます。

※特注色対応については営業担当までお問合せください。SPマルチカラーは強度に優れた塗料被膜によって防水層を保護します。高反射機能を有していないため、断熱工法(既存含む)では採用できません。

脱気筒／施工用具

ステンレスペーパスⅡ



キャップが設置しやすいガイド付き

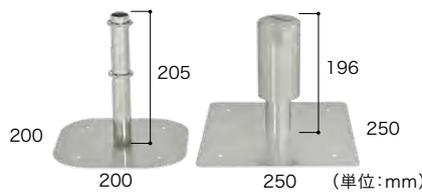
(単位:mm)

防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。70～80m²に1ヵ所の割合で設置。

1個/箱

*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応品ステンレスペーパスN/Wについては、「ペーパスカタログ」をご覧ください。

ステンレスペーパスWⅡ

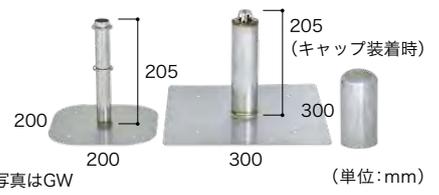


(単位:mm)

断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。70～80m²に1ヵ所の割合で設置。

1個/箱

ステンレスペーパスG/GW



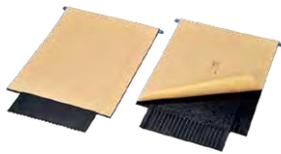
(単位:mm)

写真はGW

逆流防止弁付の平面部用通気材。Gは非断熱用、GWは断熱工法用の二重式。70～80m²に1ヵ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱 ※受注生産品
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

ペーパス(立上り用)



合成ゴム製の立上り部用通気材。10mに1ヵ所程度を目安に設置。

幅:240mm
高さ:350、500、700、1,000mm
各サイズ 5枚/箱

ステンレスバンドF



貫通管など、パイプ廻りの防水層端部固定用バンド。パイプの寸法に合わせて切断して使用するフリーサイズ品。

フープ 5m
クリップ 10個/袋

ガムクールスターキット



施工時に必要な工具をツールボックスに収納。

ルーフィングカッターDXⅢ、平板転圧ローラー、ステッチャー、コテ、ボンベ式バーナー、ガムクール施工マニュアルDVD 各1点/セット

ルーフィングカッターDXⅢ



粘着層付きシートの剥離紙のみを切るための特殊カッター。

長さ:165mm
1本
*市販の替え刃(NTカッター)を使用してください。

平板転圧ローラー/Si



転圧施工用の樹脂製小型ローラー。平板転圧ローラーSiは、ローラー部がシリコーンチューブ製。

ローラー幅:145mm
直径:約20mm Si 約27mm
各1個

転圧ローラー230L/230M



(単位:mm)

平面部用の転圧ローラー。防水層が傷つかないようにローラー表面をゴム被覆してある。

転圧ローラー 230L(大型) 重量:10kg
転圧ローラー 230M(中型) 重量:4kg

ルーフ押し器C



転圧を掛けながら、剥離紙・フィルムをロールに巻き取るルーフィング専用工具。筒状に巻き取られた剥離紙等は、ロールを外して処分できる。

重量:8.5kg
幅:1,275mm

ステッチャー



防水シートの入出隅部、3枚重ね部等の転圧用ローラー。

5本/箱

エレメントガン



接着剤、シーリング材電動塗布機。GCラインの標準カート、ジャンボカートのほか、シングルセメントパック1.4に適合。

専用ボックス入り
(各種接着剤、シール材に対応したホルダー3種を同梱)

塗膜防水材料

アスクールC



アスファルト系材料との接着性に優れる、立上り・架台用の反応硬化型改質アスファルト系塗膜防水材料。

20kg/セット (A剤:5kg、B剤:15kg)

SPベース



アスクールC上に塗布するアクリル系骨材入水性保護塗料。市販の砂骨ローラーにて塗布する。

8kg/缶

マットFC II



表面のメッシュを埋める要領でアスクールCを塗布する立上り用補強布。裏面は不織布仕上げ。

1,050mm×50m巻
(カット品:200mm×50m)

アクアベース



アスファルト系材料との併用が可能な2液形アクリルゴム系塗膜防水材料。溶剤不使用の水性材料で、有機則・特化則非該当。

20kg/セット (主材:19kg、添加剤:1kg)

アクアプライマー



アクアベース専用の2液形水性エポキシ系プライマー。

16kg/セット (A剤:8kg、B剤:8kg)

メッシュJK



ポリエステル繊維を用いたアクアベース補強用メッシュ。

950mm×50m巻

OTプライマーA



コンクリート、モルタル下地用。四季を問わず通年で使用できる1液形のウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTプライマーMブルー



塗布した部分が識別しやすいよう青色に着色した速乾性の既存ウレタン防水用仲介プライマー。

8kg/缶

立上り用オルタックエース



立上り用ウレタン防水材料。チクソ性が高いためダレにくく、鉛非含有による高耐久化と特化則・有機則非該当の環境性能を両立。

24kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:16kg)
配合比 1:2
硬化物密度 1.3Mg/m³

メッシュUB/メッシュUBのり付き/ メッシュUBソフト



密着工法用補強材。メッシュUBはガラス繊維を用いた強靱な補強布。メッシュUBソフトは柔軟性のあるポリエステルを用いた補強布。

メッシュUB 1,040mm×100m巻
のり付き 1,040mm×100m巻
ソフト 1,020mm×50m巻

OTコートシリコーン



シリコーン変性アクリルウレタン系の高耐久保護塗料。新配合で耐候性、耐久性が向上。フッ素保護塗料と同等の性能を有する。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTシール



オルタックシート端末部に施工する、速乾性1液のウレタン系シーリング材。

320ccカートリッジ
20本/梱包

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料一覧

種類	品名	規格	備考
シート類	ガムクールキャップEX	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層用R種II類
	ガムクールキャップ	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出複層用R種II類
	彩色ガムクールキャップEX	1m×8m巻	彩色砂付改質アスファルトシート 色:新緑、赤茶 JIS A 6013 露出単層用R種II類 受注生産品
	ガムクールキャップAS	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層用R種II類 受注生産品
	ガムクールFX/FX-33	ガムクールFX 1m×16m巻 FX-33 330mm×16m巻	中貼り用改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種II類
	ガムクールFS	1m×16m巻	部分粘着型改質アスファルトシート
	ガムクールFSII	1m×16m巻	部分粘着型改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種II類
	ガムクールベースE	1m×12m巻	バリキャップ仕上工法用下貼り改質アスファルトシート
	ダンパーシート	1m×32m巻	防湿用部分接着型改質アスファルトシート
	エンシンシート	450mm×8m巻	延伸性増貼りシート
	絶縁クロス1000	1m×100m巻	ポリプロピレン製フラットヤーンクロス
下地処理材・下地調整材・接着剤	水性プライマーAS	17kg/缶	アスファルト系水性プライマー
	水性プライマーMS	18kg/缶	水性アクリル系プライマー(コンクリート下地用)
	アスファルトプライマー	15.5kg/缶	溶剤型アスファルト系プライマー
	アスファルトプライマーSS	16kg/缶	速乾性溶剤型アスファルト系プライマー
	アスファルトプライマーDC	16.4kg/缶	強溶剤型アスファルト系プライマー 受注生産品
	VTプライマーG	6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)	アクリルウレタン系2液硬化型プライマー
	リベース	20kg/缶	アスファルト系下地活性化材
	リグレー・ネオ	18kg/缶	下地調整用ポリマーセメントモルタル SBR系混和液
	リグレー・ネオ パウダー 厚塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 粗粉体
	リグレー・ネオ パウダー 薄塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 細粉体
	リグレーエポ	28kg/セット (主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)	下地調整用速硬型水性エポキシ系樹脂モルタル
	クールベース	クールベース:8kg/缶 パウダー:16kg/袋	水性ゴムアスファルト系下地調整材
	アスグランド	9kg/缶	水性ゴムアスファルト系防水材
	マルチグランド	10kg/箱	水性アクリル系防水材
	グランドパウダー	12kg/袋	速硬化特殊セメント粉体・骨材
	レイコーセメント	18kg/缶	バリボードPS・断熱材用接着剤
	RBセメント	20kg/缶	ポリスチレンフォーム断熱材用アスファルト系接着剤
セメントMS	1.3kgカートリッジ 12本/箱(ノズル2本入り)	断熱材用接着剤	
バリボードPS	1m×0.9m 厚さ:4mm	絶縁用複合防水下貼りアスファルト成型板	

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※改質アスファルトシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
断熱材	ギルフォームW	900×1,200mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	耐熱型硬質ウレタン系フォーム 受注生産品
	ギルフォームS	605mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	耐熱型硬質ウレタン系フォーム S70、S75は受注生産品
	RBボード	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	スタイロフォームRB-GK-II	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
保護塗料	SPスーパーサーモコート	18kg/缶	高反射・高耐久 水性アクリル系保護塗料 色:1色
	SPサーモコート	18kg/缶	高反射・高耐久 水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPクリーンカラー	18kg/缶	高強度・高反射 水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPファインカラー	18kg/缶	高反射 水性アクリル系保護塗料 色:4色
	SPミッドカラー	18kg/缶	高反射・低明度 水性アクリル系保護塗料 色:4色
	SPマルチカラー 31kgセット	下塗り用:18kg/缶 上塗り用:13kg/缶	水性保護塗料 色:3色
	SPプロテクションコート	18kg/缶	防火 水性アクリル系保護塗料(特殊色対応) 受注生産品
	SPTナー	1kg(600ml)/缶(計量カップ付)	保護塗料工程管理用着色材
テープ材	ガムリッチ18	180mm×8m巻	コーナーおよびドレン廻り用増貼りテープ
	バリテープC	100mm×20m巻	バリボードPS用ジョイントテープ
	メルトテープR	150mm×25m巻	エンドラップシール用熱熔融テープ
	VTテープ50	50mm×15m 3巻/箱	ステップエッジ固定用
シール材	ガムホット	260g/本 20本/箱	ホットメルトタイプシーリング材
	GCライン	330ccカート 850ccジャンボカート 各10本/箱	変成シリコン系シーリング材 (塗布量目安:外シール 40cc/m、内シール 30cc/m)
	強力ガムシール	330ccカートリッジ 20本/箱 20kg/缶、9kg/缶	ゴムアスファルト系シーリング材
	OTシール	320ccカートリッジ 20本/梱包	ウレタン系シーリング材(速乾性1液)
キャント類	ガムキャントFX	長さ:910mm 20本/箱	入隅用増貼材付コーナー部材
	RBキャント1500	長さ:1,500mm 34本/箱	コーナー用緩衝材
雨仕舞材	フラッシュエッジ70A	長さ:2,000mm	防水層端部アルミ雨仕舞材
	フラッシュトップ60	長さ:2,000mm	立上り部アルミ雨仕舞材

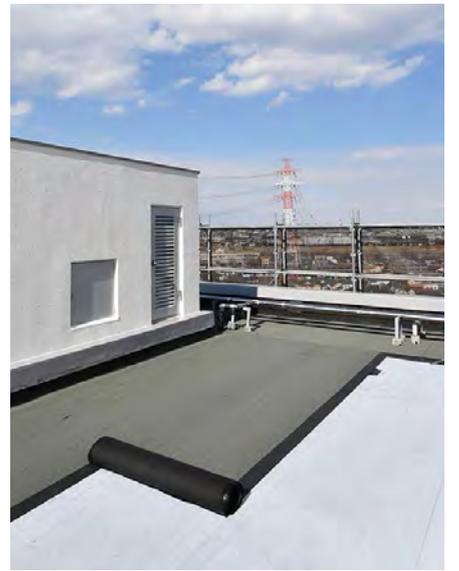
各種断熱材 厚さ別梱包数

厚さ(mm)	梱包数(枚/梱包)		
	RBボード スタイロフォームRB-GK-II	ギルフォーム	
		S	W
25	20	16	10
30	15	14	8
35	15	12	7
40	10	10	6
50	10	8	5
60	8	7	4
70	—	6	3
75	6	5	3

材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※改質アスファルトシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
仕上げ材	バリキャップP/バリキャップ	500mm×1m 厚さ:6mm	彩色砂付アスファルト成型板仕上げ材 色:4色
	ステップスクエア500H	500mm×500mm 厚さ:7.5mm 6枚/箱	天然石細粒成型板仕上げ材 色:4色
	ガムロンタイル	300mm×300mm 厚さ:8mm 18枚/箱	粘着層付磁器タイル仕上げ材 色:4色 受注生産品
	ステップエッジ	50mm×1m 10本/箱	ステップスクエア用ステンレス製端部見切り材
	RBタイル	450mm×450mm 厚さ:67mm	セメント系断熱タイル
	エイブロックBF/BJ	600mm×600mm 厚さ:25mm	セメント系タイル 受注生産品
	エイマット	1m×1m 厚さ:7mm 35枚/袋	エイブロック用緩衝材
ドレン・脱気筒	リードレンCたて/横	1個	改修用銅製ドレン
	リードレンZたて/横	1個	連結式改修用銅製ドレン
	リードレンキャップZたて/横	1個	リードレンZ専用連結式キャップ 色:黒
	トルネードドレンたて80/90	筒外径:80、88mm 1個/箱	改修用排水量改善タテ型ドレン (キャップ、専用ナット、シリコンゴム付)
	ドレンキャップ190/AS	190:1個/箱 AS:5個/箱	190:タテ型用キャップ(大) 色:黒 AS:タテ型用キャップ(小) 色:黒、ライトグレー
	ドレンキャップ横引用C200/AS	1個	横引用キャップ C200…色:黒 AS…色:ライトグレー
	ドレンキャップ横引用DX	1個	横引用キャップ
	ペーパス(立上り用)	高さ:350、500、700、1000mm 各5本/箱	立上り部用通気材
	ステンレスペーパスNII/N	各1個/箱	平面部用通気材
	ステンレスペーパスWII/W	各1個/箱	平面部用通気材(断熱工法用)
	ステンレスペーパスG	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材 受注生産品
	ステンレスペーパスGW	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材(断熱工法用) 受注生産品
	ステンレスバンドF	フープ:5m クリップ:10個/袋	パイプ廻り防水層端未固定用金具
	ステンレスタイ362	長さ:362mm 20本/袋 簡易工具同梱	ステンレスペーパスNII/WII設置時 防水層端部締結ステンレス製バンド
塗膜系防水材	アスクールC	20kg/セット(A剤:5kg、B剤:15kg)	改質アスファルト系常温反応型塗膜防水材
	SPベース	8kg/缶	アスクールC用水性保護塗料
	マットFCII	1,050mm×50m (カット品:200mm×50m)	立上り用補強布 (表面:メッシュ、裏面:不織布)
	アクアベース	20kg/セット(主材:19kg、添加剤:1kg)	2液混合形アクリルゴム系塗膜防水材
	アクアプライマー	16kg/セット(A剤:8kg、B剤:8kg)	2液形水性エポキシ系プライマー
	メッシュJK	950mm×50m巻	防水層補強用ポリエステルメッシュ
	OTプライマーA	16kg/缶	ウレタン系プライマー(コンクリート、モルタル下地用)
	プライマーBP	0.45kg/缶	ウレタン系プライマー(金属下地用)
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速乾性青色着色ウレタン系伸介プライマー (ウレタン下地用)
	立上り用オルタックエース	24kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:16kg)	立上り用ウレタン防水材 配合比1:2 JIS A 6021
	メッシュUB	1,040mm×100m巻	ウレタン防水材補強用ガラスメッシュ
	エンドラップテープ 50/100/200	50、100、200mm×50m巻	粘着層付補強用ガラスメッシュテープ
	OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色4色(半つや) 受注生産品4色(半つや)
	OTコートクール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高反射型アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色2色(半つや) 受注生産品1色(半つや)
	OTコートシリコーン	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系保護塗料 色:2色(半つや) 受注生産品1色(半つや)



使用上の注意とメンテナンス — ガムクール防水の維持管理 —

ご使用時の注意点

〈砂付ルーフィング仕上げ〉

- 通常時における防水層上の歩行および使用は厳禁です。
- 維持補修の目的で防水層上を歩行する際には、防水層を損傷する可能性の低い履物(ゴム底の靴などの柔らかい履物)を使用してください。
- 防水層の表面が雨や雪でぬれていたり、落葉、苔、砂、埃などが堆積していると防水層上は滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 防水層上に溶剤、油、薬品類をこぼさないよう、注意してください。万が一、こぼれてしまった際には専門工事店にご相談ください。
- 防水層に傷をつけたり、防水層上で物を落としたり、引きずったりすることは避けてください。
- 雪下ろしには、金属製のスコップなどの防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- 防水層の上に、重量物や振動物を載せないでください。
やむを得ない場合には、バリキャップや防振ゴム等、防水層の養生となる物で防水層を保護してください。
- たばこの投げ捨てや防水層の上での火気使用は厳禁です。
- 防水層上に直接客土して草木の植栽を行わないでください。
- 植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。

〈保護コンクリート仕上げ〉

- 火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。

〈ステップスクエア500H、ガムロンタイル仕上げ〉

- ステップスクエア500H、ガムロンタイル上での運動はお控えください。
- 表面が雨や雪でぬれている場合は、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- 断熱工法の場合は、原則として屋上利用はできません。

〈バリキャップP/バリキャップ仕上げ〉

- バリキャップP/バリキャップ上での運動はお控えください。
- バリキャップP/バリキャップのフクレなどで利用上支障が生じている際には、専門業者にご相談ください。
- 火気の使用、直接客土しての草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- 断熱工法の場合は、原則として屋上利用はできません。

〈エイブロック、RBタイル仕上げ〉

- エイブロック上での運動はお控えください。
- 表面が雨や雪でぬれていると滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 表面が白くなることがありますが、強度には影響ありません。
- 火気の使用、直接客土しての草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- セメント製品ですので地域や気象条件により凍害や白華現象を生じる場合があります。ご了承ください。
また、凍害や白華現象の発生抑制のため、できる限り排水を良くし、水たまりを作らないようにしてください。

〈露出防水仕様〉

- 露出防水仕様においては下記のような状況が見られることがありますが、防水性能に支障はありません。
 - ・下地の含有水分による防水層のふくれや、砂付ルーフィングの砂粒の隙間に入り込んだ湿気による表層のフクレ
 - ・雨水が滞留しやすい箇所に粉塵、泥、花粉、黄砂等が堆積し、乾燥収縮する事で生ずる表層クラック
 - ・砂付ルーフィングに付着している余剰砂の脱落
 - ・砂に含有される鉄分による錆

定期的なメンテナンスのお願い

〈砂付ルーフィング仕上げ〉

○防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生の有無、設備基礎廻りの劣化状況

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

○仕上塗料の塗り替え…塗料により塗り替え時期が異なるのでご相談ください。

〈保護コンクリート仕上げ〉

○植物の発生状況の点検、清掃…1年に1回

伸縮目地部・ドレン廻りの植物の発生状況、伸縮目地部・ドレン廻りに堆積している土砂の除去

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃

〈ステップスクエア500H仕上げ〉

○ステップバインダーH(アジャストUで希釈したもの)の塗り替え…5年に1回程度

○ステップスクエア500H表面状況の点検…1年に1回

ステップスクエア500Hの割れの発生状況の点検

○立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況。

〈バリキャップP/バリキャップ仕上げ〉

○バリキャップP/バリキャップ表面状況の点検…1年に1回

バリキャップP/バリキャップのフクレ・砂落ちの発生状況の点検

○立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

〈エイブロック、RBタイル、ガムロンタイル仕上げ〉

○エイブロック、RBタイル、ガムロンタイル表面状況の点検…1年に1回

エイブロック、RBタイル、ガムロンタイルの割れの発生状況の点検

○立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の点検・補修および仕上げ塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社または専門工事に依頼してください。(有償)

※保護塗料は経年によりひび割れや減耗を生じます。これらの現象は防水性能に支障を及ぼすものではありませんが、保護塗料は定期的な塗り替えを推奨します。

※シール材は経年によりひび割れや減耗を生じます。納まりが適切であれば、これらの現象は防水性能に直ちに支障を及ぼすものではありませんが、シール材は定期的な打ち替えを推奨します。

北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

2024.02 ③ FS 12,000

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。